

# 横浜市アレルギー疾患に係る市民意識調査 報告書

令和8年3月  
横浜市医療局



# 目次

<b>I. 市民意識調査概要</b> .....	<b>3</b>
1. 調査目的 .....	3
2. 調査概要 .....	3
3. 調査結果を見る上での注意事項 .....	3
<b>II. 市民意識調査結果</b> .....	<b>6</b>
1. 属性情報 .....	6
2. アレルギー疾患罹患状況 .....	8
3. アレルギー疾患の治療について .....	22
4. アレルギーに関する情報、日常生活について .....	26
5. その他・こどものアレルギー疾患に対する考え .....	43
<b>III. 参考資料</b> .....	<b>57</b>
1. 市民意識調査（小児）調査票 .....	57
2. 市民意識調査（成人）調査票 .....	67
3. 市民意識調査（小児調査）単純集計 .....	75
4. 市民意識調査（成人調査）単純集計 .....	87



# I 市民意識調査概要



# I. 市民意識調査概要

## 1. 調査目的

「アレルギー疾患対策基本法」及び「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、横浜市における総合的なアレルギー疾患対策を進めるために、「アレルギー疾患対策基本法」における対象疾患である「気管支ぜん息」、「アトピー性皮膚炎」、「アレルギー性鼻炎」、「アレルギー性結膜炎」、「花粉症」、「食物アレルギー」を中心に、横浜市の現況を把握し、施策を検討するための実態調査を、市民に対して実施した。

## 2. 調査概要

### (1) 対象者

横浜市在住者のうち、以下を満たす対象者

小児調査	0～1歳児、3～4歳児、小学校1年生、中学校1年生
成人調査	成人（20歳から64歳まで）

### (2) 調査方法

小児調査	令和7年4月2日時点の住民基本台帳より無作為抽出した方の保護者に依頼文を郵送配布、横浜市電子申請・届出システムより回答
成人調査	民間企業のパネル調査（WEB調査）

### (3) 調査期間

令和7年5月14日（水）～6月13日（金）

### (4) 回収状況

小児調査	配付数：8,000件（各対象2,000人ずつ） 回答数：3,683件 回収率：46.0%
成人調査	横浜市の人口構成に合うように年代別に回答者数の上限を設定し、4,189件を回収

## 3. 調査結果を見る上での注意事項

- ・ グラフ、表中の「n」はアンケートの有効回収数を示している。
- ・ 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- ・ 自由記述の回答は、表現方法などを統一するために原文を一部修正して記載している。
- ・ クロス集計表において、青色のデータバー（最小値0・最大値100）で割合の結果を示している。



## Ⅱ 市民意識調査結果

## II. 市民意識調査結果

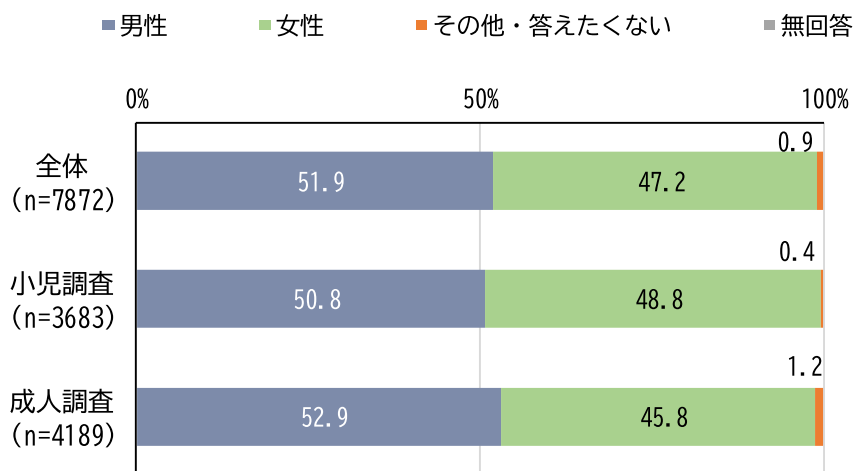
### 1. 属性情報

#### ① 性別

問1. あなたの性別について、ご回答ください。(一つを選択)【必須回答】

「男性」は51.9%、「女性」は47.2%であった。  
小児調査・成人調査ともに、大きな違いはみられなかった。

【図1】性別



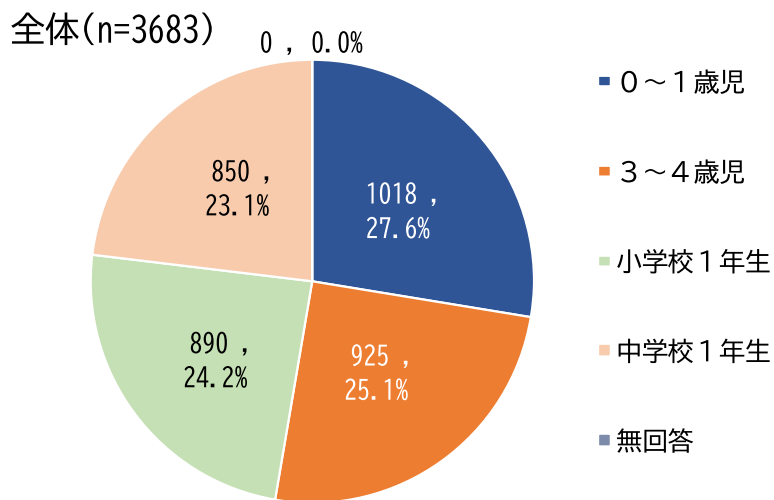
## ② 年齢

問2. あなたの年齢をお答えください。(一つを選択)【必須回答】

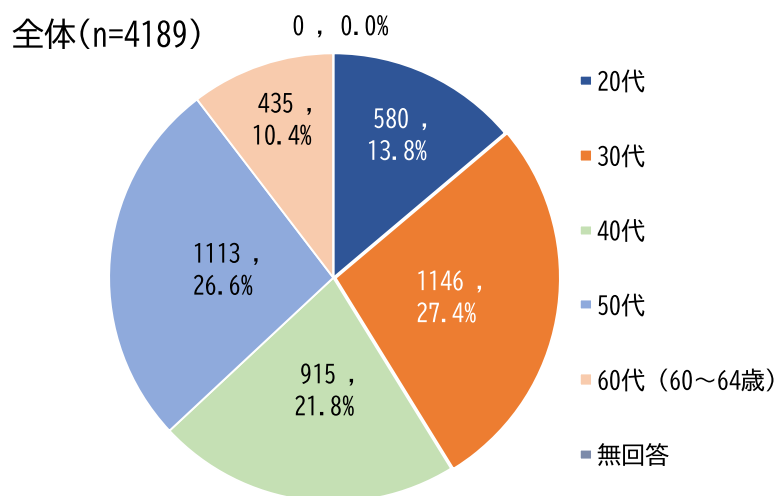
小児調査における回答者の年齢は「0～1歳児」が27.6%、「3～4歳児」が25.1%、「小学校1年生」が24.2%、「中学校1年生」が23.1%であった。

成人調査における回答者の年齢は「20代」が13.8%、「30代」が27.4%、「40代」が21.8%、「50代」が26.6%、「60歳(60～64歳)」が10.4%であった。

【図2】年齢<小児調査>



【図3】年齢<成人調査>



## 2. アレルギー疾患罹患状況

### ① アレルギー疾患罹患状況

問3. 以下のアレルギー疾患のうち、「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」ものをお選びください。(当てはまるものすべて選択)【必須回答】

全体（小児調査+成人調査）では「アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」が全体では45.4%であり、およそ2人に1人以上が何らかのアレルギー疾患を有すると回答している。何らかのアレルギー疾患を有する者の割合は、小児調査では年齢が高くなるにつれて増加し、成人調査では全ての年代において半数以上を占めている。

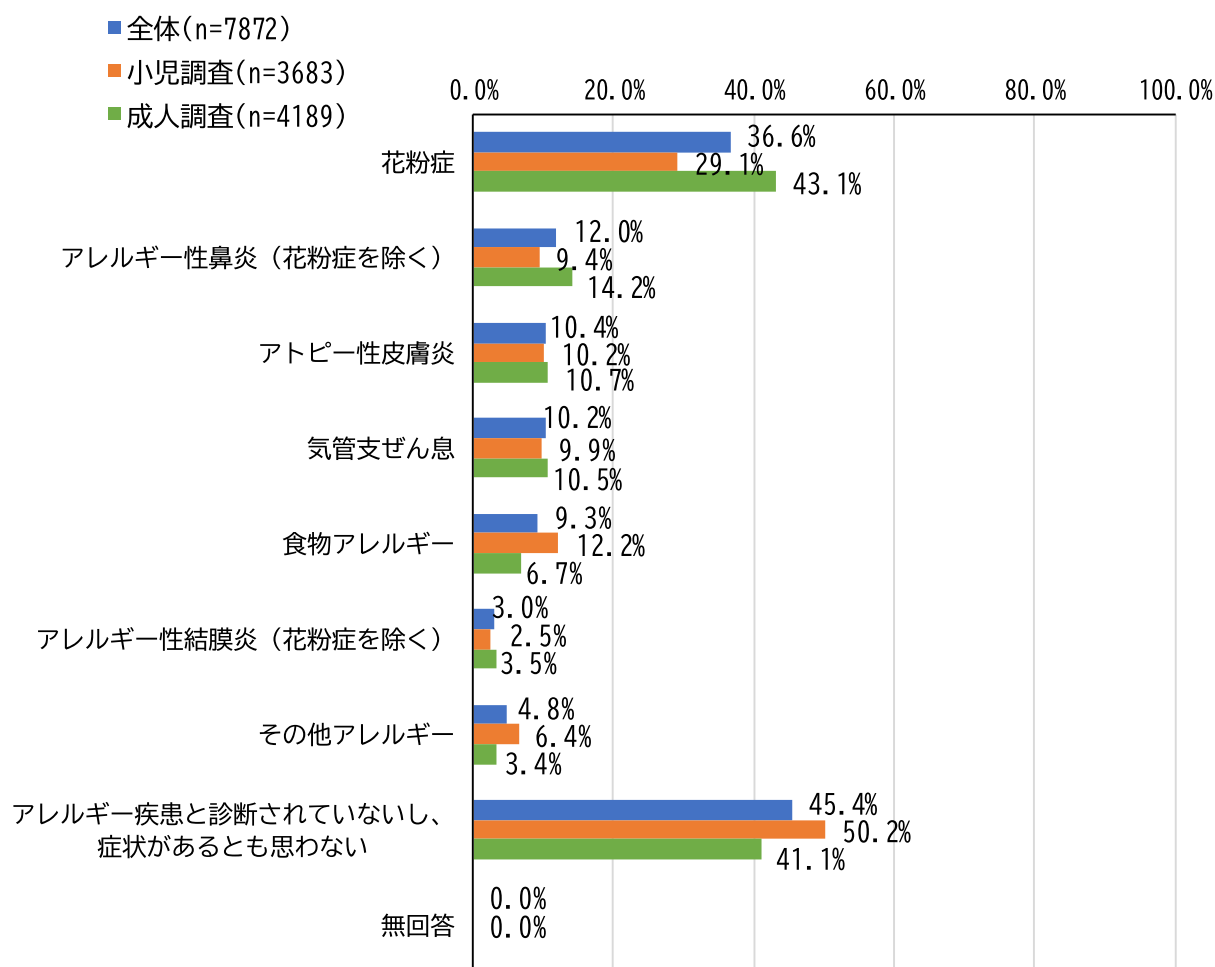
全体（小児調査+成人調査）では「花粉症」が36.6%で最も高く、次いで「アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）」が12.0%であった。

小児調査では、「花粉症」が29.1%で最も高く、次いで「食物アレルギー」が12.2%、「アトピー性皮膚炎」が10.2%であった。

成人調査では、「花粉症」が43.1%で最も高く、次いで「アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）」が14.2%、「アトピー性皮膚炎」が10.7%であった。

小児調査では、年齢別にみると年齢が高くなるにつれて「花粉症」の割合が高くなっている。

【図4】アレルギー疾患罹患状況



【表 1】年齢別 アレルギー疾患罹患状況

		回答数	花粉症	アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	アトピー性皮膚炎	気管支ぜん息	食物アレルギー	アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	その他アレルギー	診断されていないし、症状があるとも思わない	無回答	
全体 (小児+成人)		7872	36.6	12.0	10.4	10.2	9.3	3.0	4.8	45.4	0.0	
年齢	小児調査	0～1歳児	1018	2.8	1.9	6.2	2.3	8.2	0.3	1.4	80.6	0.0
		3～4歳児	925	19.9	5.2	10.7	11.1	11.0	1.4	4.6	57.0	0.0
		小学校1年生	890	42.2	11.2	12.4	15.4	14.4	3.1	9.4	33.7	0.0
		中学校1年生	850	57.1	21.3	12.0	11.8	16.2	5.5	11.3	23.6	0.0
	成人調査	20代	580	39.1	17.1	11.0	11.0	9.3	4.8	4.3	43.3	0.0
		30代	1146	44.9	15.5	14.1	11.5	8.2	3.4	3.3	37.8	0.0
		40代	915	45.0	16.8	10.5	10.7	5.4	3.9	3.0	40.2	0.0
		50代	1113	42.0	10.5	9.4	10.2	5.8	3.1	3.3	42.9	0.0
	60代 (60～64歳)	435	42.1	10.3	4.6	7.4	4.6	1.8	3.2	44.4	0.0	

### アレルギー疾患罹患状況（合併状況）

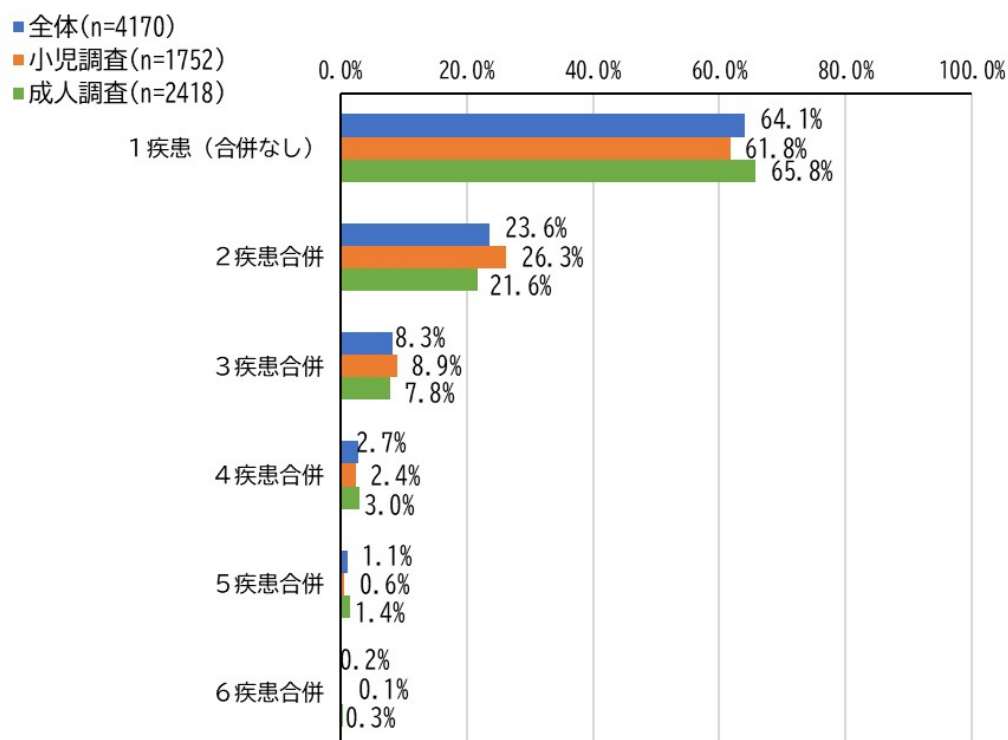
アレルギー疾患の合併状況について、1疾患罹患（合併なし）の割合は小児調査で61.8%、成人調査で65.8%であり、2疾患以上合併している割合は、小児調査で38.2%、成人調査では34.2%であった。

小児調査・成人調査における各アレルギー疾患の合併状況（罹患）は以下のとおり。

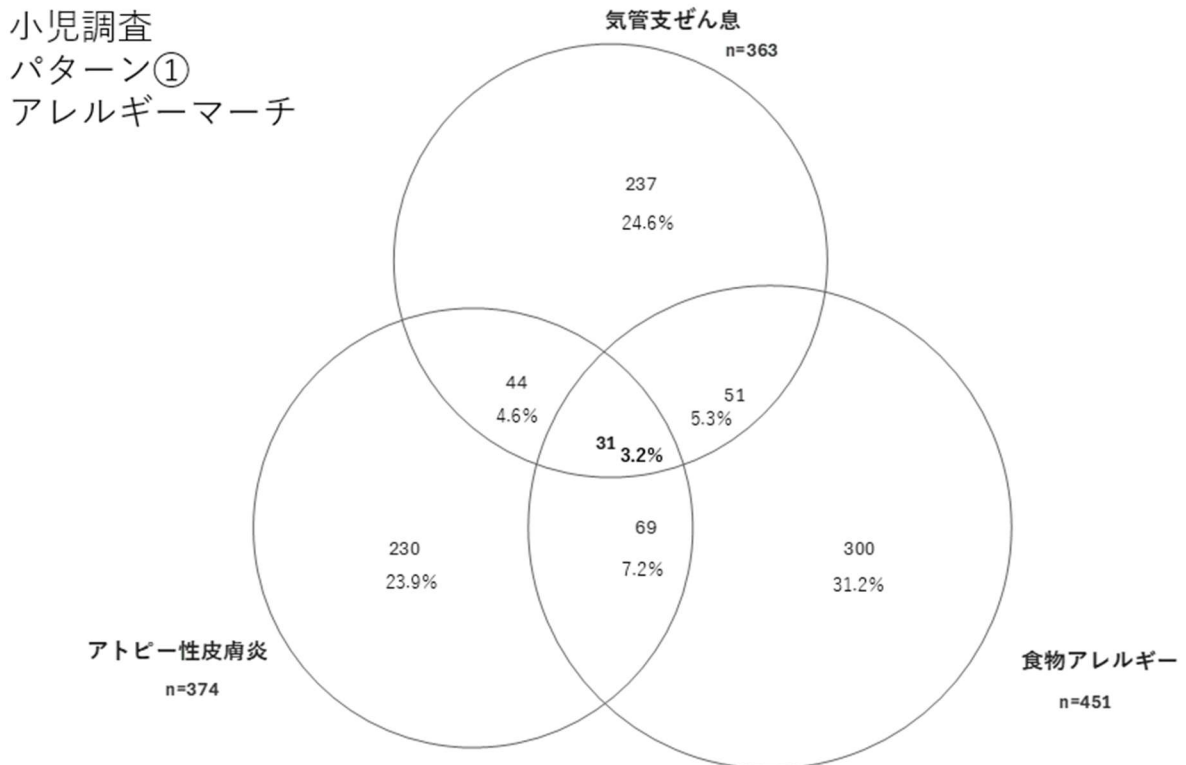
※アレルギーマーチ（P10・P11）とは…

アレルギーの病気は、年齢によって発症しやすいアレルギーが異なるという特徴がある。多くの患者さんで、乳児期にアトピー性皮膚炎が最初に発症して、その後、食物アレルギー、気管支ぜん息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎というふうに発症していく傾向がある。

【図 5】アレルギー疾患罹患状況（合併状況）

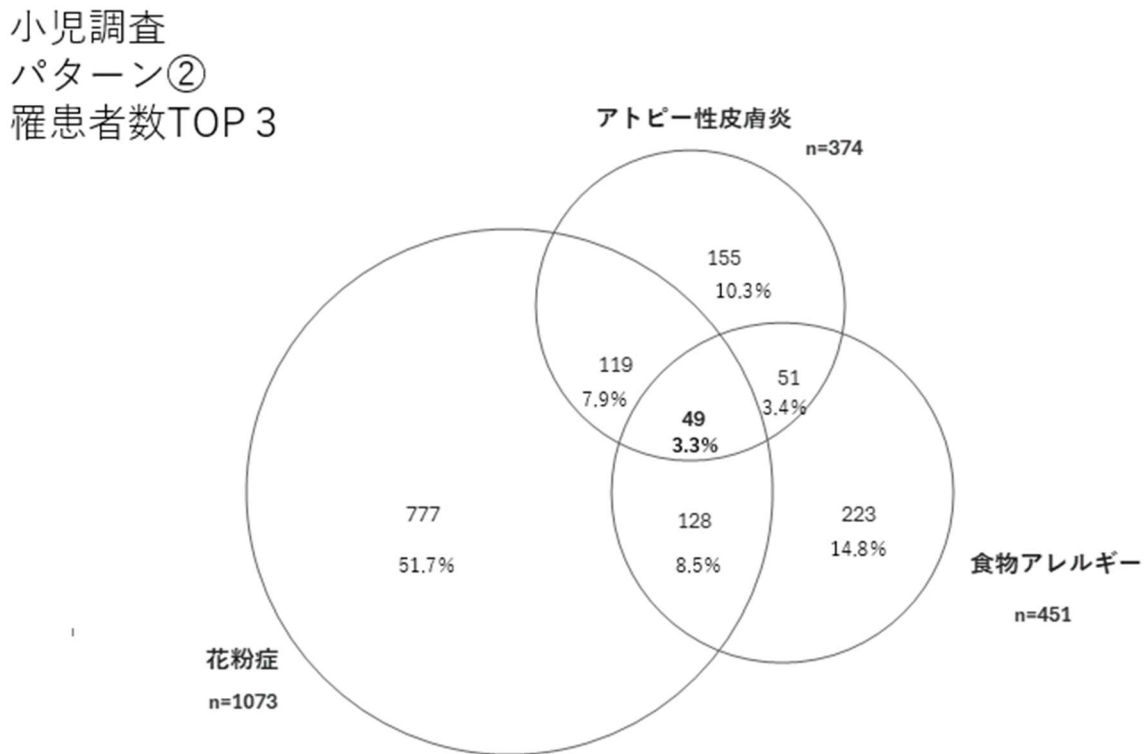


【図6】アレルギーマーチ（アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・気管支ぜん息）合併状況＜小児調査＞



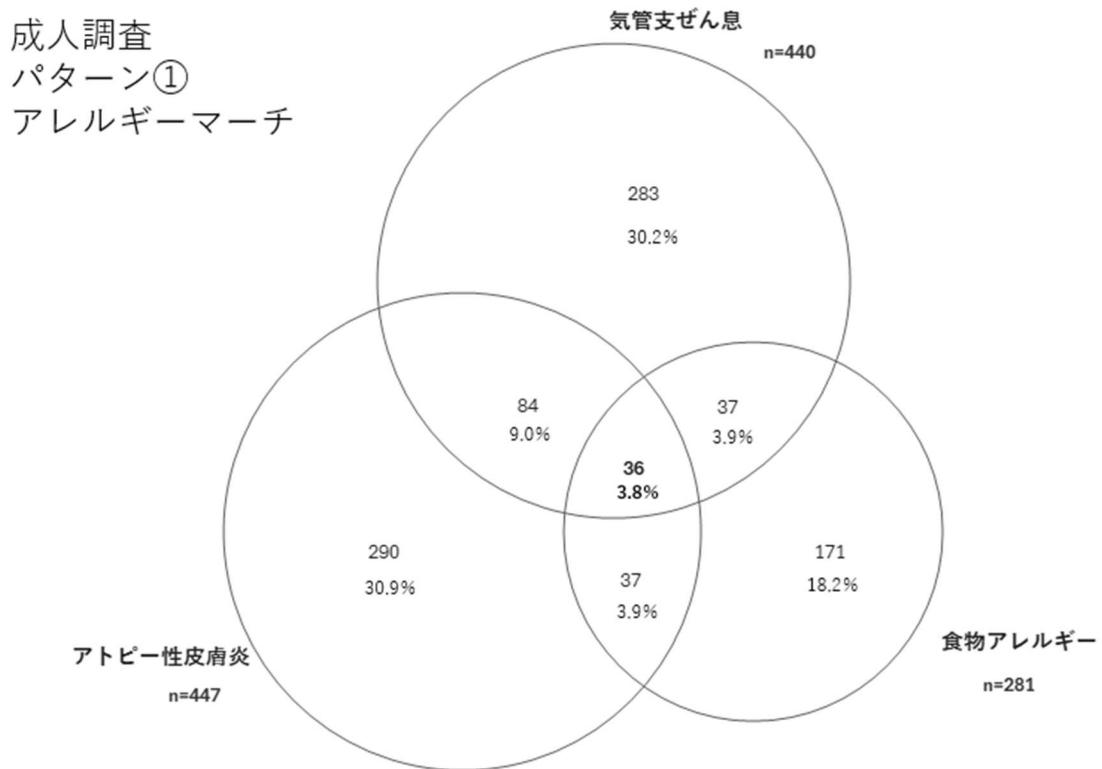
※面積・重なりは近似。正確な値はラベル参照。  
※割合は3疾患罹患者数(合併有無問わず)の合計を母数として算出

【図7】罹患者数 TOP3（花粉症・食物アレルギー・アトピー性皮膚炎）合併状況＜小児調査＞



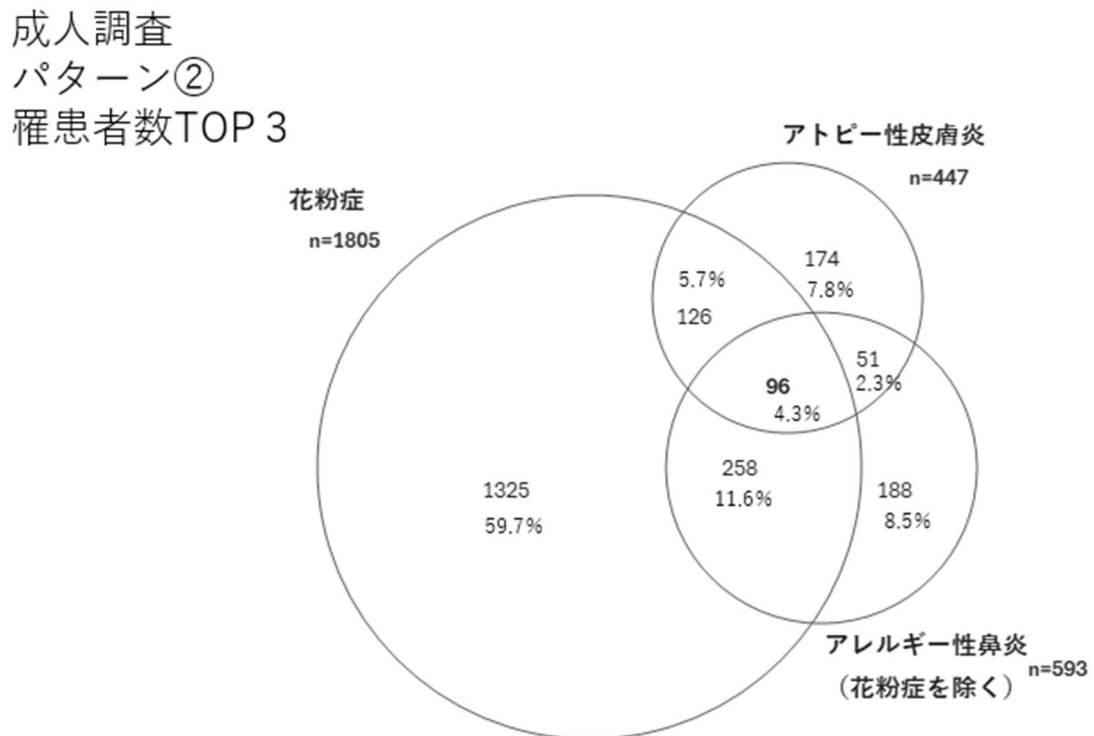
※面積・重なりは近似。正確な値はラベル参照。  
※割合は3疾患罹患者数(合併有無問わず)の合計を母数として算出

【図8】アレルギーマーチ（アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・気管支ぜん息）合併状況〈成人調査〉



※面積・重なりは近似。正確な値はラベル参照。  
※割合は3疾患罹患患者数(合併有無問わず)の合計を母数として算出

【図9】罹患患者数 TOP3（花粉症・アレルギー性鼻炎・アトピー性皮膚炎）合併状況〈成人調査〉



※面積・重なりは近似。正確な値はラベル参照。  
※割合は3疾患罹患患者数(合併有無問わず)の合計を母数として算出

## ② アレルギー疾患診断状況

【問3で「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」と回答したアレルギー疾患のみ回答】

問4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。(一つを選択)【必須回答】

※「診断されたことがある」と回答した割合を集計

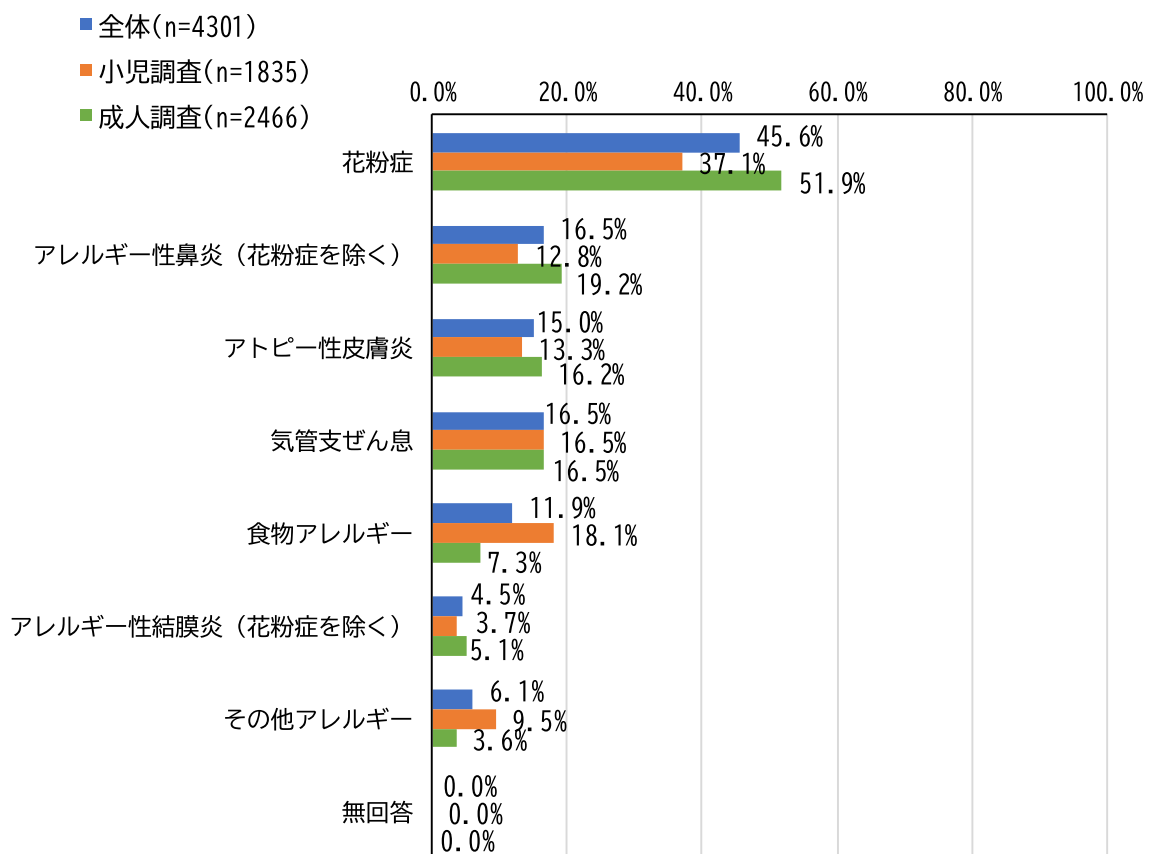
全体（小児調査+成人調査）では「花粉症」が45.6%で最も高く、次いで「アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）」が16.5%であった。

小児調査では、「花粉症」が37.1%で最も高く、次いで「食物アレルギー」が18.1%、「気管支ぜん息」が16.5%であった。

成人調査では、「花粉症」が51.9%で最も高く、次いで「アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）」が19.2%、「気管支ぜん息」が16.5%であった。

小児調査では、年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「花粉症」「アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）」の割合が高くなっている。

【図10】アレルギー疾患診断状況

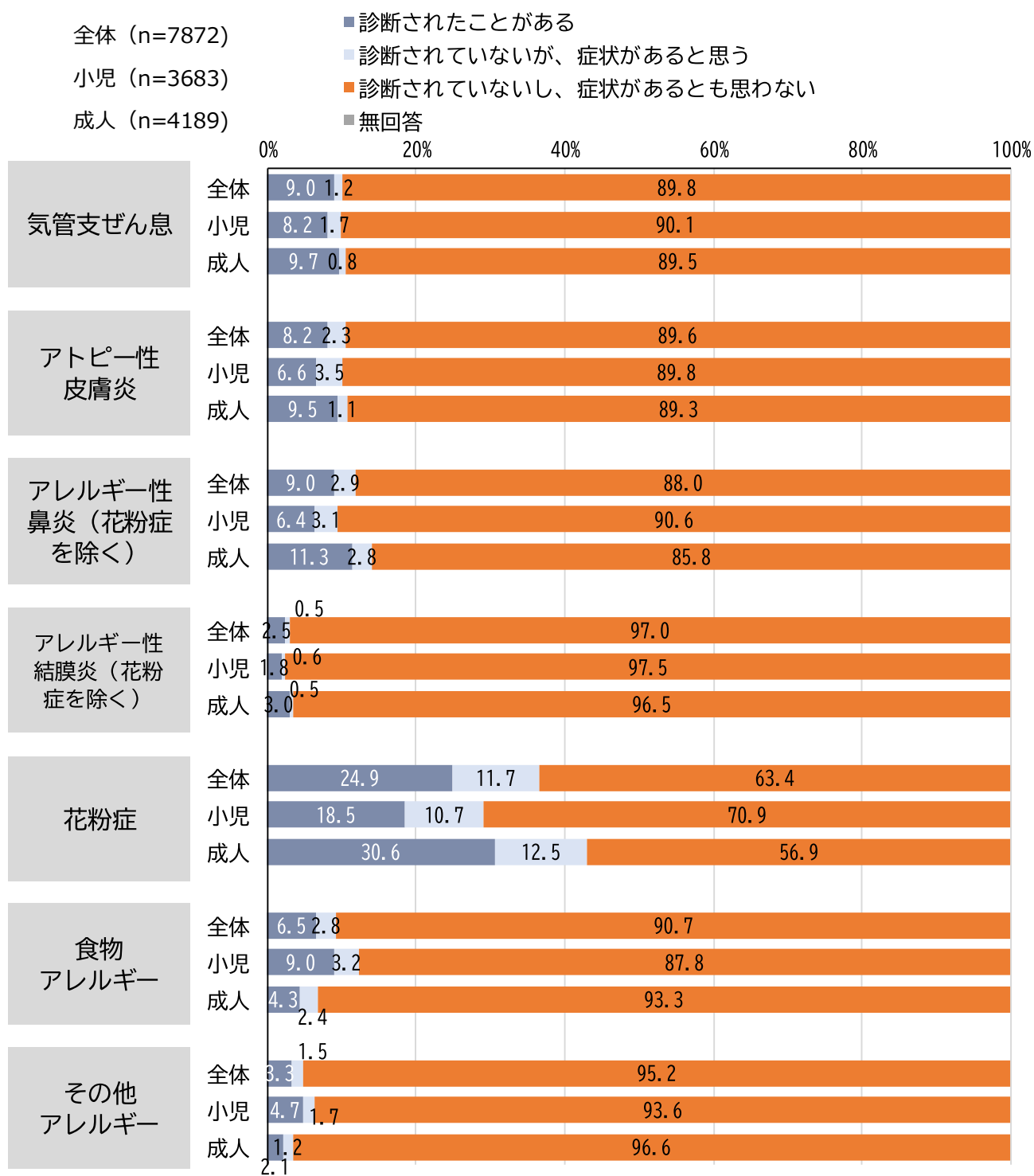


※選択肢の並び順は問3：アレルギー疾患罹患状況と統一

【表2】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギー疾患診断状況

		回答数	花粉症	気管支 ぜん息	アレルギー性 鼻炎 (花粉症を除く)	アト ピー性 皮膚炎	食物ア レル ギー	アレルギー性 結膜炎 (花粉症を除く)	その他 アレルギー	無回答	
全体 (小児+成人)		4301	45.6	16.5	15.0	16.5	11.9	4.5	6.1	0.0	
年齢	小児 調査	0～1歳児	198	0.5	7.6	0.5	14.6	21.2	0.5	2.0	0.0
		3～4歳児	398	18.8	18.6	4.5	13.8	19.8	1.8	6.8	0.0
		小学校1年生	590	40.3	19.7	11.5	13.2	18.3	3.4	10.8	0.0
		中学校1年生	649	56.4	14.9	22.8	12.6	15.9	6.2	12.2	0.0
	成人 調査	20代	329	50.8	18.5	23.7	16.7	12.8	6.7	6.1	0.0
		30代	713	56.1	16.4	20.3	20.2	8.7	4.6	3.1	0.0
		40代	547	51.6	16.5	23.8	15.5	5.9	5.7	2.6	0.0
		50代	635	49.6	17.2	14.6	15.4	5.5	5.2	3.3	0.0
	60代 (60～64歳)	242	47.9	12.8	11.6	7.0	3.7	2.9	5.0	0.0	
アレルギー 罹患 状況別 (Q3)	小児 調査	気管支ぜん息	363	30.9	83.2	15.7	15.2	18.5	4.1	8.0	0.0
		アトピー性皮膚炎	374	28.6	16.3	12.8	65.2	22.2	4.5	5.3	0.0
		アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	348	39.7	16.1	67.5	15.2	15.2	12.4	9.5	0.0
		アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	91	37.4	18.7	44.0	18.7	17.6	74.7	9.9	0.0
		花粉症	1073	63.4	10.8	13.1	10.3	13.0	3.5	9.0	0.0
		食物アレルギー	451	29.7	16.6	11.8	17.1	73.6	2.7	7.1	0.0
		その他アレルギー	237	42.2	13.1	11.8	9.7	14.3	2.5	73.4	0.0
	成人 調査	気管支ぜん息	440	43.2	92.7	28.0	25.0	13.0	10.2	3.6	0.0
		アトピー性皮膚炎	447	40.0	25.3	28.2	89.3	13.6	10.1	2.9	0.0
		アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	593	46.7	21.4	79.9	22.6	12.6	15.2	4.0	0.0
		アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	145	51.7	33.1	64.8	32.4	16.6	86.9	3.4	0.0
		花粉症	1805	70.9	12.0	16.2	11.0	7.1	4.4	2.8	0.0
		食物アレルギー	281	53.4	24.2	30.6	24.2	64.1	9.6	6.8	0.0
		その他アレルギー	141	44.0	12.8	18.4	10.6	11.3	5.7	63.1	0.0

【図 11】 アレルギー疾患別 罹患状況・診断状況



### ③ 食物アレルギーの原因食物

【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

問5. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。食物アレルギーの原因食物についてご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

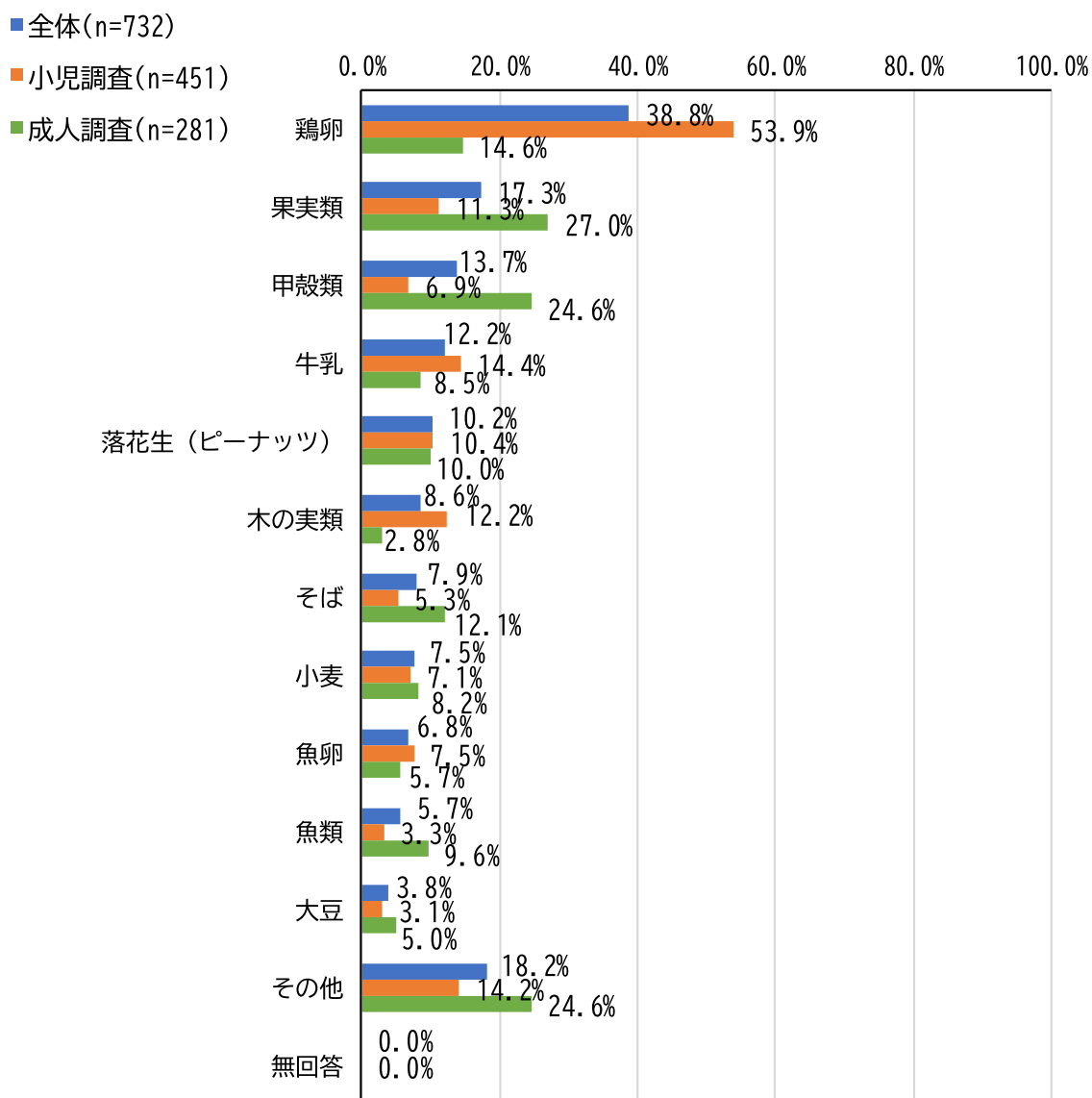
全体（小児調査+成人調査）では「鶏卵」が38.8%で最も高く、次いで「果実類」が17.3%であった。

小児調査では、「鶏卵」が53.9%で最も高く、次いで「牛乳」が14.4%であった。

成人調査では、「果実類」が27.0%で最も高く、次いで「甲殻類」が24.6%であった。

小児調査では、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、「鶏卵」の割合が低くなっている。

【図12】食物アレルギーの原因食物



【表3】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 食物アレルギー原因食物

		回答数	鶏卵	果実類	甲殻類	牛乳	落花生 (ピーナッツ)	木の实類	そば	小麦	魚卵	魚類	大豆	その他	無回答
全体 (小児+成人)		732	38.8	17.3	13.7	12.2	10.2	8.6	7.9	7.5	6.8	5.7	3.8	18.2	0.0
年齢	小児調査														
	0～1歳児	83	79.5	3.6	-	18.1	-	-	-	8.4	-	2.4	1.2	2.4	0.0
	3～4歳児	102	58.8	4.9	4.9	9.8	9.8	11.8	4.9	7.8	5.9	5.9	2.0	11.8	0.0
	小学校1年生	128	46.9	7.8	7.8	14.8	11.7	15.6	6.3	6.3	7.8	1.6	1.6	17.2	0.0
	中学校1年生	138	41.3	23.9	11.6	15.2	15.9	16.7	8.0	6.5	13.0	3.6	6.5	20.3	0.0
	成人調査														
	20代	54	16.7	27.8	18.5	11.1	11.1	1.9	11.1	7.4	9.3	13.0	3.7	18.5	0.0
	30代	94	20.2	28.7	29.8	7.4	13.8	3.2	12.8	11.7	6.4	6.4	8.5	25.5	0.0
	40代	49	10.2	26.5	20.4	12.2	16.3	4.1	14.3	8.2	2.0	6.1	8.2	28.6	0.0
	50代	64	7.8	29.7	23.4	4.7	1.6	3.1	10.9	4.7	6.3	10.9	0.0	23.4	0.0
60代 (60～64歳)	20	15.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	5.0	0.0	20.0	0.0	30.0	0.0	
アレルギー罹患状況別 (Q3)	小児調査														
	気管支ぜん息	82	58.5	4.9	7.3	18.3	14.6	23.2	4.9	8.5	9.8	7.3	8.5	22.0	0.0
	アトピー性皮膚炎	100	55.0	14.0	8.0	16.0	18.0	19.0	12.0	10.0	5.0	4.0	5.0	19.0	0.0
	アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	66	50.0	15.2	12.1	16.7	16.7	13.6	6.1	6.1	12.1	1.5	9.1	21.2	0.0
	アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	18	44.4	22.2	11.1	27.8	11.1	16.7	11.1	11.1	11.1	-	11.1	16.7	0.0
	花粉症	177	39.5	19.2	10.2	10.7	16.9	17.5	7.9	5.1	13.6	3.4	3.4	20.9	0.0
	食物アレルギー	451	53.9	11.3	6.9	14.4	10.4	12.2	5.3	7.1	7.5	3.3	3.1	14.2	0.0
	その他アレルギー	39	46.2	15.4	15.4	12.8	20.5	12.8	5.1	7.7	10.3	5.1	-	10.3	0.0
	成人調査														
	気管支ぜん息	73	28.8	27.4	17.8	17.8	15.1	4.1	16.4	11.0	5.5	13.7	8.2	26.0	0.0
	アトピー性皮膚炎	73	30.1	23.3	20.5	13.7	13.7	4.1	15.1	13.7	8.2	9.6	6.8	27.4	0.0
	アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	100	18.0	29.0	26.0	14.0	15.0	5.0	16.0	13.0	7.0	11.0	5.0	24.0	0.0
	アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	33	24.2	30.3	15.2	9.1	21.2	6.1	15.2	15.2	12.1	6.1	6.1	30.3	0.0
	花粉症	189	16.4	32.8	23.3	6.9	11.1	3.7	13.8	7.4	3.7	6.3	6.3	23.8	0.0
食物アレルギー	281	14.6	27.0	24.6	8.5	10.0	2.8	12.1	8.2	5.7	9.6	5.0	24.6	0.0	
その他アレルギー	25	8.0	24.0	40.0	8.0	0.0	4.0	4.0	12.0	4.0	8.0	4.0	44.0	0.0	

各原因食物における具体名の例 (一部抜粋、下記表<その他>と重複がある)	
木の实	アーモンド、くるみ、カシューナッツ、ピスタチオ、ヘーゼルナッツ、ピーカンナッツ
魚卵	いくら、たらこ
果実類	りんご、桃、さくらんぼ、梨、キウイ、ブドウ、メロン、すいか、バナナ、オレンジ
甲殻類	えび、かに
魚類	さわら、しらす、たら、さば、あじ、まぐろ、いわし、キビナゴ、サケ、カレイ

【食物アレルギーの原因食物<その他>の内容】

「その他」の原因食物	件数		
	小児調査	成人調査	全体
ナッツ・種子	26	4	30
果物	9	18	27
野菜・香草	9	10	19
いも類	6	10	16
魚介・魚卵	7	6	13
大豆・豆製品	1	8	9
穀類・麺類・とうもろこし	1	5	6
乳・卵(加工品含む)	3	3	6
嗜好品	1	4	5
肉類	0	3	3
その他	3	4	7
わからない	1	1	2
(回答数)	64	69	133

#### ④ アドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）の処方状況

【問4：食物アレルギーが「1. 診断されたことがある」場合のみ回答】

問6. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」方にお伺いします。アドレナリン自己注射薬（エピペン®）※の処方状況について、ご回答ください。（一つを選択）

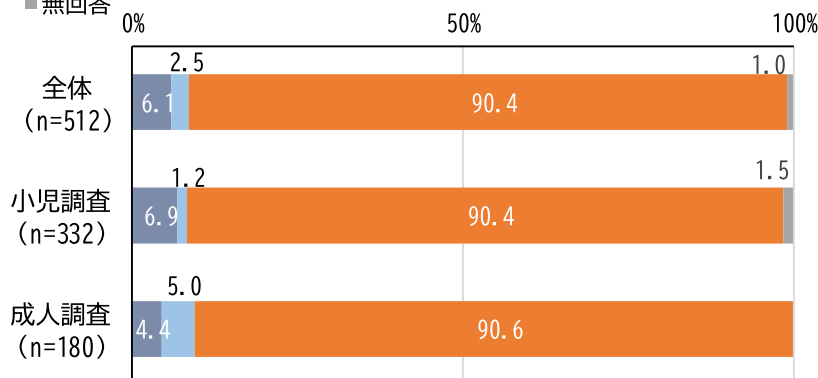
※エピペン®：アレルギー原因物質に触れたり摂取した後、短時間に全身に強いアレルギー症状があらわれた場合に使用する自己注射型の補助治療剤

全体（小児調査+成人調査）では「現在、アドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）を処方されている」が6.1%、「過去にアドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）を処方されていたことがある」が2.5%、「アドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）を処方されていたことはない」が90.4%であった。

年齢別にみると、「現在、アドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）を処方されている」は小学1年生の10.2%が最も高かった。

【図13】アドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）の処方状況

- 現在、アドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）を処方されている
- 過去にアドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）を処方されていたことがある
- アドレナリン自己注射薬（製品名：エピペン）を処方されたことはない
- 無回答



【表4】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アドレナリン自己注射薬の処方状況

		回答数	現在、処方されている (%)	過去に処方されていたことがある (%)	処方されたことはない (%)	無回答 (%)	
全体 (小児+成人)		512	6.1	2.5	90.4	1.0	
年齢	小児調査	0～1歳児	42	2.4	0.0	97.6	0.0
	3～4歳児	79	3.8	1.3	94.9	0.0	
	小学校1年生	108	10.2	1.9	88.0	0.0	
	中学校1年生	103	7.8	1.0	86.4	4.9	
	成人調査	20代	42	4.8	2.4	92.9	0.0
	30代	62	6.5	6.5	87.1	0.0	
	40代	32	3.1	9.4	87.5	0.0	
	50代	35	2.9	2.9	94.3	0.0	
	60代 (60～64歳)	9	0.0	0.0	100.0	0.0	
アレルギー罹患状況別 (Q3)	小児調査	気管支ぜん息	67	13.4	1.5	83.6	1.5
		アトピー性皮膚炎	83	3.6	1.2	94.0	1.2
		アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	53	11.3	0.0	81.1	7.5
		アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	16	6.3	0.0	93.8	0.0
		花粉症	140	7.1	2.1	88.6	2.1
	成人調査	食物アレルギー	332	6.9	1.2	90.4	1.5
		その他アレルギー	34	5.9	0.0	88.2	5.9
		気管支ぜん息	57	8.8	3.5	87.7	0.0
		アトピー性皮膚炎	61	6.6	1.6	91.8	0.0
		アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	75	6.7	6.7	86.7	0.0
		アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	24	12.5	4.2	83.3	0.0
		花粉症	129	5.4	5.4	89.1	0.0
		食物アレルギー	180	4.4	5.0	90.6	0.0
その他アレルギー	16	0.0	6.3	93.8	0.0		

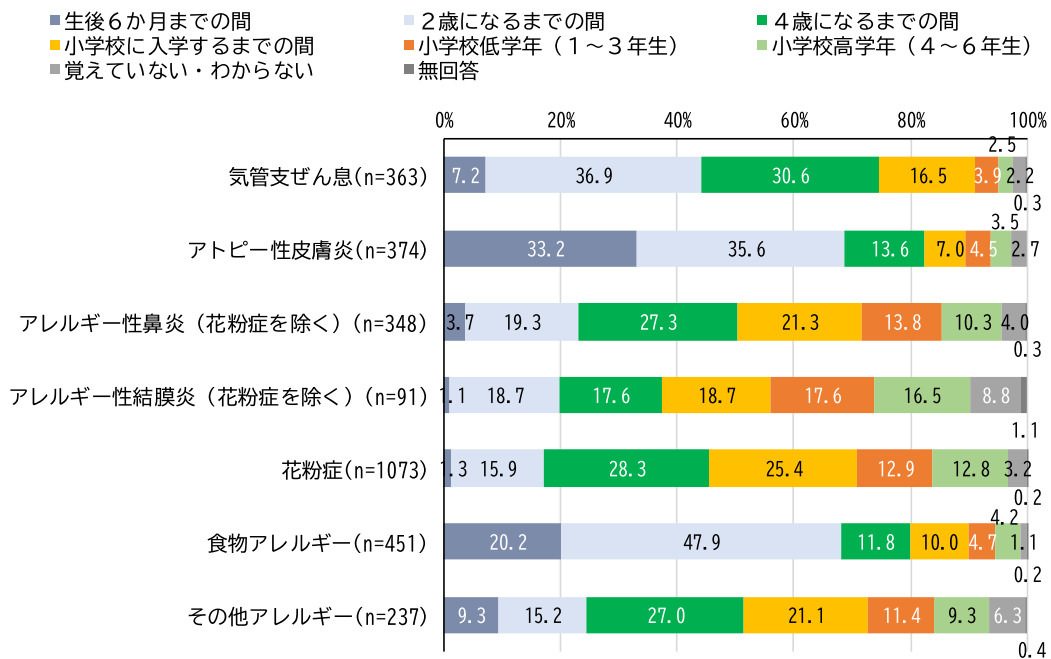
## ⑤ アレルギー疾患の発症時期

【問3であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】  
 問7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。(一つを選択)

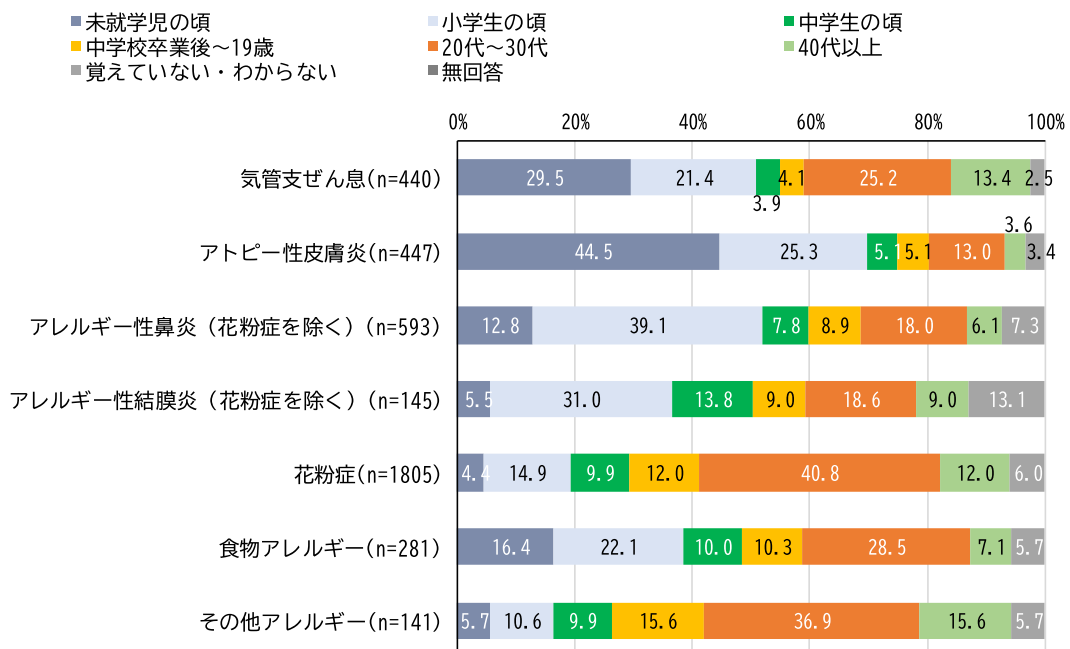
小児調査では「アトピー性皮膚炎」と「食物アレルギー」で、他のアレルギー疾患よりも「生後6か月までの間」の割合が高く、「2歳になるまでの間」を合わせるとそれぞれ68.8%、68.1%であった。

成人調査では、「アトピー性皮膚炎」で、他のアレルギー疾患より「未就学児の頃」の割合が高かった。

【図14】アレルギー疾患の発症時期<小児調査>



【図15】アレルギー疾患の発症時期<成人調査>



## ⑥ アレルギー疾患の状態

【問3であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

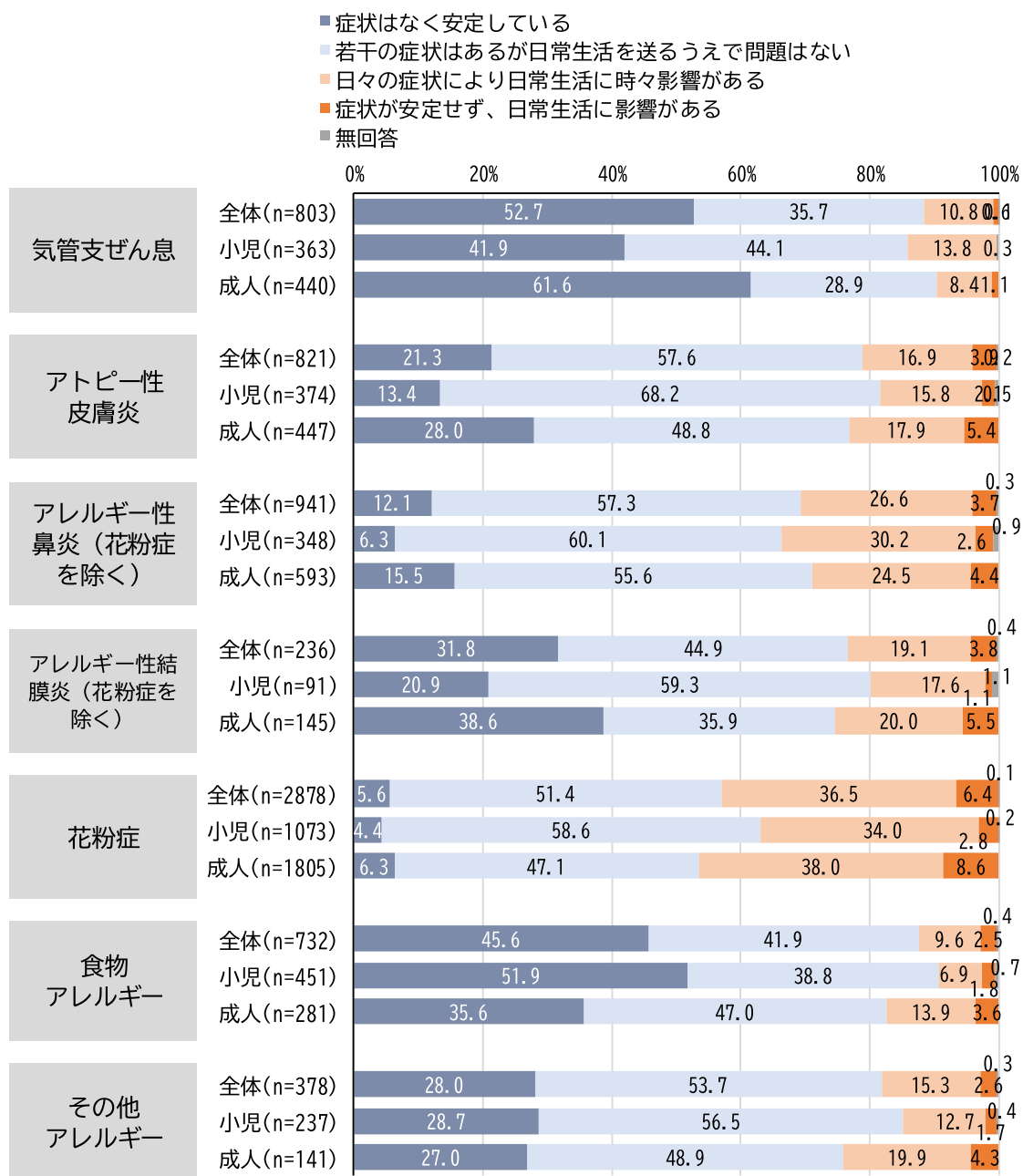
問8. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。（一つを選択）

全体（小児調査+成人調査）では「気管支ぜん息」で「症状はなく安定している」の割合が最も高く、次いで「食物アレルギー」の割合が高かった。

小児調査では、「食物アレルギー」で「症状はなく安定している」の割合が最も高く、次いで「気管支ぜん息」の割合が高かった。

成人調査では、「気管支ぜん息」で「症状はなく安定している」の割合が最も高く、次いで「アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）」の割合が高かった。

【図16】アレルギー疾患の状態



## ⑦ アレルギー疾患の受診先

【問3であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

問9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。（一つを選択）

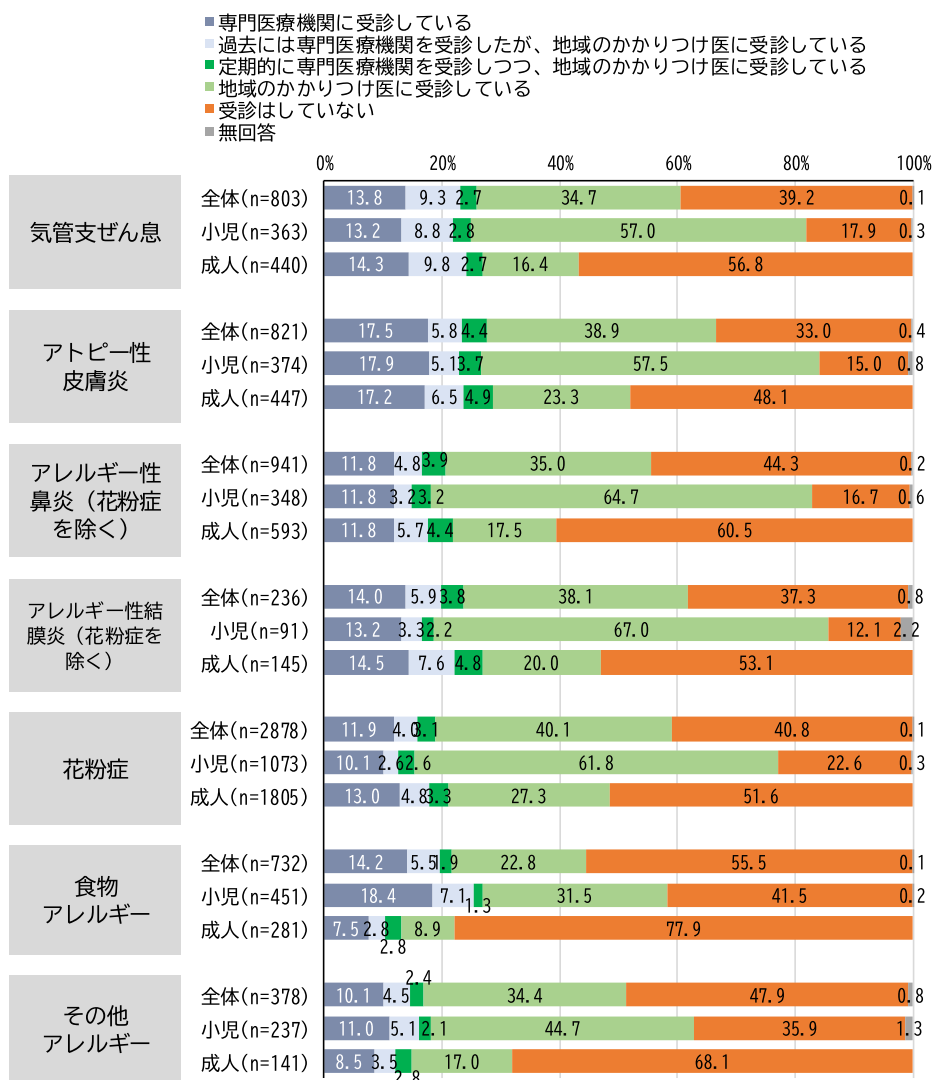
全体（小児調査+成人調査）では「アトピー性皮膚炎」で「受診はしていない」の割合が最も低く、受診している人の割合は66.6%であった。次いで「アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）」の受診している人の割合が高く、61.8%であった。また、専門医療機関を受診している割合は「アトピー性皮膚炎」の割合が最も高く、次いで「食物アレルギー」であった。

「食物アレルギー」をみると、小児調査では、専門医療機関を受診している割合が18.4%と他の疾患に比べて最も高く、何らかの医療機関を受診している人が58.3%に上る一方、成人調査では、専門医療機関を受診している割合が7.5%と他の疾患に比べて最も低く、「受診はしていない」の割合が77.9%であった。

また、「アレルギー疾患の状態」別にアレルギー疾患の受診先をみると、症状が安定せず日常生活への影響が大きくなるほど、「専門医療機関を受診している」割合が高くなる傾向がある。

症状が安定しており日常生活への影響が少ないほど、「受診はしていない」の割合が高くなる傾向がある。

【図17】アレルギー疾患の受診先



【表5】アレルギー疾患の状態別 アレルギー疾患の受診先

		回答数	専門医療機関を受診している	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医を受診している	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医を受診している	地域のかかりつけ医を受診している	受診はしていない	
全体	気管支ぜん息	症状はなく安定している	423	9.0	6.1	0.7	21.3	62.9
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	287	18.5	12.9	4.2	50.5	13.9
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	87	19.5	11.5	8.0	50.6	10.3
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	アトピー性皮膚炎	症状はなく安定している	174	5.2	4.6	0.6	16.7	73.0
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	472	18.0	6.6	4.4	44.7	26.3
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	139	25.9	4.3	8.6	48.2	12.9
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	32	43.8	9.4	3.1	37.5	6.3
	アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)	症状はなく安定している	114	7.9	4.4	1.8	15.8	70.2
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	539	9.8	5.0	3.5	36.4	45.3
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	250	14.8	4.0	5.2	42.0	34.0
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	35	34.3	5.7	8.6	28.6	22.9
	アレルギー性結膜炎(花粉症を除く)	症状はなく安定している	74	9.5	6.8	1.4	20.3	62.2
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	106	13.2	5.7	1.9	50.0	29.2
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	45	20.0	6.7	11.1	40.0	22.2
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	9	33.3	0.0	11.1	44.4	11.1
	花粉症	症状はなく安定している	159	15.1	5.0	3.1	24.5	52.2
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	1479	10.3	3.8	2.4	37.1	46.4
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	1051	11.5	3.9	3.6	46.7	34.3
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	185	23.8	5.4	4.9	41.1	24.9
	食物アレルギー	症状はなく安定している	334	10.8	6.6	0.6	20.1	62.0
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	307	15.0	4.9	2.3	25.7	52.1
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	70	20.0	2.9	7.1	22.9	47.1
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	18	44.4	5.6	0.0	16.7	33.3
その他アレルギー	症状はなく安定している	106	11.3	3.8	1.9	17.9	65.1	
	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	201	9.5	5.0	1.0	40.3	44.3	
	日々の症状により日常生活に時々影響がある	58	8.6	5.2	8.6	43.1	34.5	
	症状が安定せず、日常生活に影響がある	10	20.0	0.0	0.0	50.0	30.0	
小児調査	気管支ぜん息	症状はなく安定している	152	10.5	7.9	1.3	43.4	36.8
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	160	11.3	9.4	3.1	70.6	5.6
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	50	28.0	10.0	6.0	56.0	-
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	-	-	-	-	-	-
	アトピー性皮膚炎	症状はなく安定している	49	6.1	4.1	-	42.9	46.9
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	254	18.5	5.9	3.9	60.2	11.4
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	59	25.4	3.4	5.1	59.3	6.8
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	8	25.0	-	-	75.0	-
	アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)	症状はなく安定している	22	4.5	9.1	-	50.0	36.4
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	209	9.6	2.9	2.9	67.5	17.2
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	105	14.3	1.0	4.8	66.7	13.3
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	9	55.6	11.1	-	33.3	-
	アレルギー性結膜炎(花粉症を除く)	症状はなく安定している	18	11.1	5.6	-	50.0	33.3
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	54	7.4	3.7	-	79.6	9.3
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	16	37.5	-	12.5	50.0	-
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	1	-	-	-	100.0	-
	花粉症	症状はなく安定している	46	8.7	2.2	2.2	45.7	41.3
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	628	9.7	3.0	2.4	56.7	28.2
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	365	10.1	1.4	3.0	72.9	12.6
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	30	20.0	10.0	3.3	63.3	3.3
	食物アレルギー	症状はなく安定している	234	12.8	9.0	0.9	24.4	53.0
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	175	21.7	5.1	1.7	40.0	31.4
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	31	25.8	6.5	3.2	38.7	25.8
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	8	87.5	-	-	12.5	-
その他アレルギー	症状はなく安定している	68	11.8	4.4	2.9	27.9	52.9	
	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	132	9.8	5.3	0.8	50.8	33.3	
	日々の症状により日常生活に時々影響がある	30	10.0	6.7	6.7	60.0	16.7	
	症状が安定せず、日常生活に影響がある	4	50.0	-	-	50.0	-	
成人調査	気管支ぜん息	症状はなく安定している	271	8.1	5.2	0.4	8.9	77.5
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	127	27.6	17.3	5.5	25.2	24.4
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	37	8.1	13.5	10.8	43.2	24.3
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	アトピー性皮膚炎	症状はなく安定している	125	4.8	4.8	0.8	6.4	83.2
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	218	17.4	7.3	5.0	26.6	43.6
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	80	26.3	5.0	11.3	40.0	17.5
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	24	50.0	12.5	4.2	25.0	8.3
	アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)	症状はなく安定している	92	8.7	3.3	2.2	7.6	78.3
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	330	10.0	6.4	3.9	16.7	63.0
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	145	15.2	6.2	5.5	24.1	49.0
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	26	26.9	3.8	11.5	26.9	30.8
	アレルギー性結膜炎(花粉症を除く)	症状はなく安定している	56	8.9	7.1	1.8	10.7	71.4
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	52	19.2	7.7	3.8	19.2	50.0
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	29	10.3	10.3	10.3	34.5	34.5
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	8	37.5	0.0	12.5	37.5	12.5
	花粉症	症状はなく安定している	113	17.7	6.2	3.5	15.9	56.6
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	851	10.8	4.3	2.5	22.6	59.8
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	686	12.2	5.2	3.9	32.8	45.8
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	155	24.5	4.5	5.2	36.8	29.0
	食物アレルギー	症状はなく安定している	100	6.0	1.0	0.0	10.0	83.0
		若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	132	6.1	4.5	3.0	6.8	79.5
		日々の症状により日常生活に時々影響がある	39	15.4	0.0	10.3	10.3	64.1
		症状が安定せず、日常生活に影響がある	10	10.0	10.0	0.0	20.0	60.0
その他アレルギー	症状はなく安定している	38	10.5	2.6	0.0	0.0	86.8	
	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	69	8.7	4.3	1.4	20.3	65.2	
	日々の症状により日常生活に時々影響がある	28	7.1	3.6	10.7	25.0	53.6	
	症状が安定せず、日常生活に影響がある	6	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	

### 3. アレルギー疾患の治療について

#### ① 家庭で実施する治療やケアについて（指導の有無）

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問10. これまでに、家庭で実施する治療やケア（くすり、スキンケア、食事等に関する指導）について教えてもらったことがありますか。（当てはまるものすべて選択）

全体（小児調査+成人調査）では「医療機関で教えてもらったことがある」が46.5%と最も高く、「教えてもらったことがない」が40.1%であった。

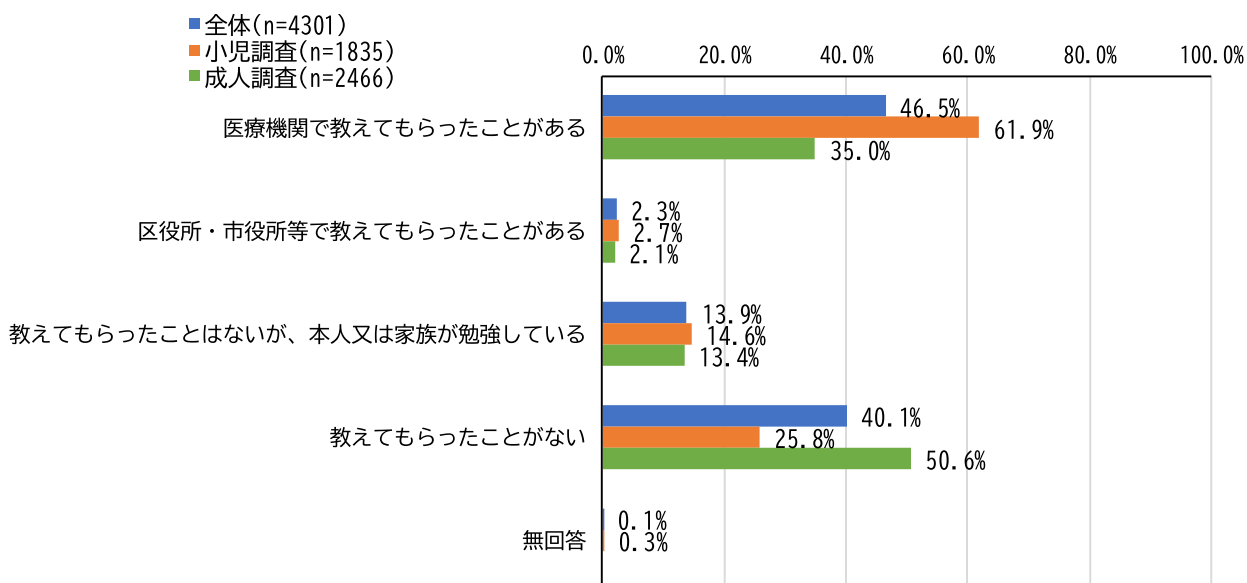
小児調査では、「医療機関で教えてもらったことがある」が61.9%と最も高く、「教えてもらったことがない」が25.8%であった。

成人調査では、「医療機関で教えてもらったことがある」が35.0%であり、「教えてもらったことがない」が50.6%と最も高かった。

成人調査では小児調査よりも、「教えてもらったことがない」の割合が高かった（有意差あり）。

小児調査・成人調査ともに年齢別・アレルギー罹患状況別で大きな違いはみられなかった。

【図18】家庭で実施する治療やケアについて（指導の有無）



【表6】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 家庭で実施する治療やケアについて（指導の有無）

			回答数	医療機 関で教 えても らった ことが ある	区役 所・市 役所等 で教え ても らった ことが ある	教えて もらっ たこと はない が、本 人又は 家族が 勉強し ている	教えて もらっ たこと がない	無回答
全体（小児+成人）			4301	46.5	2.3	13.9	40.1	0.1
年齢	小児 調査	0～1歳児	198	67.2	6.6	14.1	21.2	0.0
		3～4歳児	398	65.1	4.5	11.6	25.9	0.5
		小学校1年生	590	63.2	2.0	13.9	26.1	0.0
		中学校1年生	649	57.0	1.1	17.3	27.0	0.6
		20代	329	43.8	1.5	12.8	42.9	0.0
	成人 調査	30代	713	36.3	3.4	12.9	48.9	0.0
		40代	547	31.1	2.4	13.2	55.0	0.0
		50代	635	33.5	0.8	14.8	51.3	0.0
		60代（60～64歳）	242	31.8	1.7	12.8	54.5	0.0
		アレルギー 罹患 状況別 (Q3)	小児 調査	気管支ぜん息	363	75.2	3.0	9.9
アトピー性皮膚炎	374			82.6	3.7	13.4	8.8	0.5
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	348			62.6	2.6	15.2	25.6	0.3
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	91			67.0	2.2	14.3	18.7	2.2
花粉症	1073			56.6	2.4	17.6	29.2	0.5
食物アレルギー	451			75.2	3.3	10.9	16.0	0.0
その他アレルギー	237			64.6	0.8	13.9	23.2	0.8
成人 調査	気管支ぜん息		440	47.3	3.0	10.7	41.4	0.0
	アトピー性皮膚炎		447	51.0	3.4	12.1	35.1	0.0
	アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）		593	39.8	3.5	10.8	47.9	0.0
	アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）		145	49.7	6.2	8.3	40.0	0.0
	花粉症		1805	33.5	2.2	14.6	51.1	0.0
	食物アレルギー		281	43.8	3.9	11.0	44.1	0.0
	その他アレルギー		141	40.4	0.7	12.8	46.8	0.0

## ② 家庭で実施する治療やケアについて（患者指導実施主体）

【問3で回答したアレルギー疾患のみ回答】・【問10. で「医療機関で教えてもらったことがある」「区役所・市役所等で教えてもらったことがある」と回答した場合、回答】

問11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

「吸入薬指導（気管支ぜん息）」「スキンケア指導（アトピー性皮膚炎）」「外用薬塗布指導（アトピー性皮膚炎）」は小児調査・成人調査ともにほとんどの割合で「医療機関」から患者指導を実施していた。

「除去食・代替食指導（食物アレルギー）」は「医療機関」から患者指導を実施している割合が全体（小児調査+成人調査）では67.1%であった。

「ダニやほこりの除去等環境維持の指導」は「医療機関」から患者指導を実施している割合が全体（小児調査+成人調査）・小児調査・成人調査ともに30%台であり、「この指導は受けていない」の割合が60%程度であった。

【表7】家庭で実施する治療やケアについて（患者指導実施主体）

患者指導実施主体	吸入薬指導 (気管支ぜん息)			スキンケア指導 (アトピー性皮膚炎)			外用薬塗布指導 (アトピー性皮膚炎)			除去食・代替食指導 (食物アレルギー)			ダニやほこりの除去等 環境維持の指導		
	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査
	n=486	n=275	n=211	n=546	n=310	n=236	n=546	n=310	n=236	n=468	n=342	n=126	n=2030	n=1144	n=886
医療機関	83.5	79.6	88.6	86.1	91.6	78.8	92.5	97.4	86.0	67.1	73.4	50.0	34.1	31.6	37.4
区役所・市役所等	1.4	0.0	3.3	3.1	2.3	4.2	2.2	0.0	5.1	2.6	2.0	4.0	2.9	1.5	4.7
この指導は受けていない	15.2	19.3	10.0	12.1	7.7	17.8	5.3	1.9	9.7	31.0	24.9	47.6	63.3	66.2	59.6
無回答	0.6	1.1	-	0.4	0.6	-	0.4	0.6	-	0.9	1.2	-	0.7	1.2	-

## ③ 家庭で実施する治療やケアについて（患者指導実施職種）

【問11. で「医療機関」と回答した指導のみ回答】

問12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

いずれの指導であっても、「医師」が患者指導を実施している割合がほとんどであった。

また、「吸入薬指導」における「看護師」「薬剤師」の割合、「スキンケア指導」における「看護師」の割合、「外用薬塗布指導」における「看護師」「薬剤師」の割合はそれぞれ30%前後であった。

【表8】家庭で実施する治療やケアについて（患者指導実施職種）

患者指導実施職種	吸入薬指導 (気管支ぜん息)			スキンケア指導 (アトピー性皮膚炎)			外用薬塗布指導 (アトピー性皮膚炎)			除去食・代替食指導 (食物アレルギー)			ダニやほこりの除去等 環境維持の指導		
	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査	全体	小児 調査	成人 調査
	n=406	n=219	n=187	n=470	n=284	n=186	n=505	n=302	n=203	n=314	n=251	n=63	n=693	n=362	n=331
医師	79.3	78.5	80.2	91.3	93.0	88.7	91.7	93.4	89.2	93.6	95.6	85.7	83.8	87.6	79.8
看護師	32.8	42.5	21.4	25.7	27.5	23.1	26.5	28.1	24.1	12.1	11.6	14.3	18.2	18.2	18.1
薬剤師	28.8	29.2	28.3	17.7	19.7	14.5	29.7	32.5	25.6	-	-	-	6.3	5.0	7.9
栄養士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.9	9.6	11.1	0.9	0.0	1.8
その他	0.2	0.0	0.5	0.9	1.1	0.5	0.2	0.3	0.0	1.6	2.0	0.0	1.2	1.4	0.9
わからない・覚えていない	3.2	2.7	3.7	1.9	1.1	3.2	1.4	0.7	2.5	3.5	1.6	11.1	7.4	4.1	10.9
無回答	0.2	0.5	-	0.2	0.4	-	0.0	0.0	-	0.6	0.8	-	0.1	0.3	-

#### ④ アレルギーの受診先について重要視すること

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

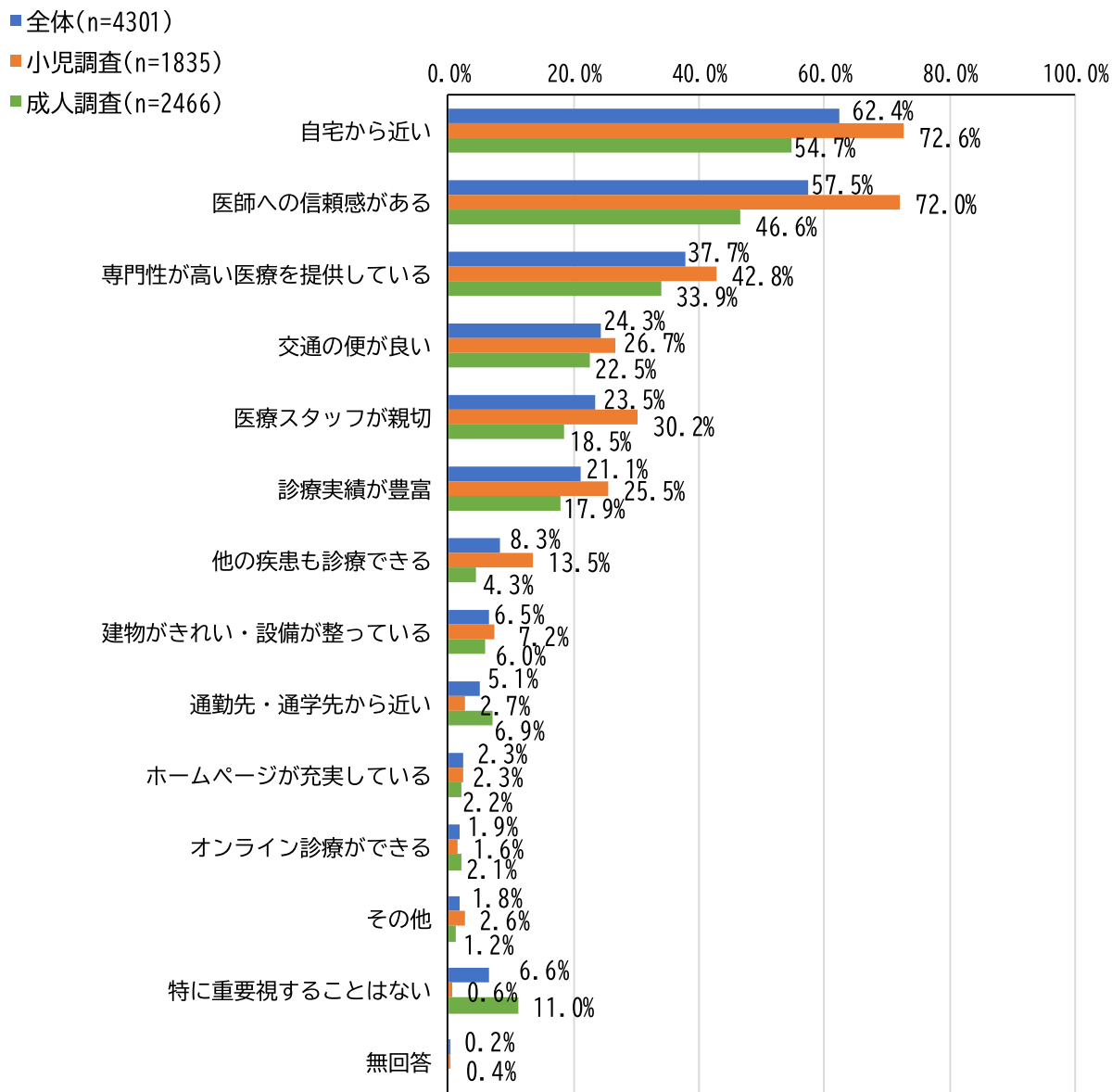
問13. アレルギーの受診先について、重要視することをご回答ください。(3つ選択)

全体（小児調査+成人調査）では「自宅から近い」が62.4%と最も高く、次いで「医師への信頼感がある」が57.5%であった。

小児調査では、「自宅から近い」が72.6%と最も高く、次いで「医師への信頼感がある」が72.0%であった。

成人調査では、「自宅から近い」が54.7%と最も高く、次いで「医師への信頼感がある」が46.6%であった。

【図19】アレルギーの受診先について重要視すること



## 4. アレルギーに関する情報、日常生活について

### ① アレルギーに関するどのような情報を知りたいか

【全員が回答】

問 14. アレルギーについて、どのような情報を知りたいかご回答ください。(当てはまるものすべて選択)

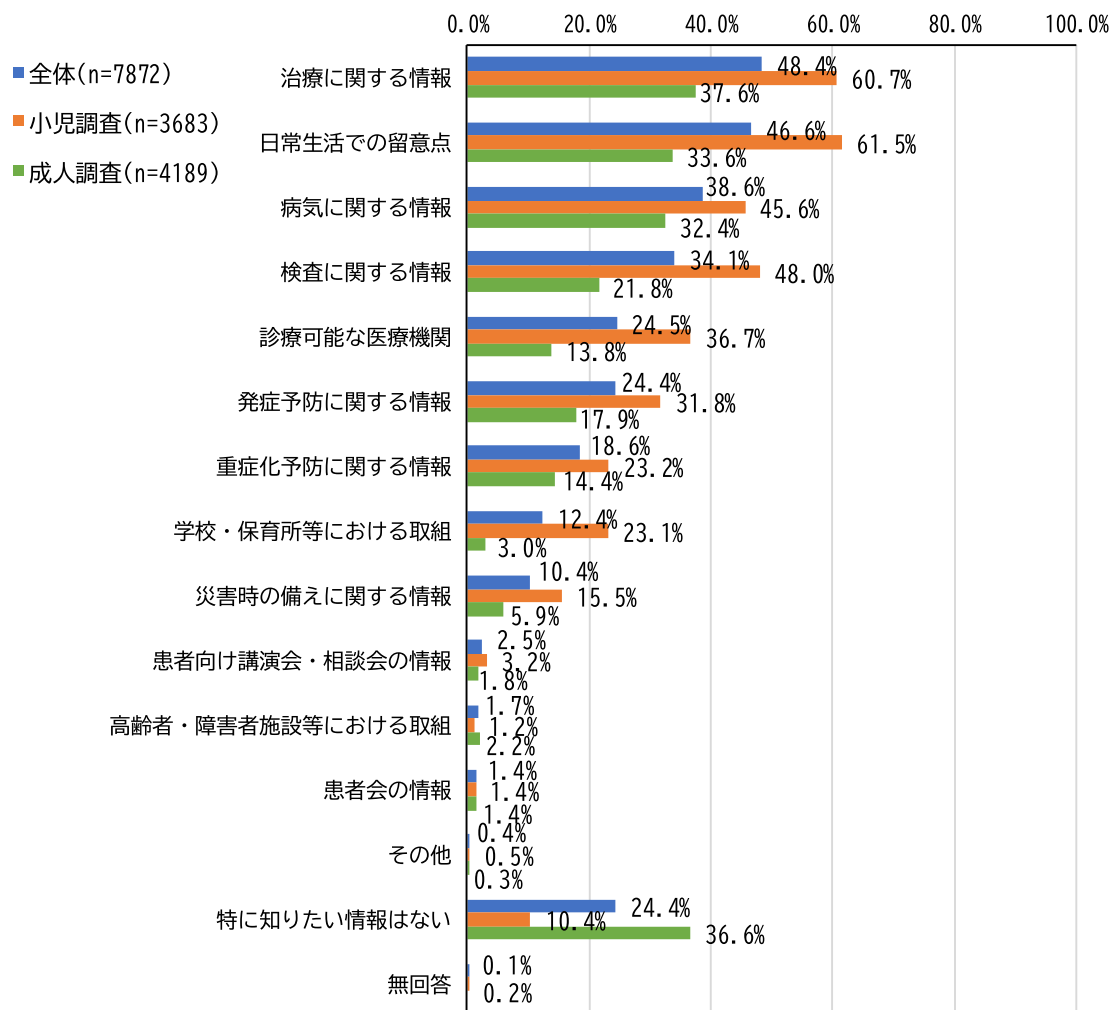
全体（小児調査+成人調査）では「治療に関する情報」が 48.4%と最も高く、次いで「日常生活での留意点」が 46.6%であった。

小児調査では、「日常生活での留意点」が 61.5%と最も高く、次いで「治療に関する情報」が 60.7%であった。

成人調査では、「治療に関する情報」が 37.6%と最も高く、次いで「日常生活での留意点」が 33.6%であった。

年齢別にみると、ほぼ全ての項目で 0～1 歳児の回答割合が最も高く、年齢が低くなるにつれて、アレルギーに関する情報へのニーズが高い傾向にある。

【図 20】アレルギーについて知りたい情報



【表9】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギーについて知りたい情報

		回答数	治療に関する情報	日常生活での留意点	病気に 関する 情報	検査に 関する 情報	診療可 能な医 療機関	発症予 防に関 する情 報	重症化 予防に 関する 情報	学校・ 保育所 等にお ける取 組	災害時 の備え に関する 情報	患者向 け講演 会・相 談会の 情報	高齢 者・障 害者施 設等 におけ る取組	患者会 の情報	その他	特に知 りたい 情報は ない	無回答	
全体（小児+成人）		7872	48.4	46.6	38.6	34.1	24.5	24.4	18.6	12.4	10.4	2.5	1.7	1.4	0.4	24.4	0.1	
年齢	小児 調査	0～1歳児	1018	58.0	67.8	50.0	57.4	43.2	41.1	27.8	30.9	21.2	4.2	1.1	1.8	0.4	8.2	0.2
		3～4歳児	925	62.4	62.7	47.8	51.5	36.4	32.9	23.2	26.1	17.5	3.4	1.2	1.5	0.2	9.2	0.1
		小学校1年生	890	60.7	58.5	40.3	43.9	33.9	27.2	22.2	20.3	11.9	2.5	1.5	1.1	0.7	11.5	0.0
		中学校1年生	850	62.0	55.6	43.4	37.3	32.0	24.4	18.8	13.4	10.4	2.7	0.9	1.1	0.6	13.4	0.6
	成人 調査	20代	580	30.0	32.8	28.4	22.6	12.2	15.7	13.8	3.8	8.3	2.9	1.4	2.4	0.2	38.8	0.0
		30代	1146	39.8	36.1	35.1	25.3	14.4	18.2	15.2	5.0	6.6	1.7	1.8	1.4	0.6	34.0	0.0
		40代	915	40.5	33.7	34.6	24.2	15.8	17.9	14.1	3.7	6.2	2.6	2.2	2.1	0.2	33.4	0.0
		50代	1113	38.0	32.3	31.1	16.5	11.9	18.2	15.5	0.9	4.3	1.0	2.2	0.6	0.0	39.5	0.0
		60代（60～64歳）	435	35.2	31.3	29.7	20.2	14.7	19.5	11.5	0.5	3.9	0.7	4.6	0.2	0.2	39.5	0.0
		アレルギー 罹患 状況別 (Q3)	小児 調査	気管支ぜん息	363	72.7	67.5	56.5	41.0	35.8	34.4	32.5	24.2	17.6	5.0	1.1	2.2	0.6
アトピー性皮膚炎	374			75.9	67.9	54.5	42.5	33.4	33.4	28.9	21.1	12.3	6.4	0.8	1.9	1.3	5.3	0.3
アレルギー性鼻炎 （花粉症を除く）	348			75.0	65.8	50.9	42.5	37.1	29.0	22.1	16.1	11.8	3.2	1.1	0.9	0.6	6.3	0.3
アレルギー性結膜炎 （花粉症を除く）	91			68.1	71.4	50.5	44.0	42.9	29.7	30.8	15.4	15.4	7.7	1.1	2.2	0.0	8.8	1.1
花粉症	1073			73.4	61.7	47.2	43.4	34.2	28.3	24.6	16.8	11.6	2.8	0.8	1.2	0.8	7.8	0.3
食物アレルギー	451			69.6	66.5	51.7	48.3	37.7	26.4	26.6	26.6	14.0	3.8	0.9	1.8	0.4	6.4	0.0
その他アレルギー	237			73.0	65.4	50.2	41.4	38.4	29.1	27.0	17.3	16.9	3.8	1.3	2.5	0.8	7.6	0.8
成人 調査	気管支ぜん息		440	50.9	44.8	45.2	24.3	20.5	27.7	25.5	3.2	11.4	3.4	3.4	4.3	0.2	18.0	0.0
	アトピー性皮膚炎		447	57.0	46.5	46.1	23.0	19.0	21.0	21.0	3.4	8.7	3.6	3.1	3.4	0.0	16.8	0.0
	アレルギー性鼻炎 （花粉症を除く）		593	55.5	41.3	42.5	27.8	20.4	24.1	22.3	2.7	7.8	2.0	1.3	1.9	0.2	19.9	0.0
	アレルギー性結膜炎 （花粉症を除く）		145	56.6	46.9	44.1	29.7	22.8	26.9	26.2	3.4	9.0	1.4	1.4	2.8	0.0	18.6	0.0
	花粉症		1805	53.5	42.1	39.9	25.5	17.6	23.4	21.2	2.6	6.0	2.0	2.0	1.6	0.4	21.3	0.0
	食物アレルギー		281	48.8	44.5	36.3	31.7	23.1	26.7	26.0	2.8	10.7	2.5	3.2	2.8	0.0	20.3	0.0
	その他アレルギー		141	58.9	54.6	48.9	37.6	22.7	24.1	25.5	2.1	11.3	3.5	1.4	1.4	0.0	13.5	0.0

## ② アレルギーに関する情報取得希望時期

【問 14 で「特に知りたい情報はない」以外を回答している場合、回答】

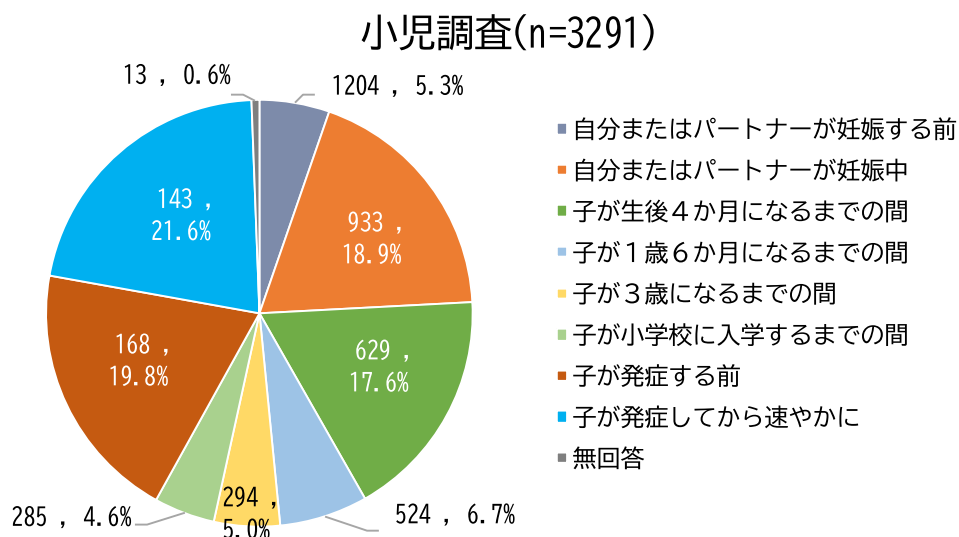
問 15. アレルギーに関する情報をいつ知りたいかご回答ください。(一つを選択) ※小児調査と成人調査で選択肢が異なる。

小児調査では、「子が発症してから速やかに」が 21.6%、「子が発症する前」が 19.8%、「自分またはパートナーが妊娠中」が 18.9%、「子が生後4か月になるまでの間」が 17.6%であった。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「子が発症してから速やかに」の割合が高くなっていく。

また、アレルギー罹患状況別にみると、「アトピー性皮膚炎」と「食物アレルギー」は、「自分またはパートナーが妊娠中」や「子が生後4か月になるまでの間」の割合が他の疾患に比べて高く、早期からの情報提供へのニーズが高い傾向にある。

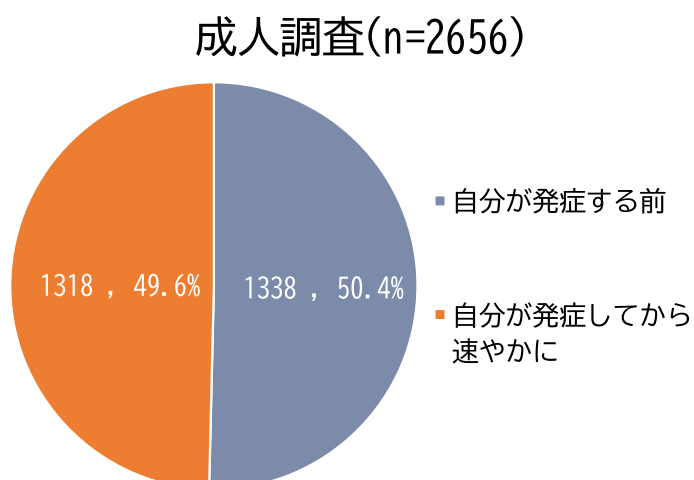
【図 21】アレルギーに関する情報取得希望時期 <小児調査>



【表 10】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギーに関する情報取得希望時期 <小児調査>

		回答数	自分またはパートナーが妊娠する前	自分またはパートナーが妊娠中	子が生後4か月になるまでの間	子が1歳6か月になるまでの間	子が3歳になるまでの間	子が小学校に入学するまでの間	子が発症する前	子が発症してから速やかに	無回答
年齢	0～1歳児	933	4.0	19.8	25.3	10.0	4.0	2.3	21.0	13.2	0.5
	3～4歳児	839	4.4	19.7	17.0	6.7	5.4	6.4	19.1	20.9	0.5
	小学校1年生	788	5.8	18.8	14.5	6.1	5.1	4.4	18.8	25.9	0.6
	中学校1年生	731	7.3	16.8	11.8	3.0	5.9	5.6	20.0	28.7	1.0
アレルギー罹患状況別(Q3)	気管支ぜん息	345	5.8	18.8	15.7	8.4	4.9	4.1	15.4	26.7	0.3
	アトピー性皮膚炎	353	7.1	24.1	21.0	5.7	4.5	2.8	12.7	22.1	0.0
	アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)	325	7.4	20.6	13.5	6.2	4.3	4.3	17.2	26.2	0.3
	アレルギー性結膜炎(花粉症を除く)	82	4.9	24.4	17.1	4.9	2.4	8.5	11.0	24.4	2.4
	花粉症	986	6.3	17.8	13.7	6.2	6.3	5.3	17.0	26.8	0.6
	食物アレルギー	422	4.0	24.9	25.6	6.2	2.6	3.6	11.8	21.1	0.2
その他アレルギー	217	6.5	20.3	12.9	5.1	4.6	3.7	16.6	29.5	0.9	

【図 22】 アレルギーに関する情報取得希望時期 <成人調査>



【表 11】 年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギーに関する情報取得希望時期 <成人調査>

		回答数	自分が発症する前	自分が発症してから速やかに	無回答
年齢	20代	355	44.5	55.5	0.0
	30代	756	50.3	49.7	0.0
	40代	609	51.1	48.9	0.0
	50代	673	52.6	47.4	0.0
	60代 (60~64歳)	263	51.3	48.7	0.0
アレルギー罹患状況別 (Q3)	気管支ぜん息	361	51.2	48.8	0.0
	アトピー性皮膚炎	372	46.5	53.5	0.0
	アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	475	43.6	56.4	0.0
	アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	118	44.9	55.1	0.0
	花粉症	1421	45.9	54.1	0.0
	食物アレルギー	224	52.7	47.3	0.0
	その他アレルギー	122	45.9	54.1	0.0

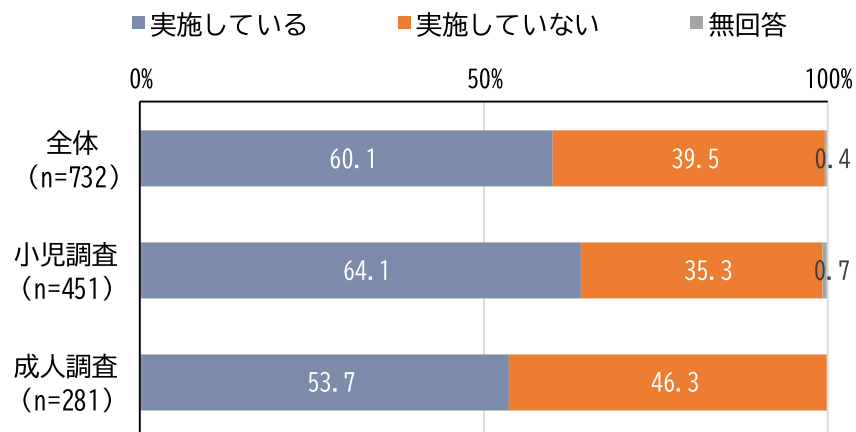
### ③ 家庭における除去・代替対応実施状況（食物アレルギー）

【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

問 16. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。家庭における食事で除去または代替対応を実施していますか。

「実施している」割合は全体（小児調査+成人調査）で 60.1%、小児調査で 64.1%、成人調査で 53.7%であった。

【図 23】 家庭における除去・代替対応実施状況（食物アレルギー）



#### ④ アレルゲン表示確認状況（食物アレルギー）

【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

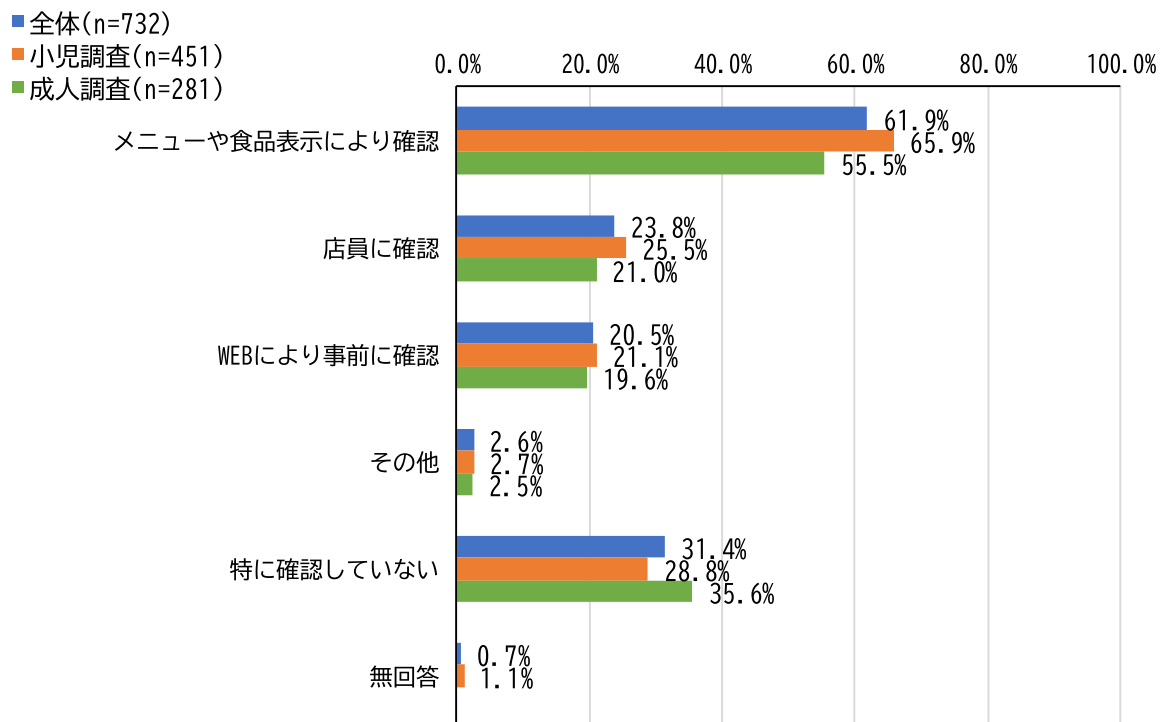
問 17. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。日頃、外食・テイクアウト・惣菜の購入時にどのようにアレルゲン表示を確認していますか。（当てはまるものすべて選択）

全体（小児調査+成人調査）では「メニューや食品表示により確認」が 61.9%と最も高く、次いで「店員に確認」が 23.8%であった。

小児調査では、「メニューや食品表示により確認」が 65.9%と最も高く、次いで「店員に確認」が 25.5%であった。

成人調査では、「メニューや食品表示により確認」が 55.5%と最も高く、次いで「店員に確認」が 21.0%であった。

【図 24】 アレルゲン表示確認状況（食物アレルギー）



## ⑤ 食物アレルギーの情報を入手しにくいと感じる状況や場面

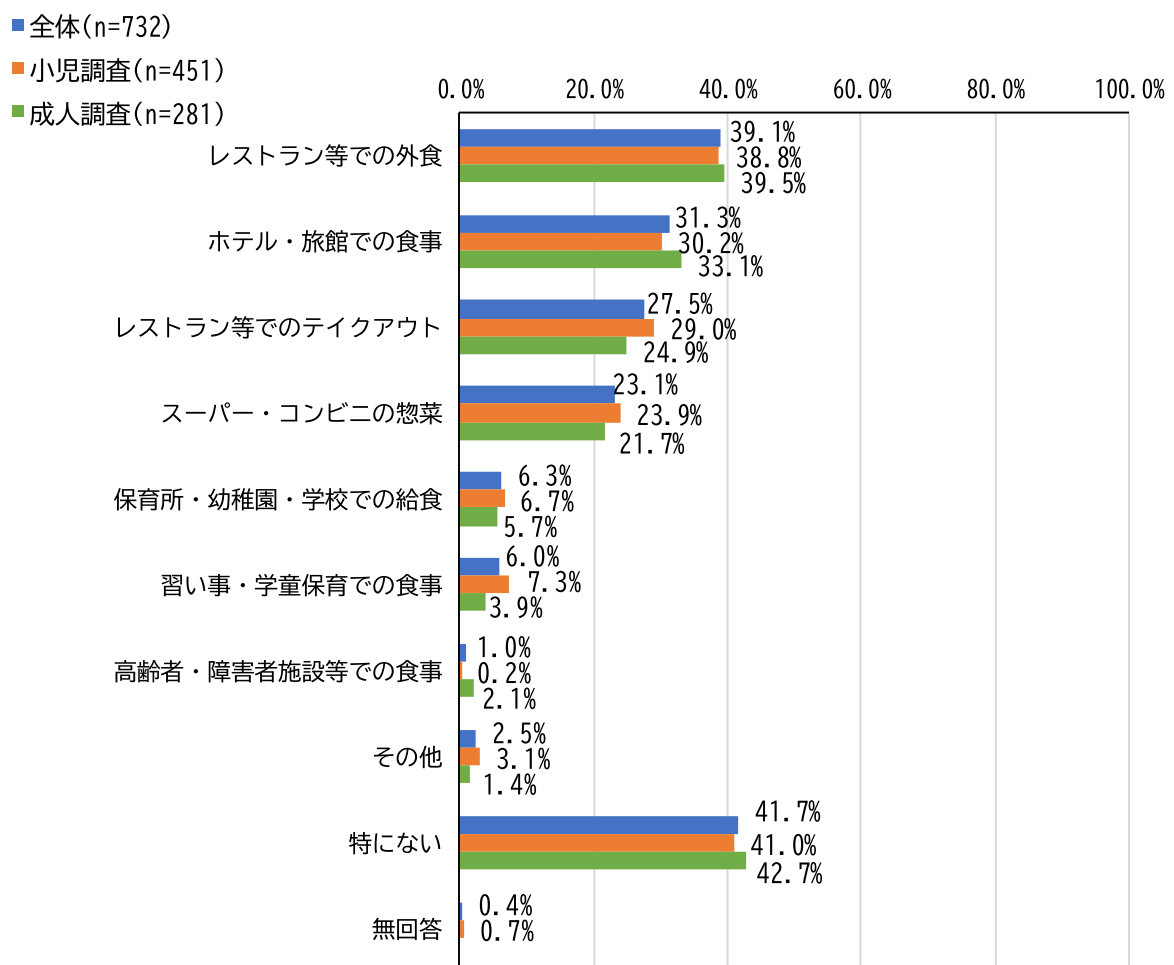
【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

問 18. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。日頃、食物アレルギーの情報を入手しにくいと感じる状況や場面はどのようなときですか。(当てはまるものすべて選択)

全体（小児調査+成人調査）では「レストラン等での外食」が 39.1%と最も高く、次いで「ホテル・旅館での食事」が 31.3%であった。

小児調査、成人調査ともに全体と同じ傾向であった。また、「特にない」が全体（小児調査+成人調査）、小児調査、成人調査いずれも、最も割合が高かった。

【図 25】 食物アレルギーの情報を入手しにくいと感じる状況や場面



## ⑥ アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごと

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問 19. アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとについて、ご回答ください。（当てはまるものすべて選択）※小児調査と成人調査で選択肢が異なる。

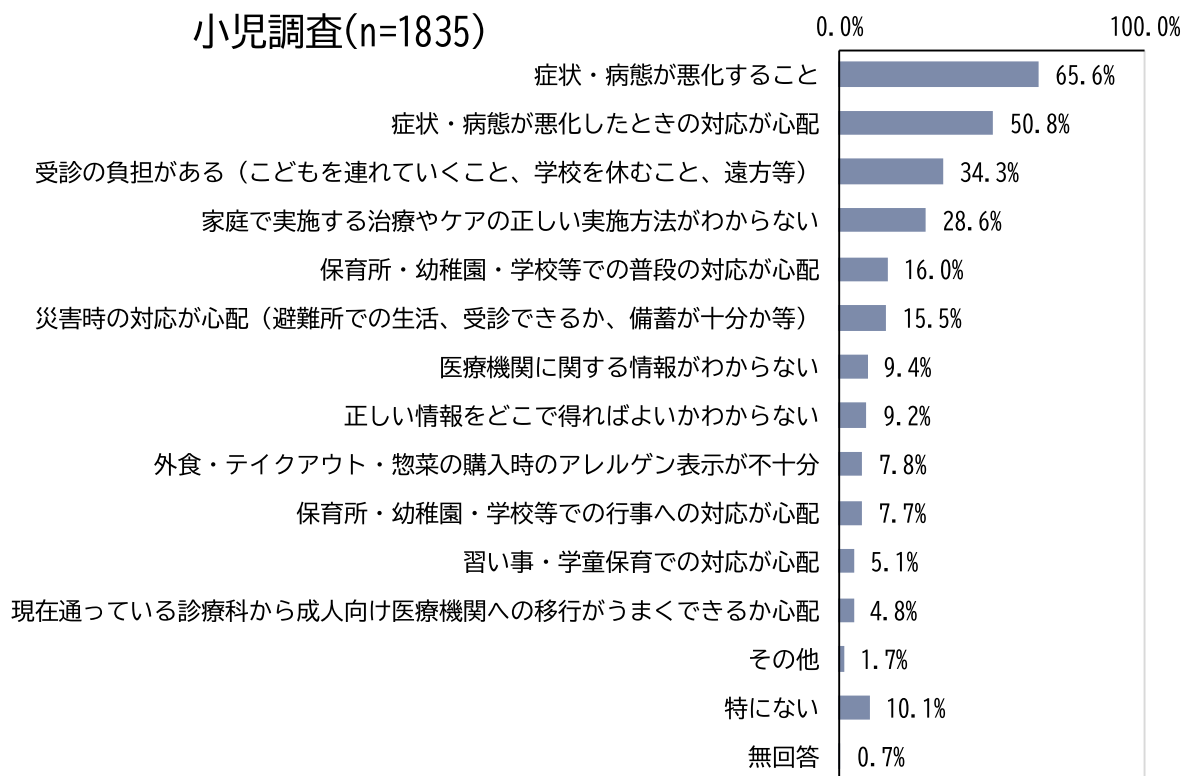
小児調査では「症状・病態が悪化すること」が 65.6%で最も高く、次いで「症状・病態が悪化したときの対応が心配」が 50.8%であった。

また、年齢別にみると、年齢が低くなるにつれて、「症状・病態が悪化すること」「症状・病態が悪化したときの対応が心配」「家庭で実施する治療やケアの正しい実施方法がわからない」「保育所・幼稚園・学校等での普段の対応が心配」の割合が高い傾向にある。

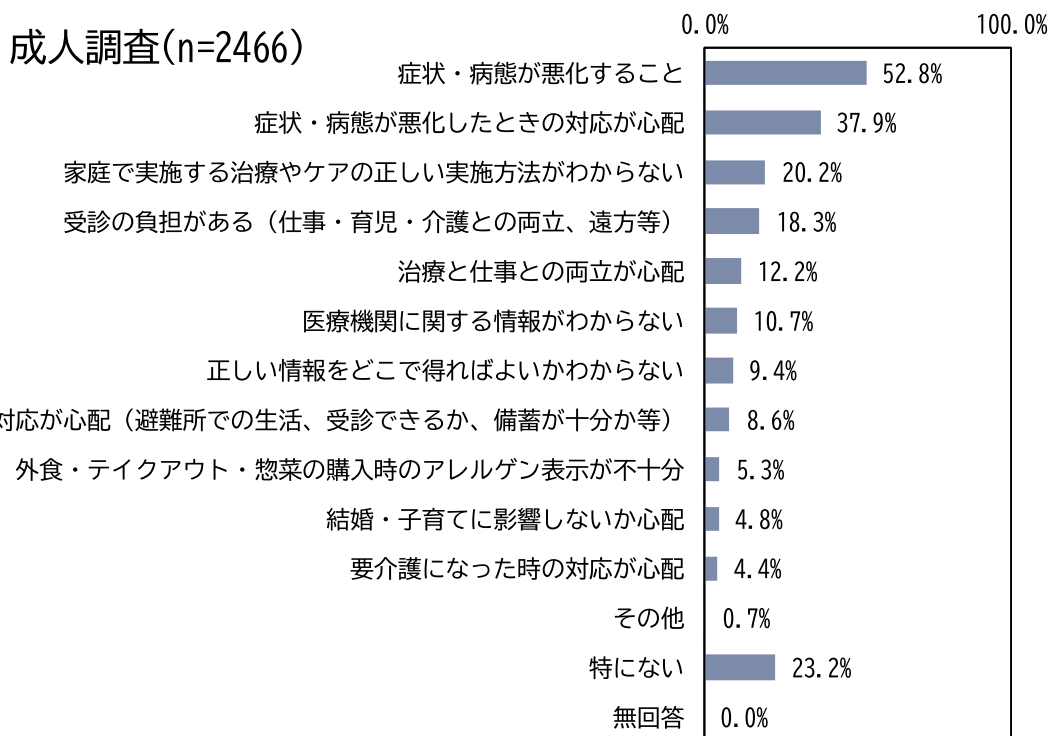
成人調査では「症状・病態が悪化すること」が 52.8%で最も高く、次いで「症状・病態が悪化したときの対応が心配」が 37.9%であった。

また、アレルギー罹患状況別にみると、小児調査・成人調査ともに、「食物アレルギー」と「気管支ぜん息」で「災害時の対応が心配（避難所での生活、受診できるか、備蓄が十分か等）」の割合が他の疾患と比べて高かった。

【図 26】 アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごと〈小児調査〉



【図 27】アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごと＜成人調査＞



【表 12】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごと＜小児調査＞

	回答数	症状・病態が悪化すること		症状・病態が悪化したときの対応が心配		受診の負担がある（こどもを連れていくこと、学校を休むこと、遠方等）		家庭で実施する治療やケアの正しい実施方法がわからない		保育所・幼稚園・学校等での普段の対応が心配		災害時の対応が心配（避難所での生活、受診できるか、備蓄が十分か等）		医療機関に関する情報がわからない		正しい情報をどこで得ればよいかわからない		外食・テイクアウト・惣菜の購入時のアレルギー表示が不十分		保育所・幼稚園・学校等での行事への対応が心配		習い事・学童保育での対応が心配		現在通っている診療科から成人向け医療機関への移行がうまくできるか心配		その他		特にない		無回答	
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
全体（小児）	1835	65.6	50.8	34.3	28.6	16.0	15.5	9.4	9.2	7.8	7.7	5.1	4.8	1.7	10.1	0.7															
年齢	0～1歳児	198	78.8	67.2	30.3	38.9	32.3	23.7	12.1	14.6	14.6	9.6	3.5	3.0	2.5	3.5	0.0														
	3～4歳児	398	63.1	56.5	35.2	30.7	22.9	16.6	10.3	10.6	8.3	7.5	5.5	2.8	0.3	10.6	0.8														
	小学校1年生	590	66.9	51.0	37.5	28.6	16.8	16.1	8.6	8.0	6.9	9.8	8.3	4.2	2.4	8.1	0.5														
	中学校1年生	649	61.9	42.2	32.0	24.0	6.2	11.9	8.6	7.7	6.2	5.4	2.5	7.1	1.7	13.6	1.1														
アレルギー罹患状況別 (Q3)	気管支ぜん息	363	69.4	57.3	36.9	28.4	22.3	22.6	7.7	10.2	8.5	12.1	8.0	9.4	2.2	7.4	0.0														
	アトピー性皮膚炎	374	73.0	52.9	39.8	31.8	16.8	18.4	8.8	11.2	6.1	8.3	5.6	4.8	1.1	7.2	0.5														
	アレルギー性鼻炎	348	64.7	51.7	40.8	35.1	14.4	15.8	10.9	10.3	5.7	7.8	3.4	6.3	2.0	7.8	0.6														
	アレルギー性結膜炎	91	74.7	50.5	44.0	34.1	14.3	18.7	13.2	11.0	6.6	6.6	7.7	5.5	1.1	5.5	2.2														
	花粉症	1073	66.2	47.6	36.2	29.2	13.6	13.5	10.3	8.8	5.5	7.6	5.2	5.4	1.9	9.8	0.8														
	食物アレルギー	451	53.2	52.1	27.7	22.4	14.2	22.6	5.8	7.8	20.4	8.9	6.9	4.2	3.1	13.7	0.9														
	その他アレルギー	237	69.2	53.6	33.8	27.0	19.0	18.6	9.7	8.0	8.0	10.1	4.6	6.3	3.0	10.5	1.3														

【表 13】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごと＜成人調査＞

	回答数	症状・病態が悪化すること		症状・病態が悪化したときの対応が心配		家庭で実施する治療やケアの正しい実施方法がわからない		受診の負担がある（仕事・育児・介護との両立、遠方等）		治療と仕事との両立が心配		医療機関に関する情報がわからない		正しい情報をどこで得ればよいかわからない		災害時の対応が心配（避難所での生活、受診できるか、備蓄が十分か等）		外食・テイクアウト・惣菜の購入時のアレルギー表示が不十分		結婚・子育てに影響しないか心配		要介護になった時の対応が心配		その他		特にない		無回答			
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合		
全体（成人）	2466	52.8	37.9	20.2	18.3	12.2	10.7	9.4	8.6	5.3	4.8	4.4	0.7	23.2	0.0																
年齢	20代	329	51.7	35.6	17.9	18.8	11.2	7.6	9.4	10.9	7.6	7.6	4.0	0.6	21.9	0.0															
	30代	713	55.8	40.3	25.7	24.0	15.4	12.3	7.4	9.0	5.8	8.6	3.4	0.7	19.2	0.0															
	40代	547	56.3	40.2	23.0	18.6	13.7	11.5	9.9	8.6	6.2	3.8	4.4	0.4	20.7	0.0															
	50代	635	49.3	37.2	15.1	14.3	9.4	9.8	9.9	7.2	3.3	1.6	5.7	1.3	28.3	0.0															
	60代（60～64歳）	242	46.7	30.6	13.6	10.3	7.4	11.2	12.8	7.9	3.7	0.4	4.5	0.4	28.9	0.0															
アレルギー罹患状況別 (Q3)	気管支ぜん息	440	55.5	43.0	15.9	20.5	14.8	11.6	10.7	15.9	7.7	7.7	6.1	0.2	18.2	0.0															
	アトピー性皮膚炎	447	63.8	42.1	18.6	21.9	13.0	9.4	7.2	13.4	4.9	7.4	5.4	1.1	14.5	0.0															
	アレルギー性鼻炎	593	54.8	42.8	22.4	21.9	14.8	11.6	9.4	9.3	6.1	4.7	4.4	0.5	19.1	0.0															
	アレルギー性結膜炎	145	56.6	50.3	21.4	23.4	21.4	9.7	13.1	13.1	7.6	8.3	6.9	1.4	14.5	0.0															
	花粉症	1805	54.0	38.5	21.9	19.3	12.9	10.8	9.3	8.6	5.4	4.4	4.4	0.6	23.2	0.0															
	食物アレルギー	281	42.3	39.9	10.3	14.9	11.4	8.5	8.2	16.4	16.0	5.3	5.7	1.8	26.3	0.0															
	その他アレルギー	141	56.0	48.2	24.8	24.1	12.8	16.3	17.0	19.1	6.4	4.3	8.5	2.1	19.9	0.0															

## ⑦ アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとの相談先の希望

【問 19 で「特になし」以外を回答している場合、回答】

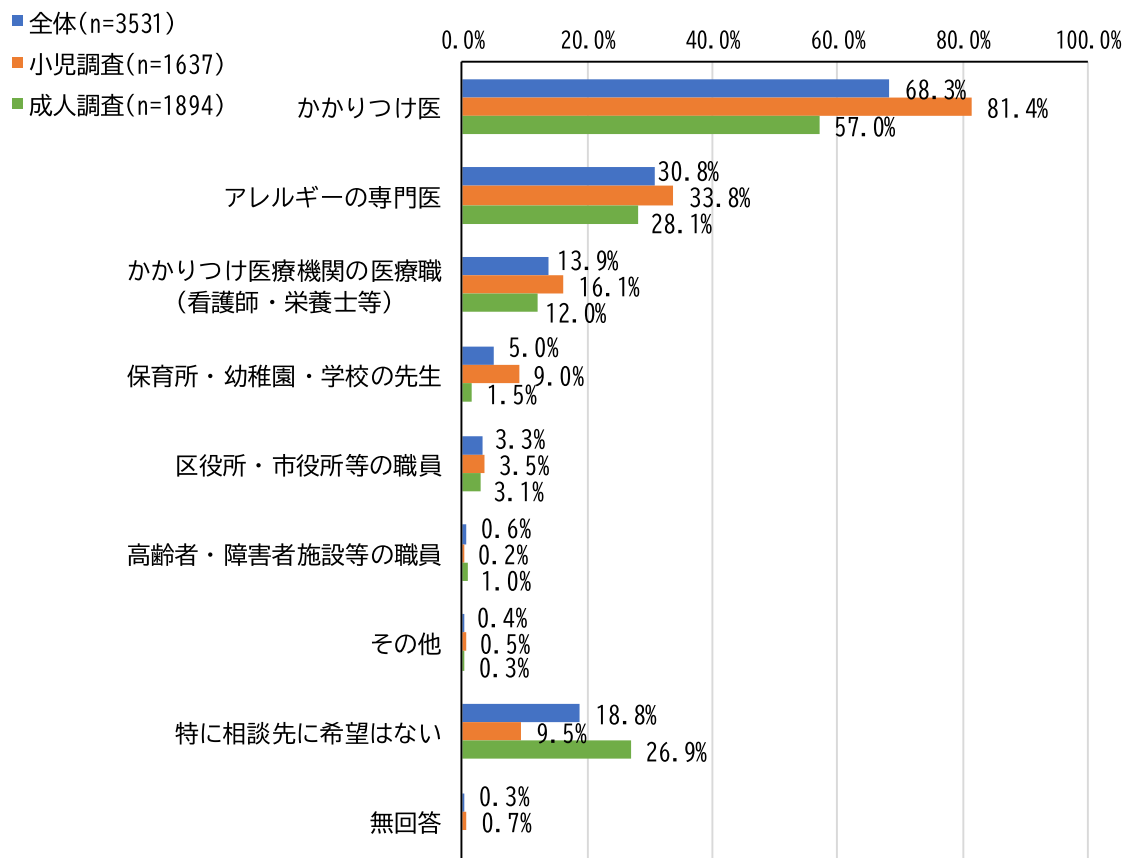
問 20. アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとについて、相談先の希望はありますか。(当てはまるものすべて選択)

全体（小児調査+成人調査）では「かかりつけ医」が 68.3%と最も高く、次いで「アレルギーの専門医」が 30.8%であった。

小児調査では、「かかりつけ医」が 81.4%と最も高く、次いで「アレルギーの専門医」が 33.8%、「かかりつけ医療機関の医療職（看護師・栄養士等）」が 16.1%であった。

成人調査では、「かかりつけ医」が 57.0%と最も高く、次いで「アレルギーの専門医」が 28.1%、「特に相談先に希望はない」が 26.9%であった。

【図 28】 アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとの相談先の希望



## ⑧ アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとの相談方法

【問 20 で「特に相談先に希望はない」以外を回答している場合、回答】

問 21. アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとについて、どのように相談したいかご回答ください。(当てはまるものすべて選択)

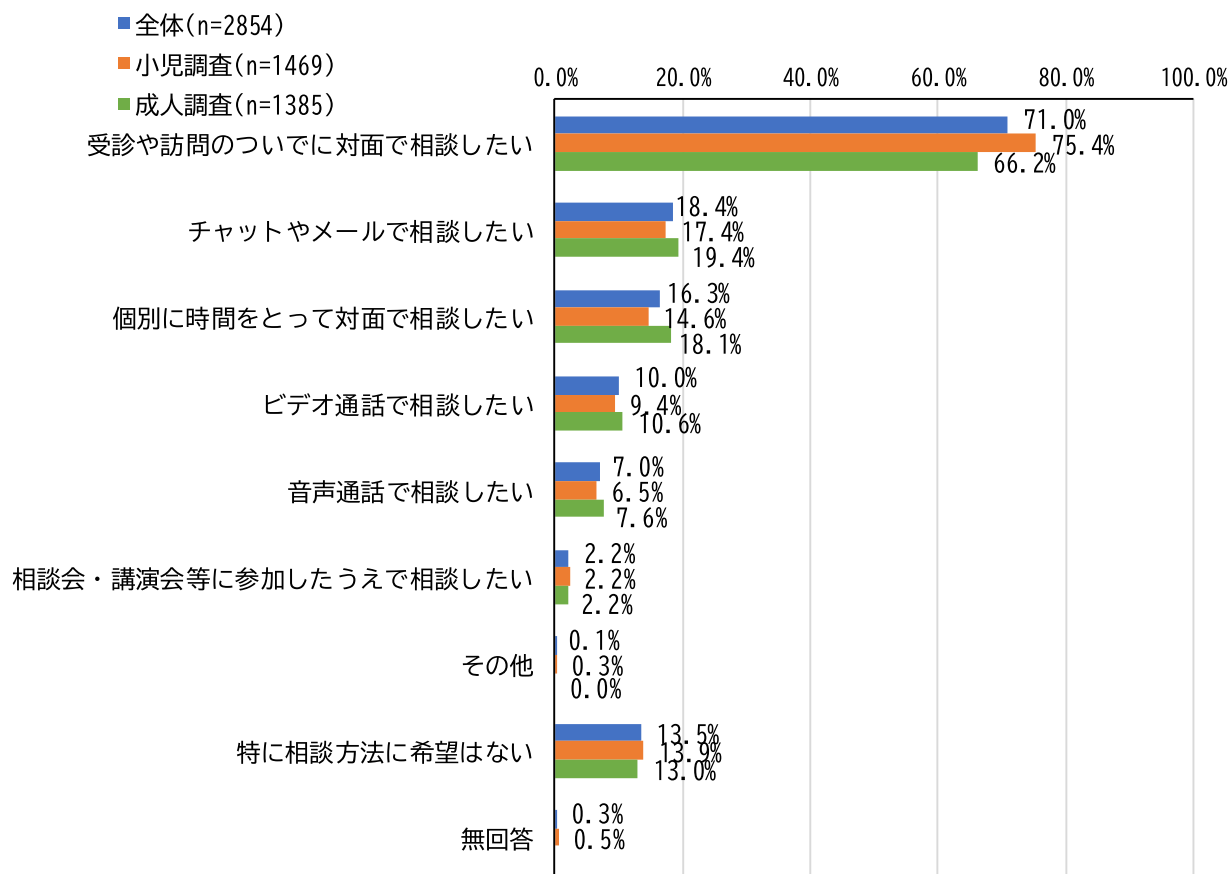
全体（小児調査+成人調査）では「受診や訪問のついでに対面で相談したい」が 71.0%と最も高く、次いで「チャットやメールで相談したい」が 18.4%であった。

小児調査では、「受診や訪問のついでに対面で相談したい」が 75.4%と最も高く、次いで「チャットやメールで相談したい」が 17.4%であった。

成人調査では、「受診や訪問のついでに対面で相談したい」が 66.2%と最も高く、次いで「チャットやメールで相談したい」が 19.4%であった。

成人調査では、年齢別にみると、『20代』『30代』は他の年齢よりも「チャットやメールで相談したい」の割合が高かった。

【図 29】アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとの相談方法



【表 14】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとの相談方法

			回答数	受診や訪問の ついでに 対面で 相談 したい	チャット や メール で 相談 したい	個別に 時間 を と っ て 対 面 で 相 談 し たい	ビデオ 通話 で 相 談 し たい	音声通 話 で 相 談 し たい	相談 会・講 演会等 に 参 加 し た う え で 相 談 し たい	その他	特に相 談方法 に希望 はない	無回答
全体（小児+成人）			2854	71.0	18.4	16.3	10.0	7.0	2.2	0.1	13.5	0.3
年齢	小児 調査	0～1歳児	176	75.0	22.7	22.7	15.3	9.1	1.7	0.0	11.4	1.1
		3～4歳児	331	76.4	18.1	19.9	9.7	6.9	4.2	0.6	14.5	0.9
		小学校1年生	500	78.0	16.2	12.2	8.2	5.4	2.0	0.2	12.6	0.0
		中学校1年生	462	72.1	16.0	10.2	8.2	6.5	1.3	0.2	15.8	0.6
	成人 調査	20代	177	61.0	26.6	21.5	10.7	9.0	1.7	0.0	10.2	0.0
		30代	412	65.5	23.1	17.5	11.2	6.8	2.7	0.0	12.4	0.0
		40代	329	69.3	17.9	19.1	10.6	7.9	1.2	0.0	10.0	0.0
		50代	339	69.0	15.3	16.2	11.5	7.7	2.9	0.0	15.3	0.0
		60代（60～64歳）	128	60.2	12.5	18.0	6.3	7.0	1.6	0.0	20.3	0.0
	アレルギー 罹患 状況別 (Q3)	小児 調査	気管支ぜん息	314	77.7	18.8	14.6	9.2	6.4	3.2	0.0	13.1
アトピー性皮膚炎			313	73.8	16.6	16.0	9.9	5.8	4.5	0.6	13.7	1.0
アレルギー性鼻炎 （花粉症を除く）			288	77.1	18.1	11.1	6.9	5.2	1.4	0.7	12.5	0.7
アレルギー性結膜炎 （花粉症を除く）			74	75.7	20.3	16.2	9.5	8.1	4.1	0.0	13.5	0.0
花粉症			857	74.6	17.6	13.0	8.3	5.8	1.9	0.1	14.9	0.6
食物アレルギー			340	70.6	21.2	19.1	10.3	8.8	2.9	0.3	15.0	0.6
その他アレルギー			188	73.9	18.6	16.5	5.3	6.4	2.1	0.5	13.3	0.0
成人 調査		気管支ぜん息	285	68.4	18.9	16.5	10.9	7.7	3.5	0.0	13.7	0.0
		アトピー性皮膚炎	288	66.7	20.8	20.1	10.1	9.0	3.5	0.0	11.5	0.0
		アレルギー性鼻炎 （花粉症を除く）	342	67.8	22.5	20.5	10.5	8.2	2.3	0.0	13.5	0.0
		アレルギー性結膜炎 （花粉症を除く）	98	58.2	24.5	26.5	10.2	12.2	4.1	0.0	17.3	0.0
		花粉症	1019	67.5	19.5	19.4	11.4	7.7	2.5	0.0	12.9	0.0
		食物アレルギー	155	62.6	23.9	18.1	15.5	8.4	3.9	0.0	14.8	0.0
		その他アレルギー	85	76.5	23.5	20.0	10.6	8.2	3.5	0.0	7.1	0.0

【表 15】年齢×アレルギー疾患罹患状況×アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとの相談方法

		回答数	受診や訪問のついでに対面で相談したい	個別に時間をとって対面で相談したい	ビデオ通話で相談したい	音声通話で相談したい	チャットやメールで相談したい	相談会・講演会等に参加したうえで相談したい	その他	特に相談方法に希望はない
小児調査	気管支ぜん息	314	77.7	14.6	9.2	6.4	18.8	3.2	-	13.1
	アトピー性皮膚炎	310	74.5	16.1	10.0	5.8	16.8	4.5	0.6	13.9
	アレルギー性鼻炎	286	77.6	11.2	7.0	5.2	18.2	1.4	0.7	12.6
	アレルギー性結膜炎	74	75.7	16.2	9.5	8.1	20.3	4.1	-	13.5
	花粉症	852	75.0	13.0	8.3	5.9	17.7	1.9	0.1	15.0
	食物アレルギー	338	71.0	19.2	10.4	8.9	21.3	3.0	0.3	15.1
	その他アレルギー	188	73.9	16.5	5.3	6.4	18.6	2.1	0.5	13.3
0～1歳児	気管支ぜん息	22	77.3	18.2	22.7	4.5	13.6	9.1	-	13.6
	アトピー性皮膚炎	57	77.2	24.6	7.0	7.0	10.5	-	-	12.3
	アレルギー性鼻炎	17	70.6	17.6	23.5	5.9	17.6	-	-	23.5
	アレルギー性結膜炎	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0
	花粉症	24	70.8	-	8.3	-	16.7	-	-	20.8
	食物アレルギー	70	74.3	28.6	15.7	12.9	32.9	1.4	-	7.1
	その他アレルギー	14	78.6	28.6	21.4	14.3	14.3	-	-	21.4
3～4歳児	気管支ぜん息	91	80.2	19.8	7.7	5.5	19.8	4.4	-	13.2
	アトピー性皮膚炎	81	79.0	24.7	11.1	4.9	18.5	11.1	1.2	13.6
	アレルギー性鼻炎	42	78.6	19.0	9.5	7.1	19.0	4.8	2.4	14.3
	アレルギー性結膜炎	11	72.7	27.3	-	9.1	9.1	9.1	-	18.2
	花粉症	155	71.0	19.4	8.4	7.1	21.9	3.9	-	18.7
	食物アレルギー	76	77.6	25.0	14.5	9.2	17.1	5.3	1.3	14.5
	その他アレルギー	35	77.1	28.6	5.7	8.6	22.9	5.7	-	17.1
小学校1年生	気管支ぜん息	118	79.7	16.1	10.2	7.6	19.5	1.7	-	11.0
	アトピー性皮膚炎	95	72.6	12.6	11.6	3.2	17.9	2.1	-	12.6
	アレルギー性鼻炎	86	83.7	9.3	3.5	7.0	15.1	1.2	-	8.1
	アレルギー性結膜炎	24	83.3	16.7	12.5	4.2	16.7	4.2	-	12.5
	花粉症	323	79.3	12.7	9.0	4.6	17.3	1.9	-	12.1
	食物アレルギー	102	74.5	14.7	7.8	5.9	19.6	2.9	-	11.8
	その他アレルギー	74	78.4	12.2	1.4	5.4	18.9	1.4	1.4	9.5
中学校1年生	気管支ぜん息	83	72.3	6.0	6.0	6.0	18.1	2.4	-	15.7
	アトピー性皮膚炎	77	70.1	5.2	9.1	9.1	18.2	3.9	1.3	16.9
	アレルギー性鼻炎	141	74.5	9.2	6.4	3.5	19.9	0.7	0.7	13.5
	アレルギー性結膜炎	37	75.7	13.5	10.8	8.1	24.3	2.7	-	10.8
	花粉症	350	73.1	11.4	7.7	6.9	16.3	1.1	0.3	15.7
	食物アレルギー	90	58.9	12.2	5.6	8.9	17.8	2.2	-	25.6
	その他アレルギー	65	66.2	12.3	6.2	4.6	16.9	1.5	-	13.8
成人調査	気管支ぜん息	285	68.4	16.5	10.9	7.7	18.9	3.5	-	13.7
	アトピー性皮膚炎	288	66.7	20.1	10.1	9.0	20.8	3.5	-	11.5
	アレルギー性鼻炎	342	67.8	20.5	10.5	8.2	22.5	2.3	-	13.5
	アレルギー性結膜炎	98	58.2	26.5	10.2	12.2	24.5	4.1	-	17.3
	花粉症	1019	67.5	19.4	11.4	7.7	19.5	2.5	-	12.9
	食物アレルギー	155	62.6	18.1	15.5	8.4	23.9	3.9	-	14.8
	その他アレルギー	85	76.5	20.0	10.6	8.2	23.5	3.5	-	7.1
20代	気管支ぜん息	44	63.6	13.6	11.4	6.8	18.2	2.3	-	18.2
	アトピー性皮膚炎	42	57.1	26.2	11.9	4.8	26.2	-	-	14.3
	アレルギー性鼻炎	57	64.9	21.1	8.8	12.3	31.6	1.8	-	12.3
	アレルギー性結膜炎	18	61.1	22.2	16.7	11.1	50.0	-	-	5.6
	花粉症	127	63.8	18.9	10.2	10.2	24.4	2.4	-	9.4
	食物アレルギー	28	57.1	7.1	17.9	7.1	25.0	-	-	14.3
	その他アレルギー	17	58.8	11.8	11.8	11.8	35.3	-	-	11.8
30代	気管支ぜん息	85	64.7	16.5	11.8	7.1	22.4	3.5	-	16.5
	アトピー性皮膚炎	99	62.6	18.2	7.1	8.1	21.2	5.1	-	12.1
	アレルギー性鼻炎	98	66.3	12.2	11.2	7.1	24.5	2.0	-	13.3
	アレルギー性結膜炎	26	50.0	19.2	7.7	7.7	15.4	3.8	-	26.9
	花粉症	299	65.9	18.7	12.0	5.4	23.4	2.7	-	13.0
	食物アレルギー	54	59.3	24.1	18.5	7.4	24.1	3.7	-	14.8
	その他アレルギー	26	88.5	26.9	7.7	3.8	26.9	3.8	-	3.8
40代	気管支ぜん息	64	71.9	15.6	6.3	7.8	21.9	-	-	6.3
	アトピー性皮膚炎	68	76.5	23.5	10.3	8.8	16.2	1.5	-	7.4
	アレルギー性鼻炎	95	71.6	24.2	12.6	5.3	20.0	1.1	-	10.5
	アレルギー性結膜炎	24	79.2	20.8	4.2	8.3	16.7	-	-	4.2
	花粉症	245	71.4	21.2	12.7	7.8	18.8	1.6	-	9.4
	食物アレルギー	29	69.0	20.7	20.7	13.8	27.6	10.3	-	6.9
	その他アレルギー	11	72.7	18.2	18.2	18.2	36.4	9.1	-	-
50代	気管支ぜん息	72	70.8	19.4	15.3	11.1	16.7	8.3	-	13.9
	アトピー性皮膚炎	62	72.6	16.1	14.5	14.5	24.2	4.8	-	9.7
	アレルギー性鼻炎	68	69.1	26.5	10.3	10.3	19.1	5.9	-	19.1
	アレルギー性結膜炎	24	45.8	37.5	16.7	20.8	29.2	12.5	-	29.2
	花粉症	253	70.8	18.2	11.1	8.7	15.4	3.6	-	14.6
	食物アレルギー	36	66.7	16.7	8.3	8.3	19.4	2.8	-	19.4
	その他アレルギー	25	80.0	20.0	12.0	4.0	12.0	4.0	-	8.0
60代(60～64歳)	気管支ぜん息	20	75.0	15.0	5.0	-	5.0	-	-	15.0
	アトピー性皮膚炎	17	52.9	17.6	5.9	5.9	11.8	5.9	-	23.5
	アレルギー性鼻炎	24	62.5	20.8	4.2	8.3	12.5	-	-	12.5
	アレルギー性結膜炎	6	50.0	50.0	-	16.7	-	-	-	16.7
	花粉症	95	58.9	21.1	8.4	8.4	13.7	1.1	-	21.1
	食物アレルギー	8	62.5	12.5	-	-	25.0	-	-	25.0
	その他アレルギー	6	66.7	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7

## ⑨ アレルギー疾患に関する情報収集方法

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

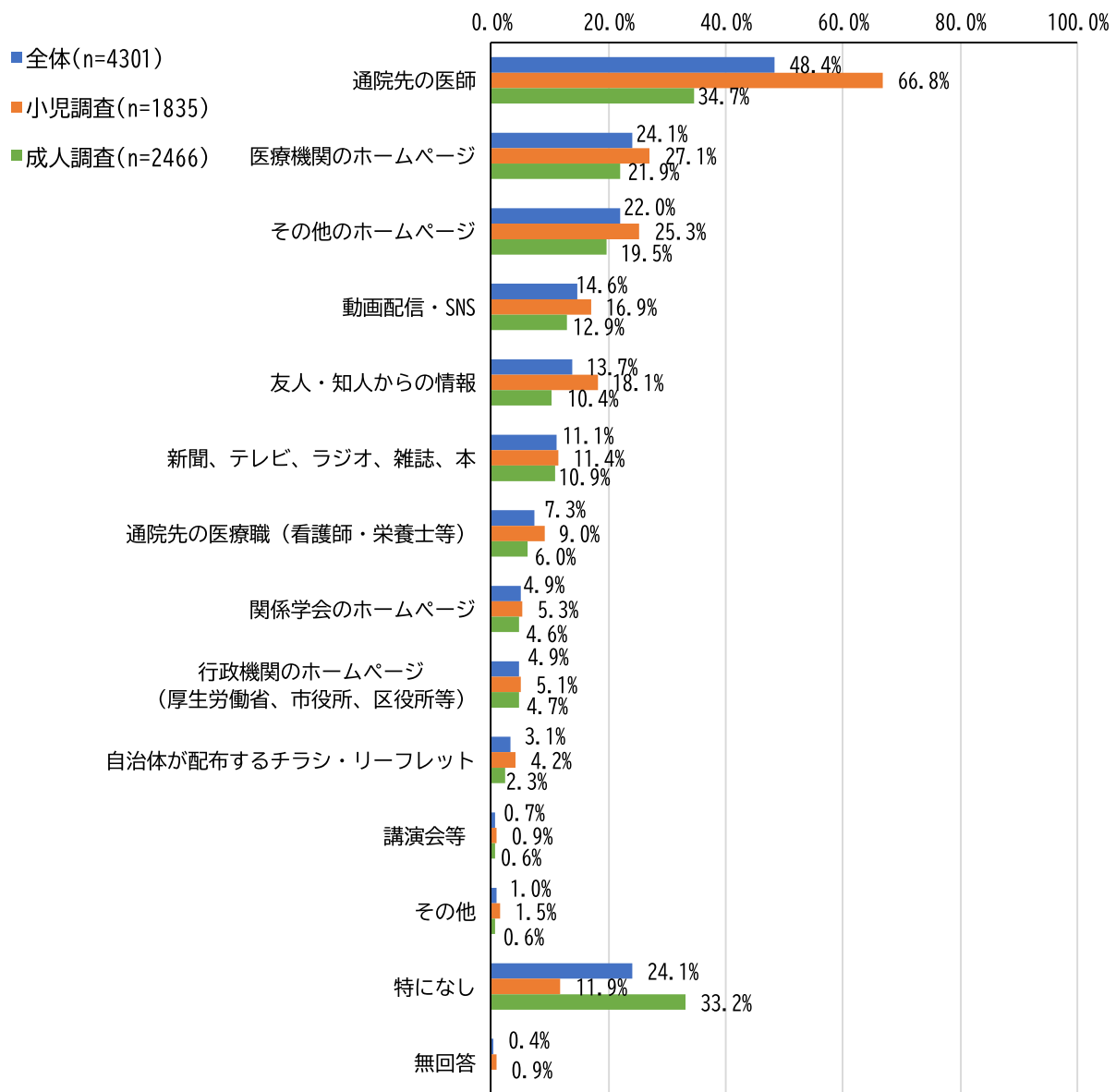
問22. アレルギー疾患に関する情報収集はどのように行っていますか。(当てはまるものすべて選択)

全体（小児調査+成人調査）では「通院先の医師」が48.4%と最も高く、次いで「医療機関のホームページ」が24.1%であった。

小児調査と成人調査を比べると、「通院先の医師」の割合について、小児調査の66.8%に対し成人調査は34.7%であった。また、成人調査の「特になし」の割合は33.2%に上った。

小児調査・成人調査ともに年齢別・アレルギー罹患状況別にみても、大きな違いは見られなかった。

【図30】アレルギー疾患に関する情報収集方法



【表 16】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギー疾患に関する情報収集方法

		回答数	通院先の 医師	医療機 関の ホーム ページ	その 他 の ホ ー ム ペ ー ジ	動画配 信・SNS	友人・ 知人か らの情 報	新聞、 テレ ビ、ラ ジオ、 本	通院先 の医療 職（看 護師・ 栄養士 等）	関係学 会の ホーム ページ	行政機 関の ホーム ページ （厚生 労働 省、市 役所、 区役所 等）	自治体 が配布 するチ ラシ・ リーフ レット	講演会 等	その他	特にな し	無回答	
全体（小児+成人）		4301	48.4	24.1	22.0	14.6	13.7	11.1	7.3	4.9	4.9	3.1	0.7	1.0	24.1	0.4	
年齢	小児 調査	0～1歳児	198	71.7	25.3	21.7	24.7	19.2	9.6	9.1	8.1	8.1	6.6	0.5	2.0	6.6	1.0
		3～4歳児	398	69.8	28.4	22.9	22.4	17.1	6.8	11.1	6.3	5.5	3.8	1.0	1.8	13.3	0.8
		小学校1年生	590	70.0	28.1	27.1	14.9	16.8	10.2	9.0	4.7	5.4	4.4	0.8	1.5	10.5	0.3
		中学校1年生	649	60.6	25.9	26.3	13.1	19.6	16.0	7.7	4.5	3.7	3.5	1.1	1.2	13.9	1.4
	成人 調査	20代	329	31.3	24.9	16.7	18.2	12.8	6.4	4.9	4.0	6.1	2.7	0.6	0.6	35.3	0.0
		30代	713	34.1	23.4	19.2	16.5	12.3	8.7	6.2	6.2	4.3	2.8	0.7	0.4	34.8	0.0
		40代	547	36.7	24.9	21.4	12.1	9.9	9.7	5.7	4.4	5.7	2.4	0.7	0.7	30.2	0.0
		50代	635	37.3	18.7	19.4	8.5	7.6	14.3	7.7	3.6	3.1	1.4	0.5	0.6	31.7	0.0
		60代（60～64歳）	242	29.3	15.3	20.7	8.7	9.9	17.4	3.7	3.7	5.4	2.5	0.4	1.2	36.4	0.0
	アレルギー 罹患 状況別 (Q3)	小児 調査	気管支ぜん息	363	79.3	27.8	25.3	14.9	14.0	6.1	12.9	6.1	5.8	3.9	0.3	0.8	9.4
アトピー性皮膚炎			374	74.3	27.8	22.5	21.1	15.5	11.2	12.8	6.4	4.8	5.6	1.3	2.7	7.2	0.8
アレルギー性鼻炎 （花粉症を除く）			348	69.8	27.0	29.0	17.8	18.4	14.1	9.2	6.6	5.2	4.0	0.9	2.0	11.8	0.6
アレルギー性結膜炎 （花粉症を除く）			91	74.7	38.5	27.5	19.8	20.9	24.2	14.3	5.5	8.8	7.7	1.1	1.1	5.5	3.3
花粉症			1073	64.2	29.0	27.7	16.8	19.8	13.6	8.6	5.5	5.5	4.2	0.7	1.6	12.4	0.7
食物アレルギー			451	65.0	22.8	23.9	13.5	13.7	10.6	8.9	5.5	5.8	4.2	0.9	1.3	16.6	1.3
その他アレルギー			237	64.1	30.4	27.0	19.4	21.1	10.5	8.4	5.1	4.6	4.6	1.3	2.1	11.4	2.1
成人 調査		気管支ぜん息	440	40.0	25.2	20.7	13.2	9.5	7.0	7.3	5.0	8.0	2.7	1.1	0.7	32.0	0.0
		アトピー性皮膚炎	447	43.8	23.7	20.1	14.3	8.1	11.9	8.9	6.5	4.9	4.0	1.6	1.8	29.3	0.0
		アレルギー性鼻炎 （花粉症を除く）	593	34.4	24.3	21.6	13.5	9.1	10.5	7.1	4.7	4.4	2.7	1.0	0.8	33.2	0.0
		アレルギー性結膜炎 （花粉症を除く）	145	46.9	35.9	27.6	17.9	14.5	14.5	7.6	6.9	9.0	4.8	1.4	1.4	24.8	0.0
		花粉症	1805	35.3	22.2	21.1	13.8	11.4	12.5	5.9	4.4	4.7	2.3	0.7	0.7	31.4	0.0
		食物アレルギー	281	34.9	25.6	20.6	12.8	8.5	10.7	9.6	6.8	3.9	2.5	1.4	1.4	35.9	0.0
		その他アレルギー	141	42.6	30.5	22.7	19.1	11.3	9.2	8.5	7.1	3.5	0.7	0.0	0.7	29.1	0.0

⑩ 家庭における災害発生時の備え

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問23. ご家庭における災害発生時の備えについて、ご回答ください。(当てはまるものすべて選択)

全体（小児調査+成人調査）では「一般的な備蓄（水、食物、常備薬等）」が74.4%と最も高く、次いで「マスク」が36.3%であった。

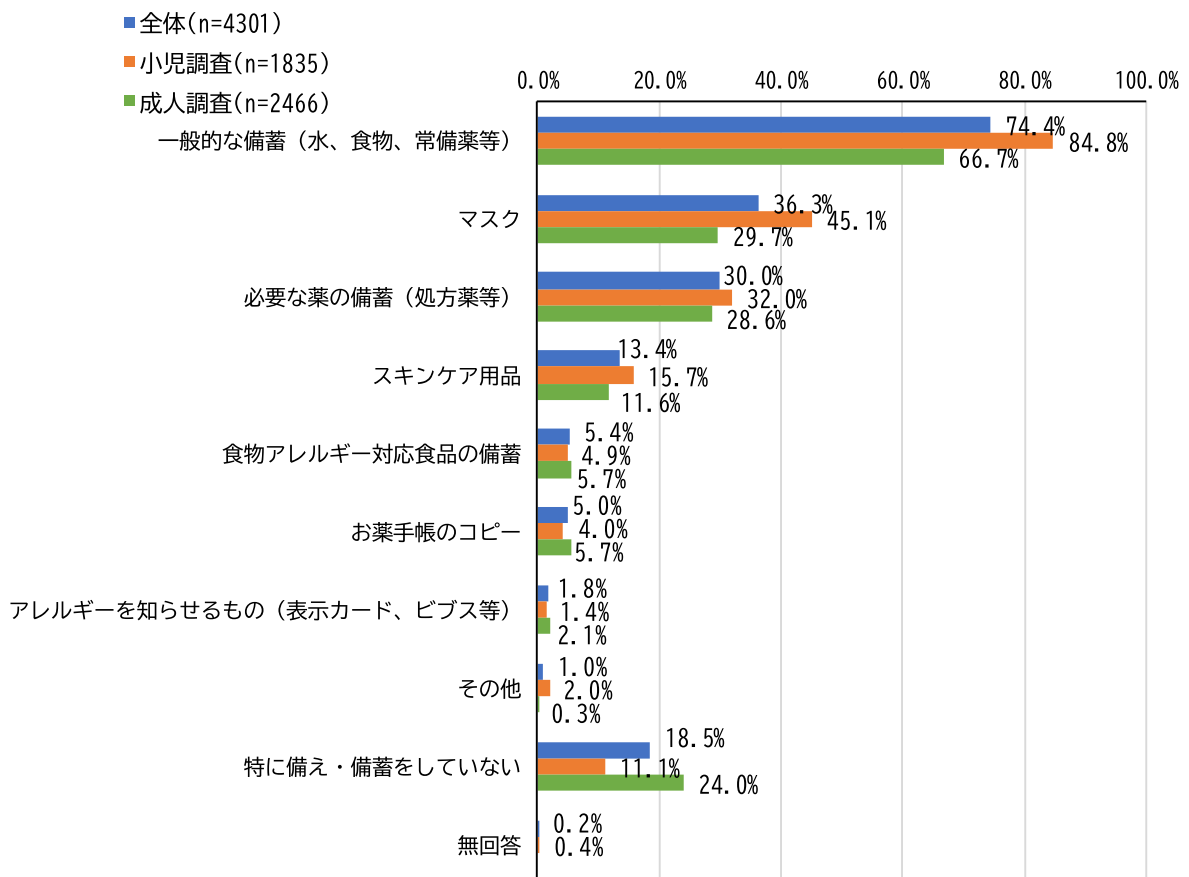
小児調査では、「一般的な備蓄（水、食物、常備薬等）」が84.8%と最も高く、次いで「マスク」が45.1%であった。

成人調査では、「一般的な備蓄（水、食物、常備薬等）」が66.7%と最も高く、次いで「マスク」が29.7%であった。

成人調査は、小児調査よりも「特に備え・備蓄をしていない」の割合が高かった（有意差あり）。

小児調査・成人調査ともに「食物アレルギー」に罹患している場合、「食物アレルギー」に罹患していない場合よりも「食物アレルギー対応食品の備蓄」の割合が高かった（有意差あり）。

【図31】家庭における災害発生時の備え



【表 17】年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 家庭における災害発生時の備え

			回答数	一般的な備蓄 (水、 食物、 常備薬 等)	マスク	必要な 薬の備 蓄(処 方薬 等)	スキン ケア用 品	食物ア レルギ ー対 応食品 の備蓄	お薬手 帳のコ ピー	アレル ギーを 知らせ るもの (表示 カード、 ビブ ス等)	その他	特に備 え・備 蓄をし ない	無回答
全体 (小児+成人)			4301	74.4	36.3	30.0	13.4	5.4	5.0	1.8	1.0	18.5	0.2
年齢	小児 調査	0～1歳児	198	86.4	36.4	29.3	16.7	5.6	2.0	0.5	1.5	8.6	0.5
		3～4歳児	398	80.9	40.2	31.2	17.1	6.5	4.5	2.0	1.8	14.6	0.5
		小学校1年生	590	87.5	47.3	33.4	17.5	4.6	4.4	0.8	1.7	8.8	0.2
		中学校1年生	649	84.3	48.8	32.0	13.1	4.0	4.0	1.7	2.5	11.9	0.6
	成人 調査	20代	329	58.4	23.4	26.7	12.5	7.3	7.0	4.3	0.3	31.6	0.0
		30代	713	65.9	27.3	28.9	16.3	7.2	5.2	1.4	0.1	24.0	0.0
		40代	547	68.2	29.3	30.9	11.2	7.3	4.9	2.0	0.0	22.3	0.0
		50代	635	69.1	33.2	26.6	8.7	3.6	7.2	2.0	0.8	21.6	0.0
		60代 (60～64歳)	242	71.1	36.8	30.2	5.8	1.2	2.9	1.7	0.4	24.0	0.0
	アレルギー 罹患 状況別 (Q3)	小児 調査	気管支ぜん息	363	87.3	50.7	38.8	16.8	6.3	5.5	1.7	1.1	8.3
アトピー性皮膚炎			374	84.5	46.5	36.4	22.2	5.6	4.8	1.9	1.3	10.7	0.5
アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)			348	83.0	45.7	37.4	15.5	4.3	4.0	1.4	2.0	11.5	0.6
アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)			91	82.4	52.7	39.6	19.8	1.1	6.6	2.2	4.4	9.9	3.3
花粉症			1073	85.9	47.7	32.7	15.3	3.5	4.2	1.4	2.0	10.0	0.5
食物アレルギー			451	83.1	41.9	33.7	15.3	12.2	3.5	2.7	2.2	13.1	0.2
その他アレルギー			237	81.4	48.5	35.4	19.8	4.2	5.5	1.3	1.3	12.7	1.3
成人 調査		気管支ぜん息	440	64.5	28.2	32.5	11.8	5.7	6.8	4.1	0.2	26.4	0.0
		アトピー性皮膚炎	447	64.0	26.0	30.4	17.4	6.7	8.1	2.7	0.7	23.9	0.0
		アレルギー性鼻炎 (花粉症を除く)	593	68.8	28.7	33.4	12.6	7.6	6.2	2.0	0.2	21.1	0.0
		アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	145	70.3	34.5	40.0	18.6	8.3	10.3	2.8	0.0	20.7	0.0
		花粉症	1805	68.5	31.1	29.0	11.7	5.3	5.3	1.8	0.3	23.2	0.0
		食物アレルギー	281	64.1	32.4	38.1	16.0	12.1	8.2	1.8	1.1	23.5	0.0
		その他アレルギー	141	75.9	40.4	29.1	9.2	4.3	7.1	3.5	1.4	17.0	0.0

## 5. その他・こどものアレルギー疾患に対する考え

### ① アレルギー疾患に関して知っていること

【全員が回答】

問 24. アレルギー疾患について、知っていることをご回答ください。(当てはまるものすべて選択)  
 ※エピペン®：アレルギー原因物質に触れたり摂取した後、短時間に全身に強いアレルギー症状があらわれた場合に使用する自己注射型の補助治療剤

全体（小児調査+成人調査）では「食物アレルギーから死亡することがある」が 73.5%と最も高く、次いで「加工食品の食品表示においてアレルゲンの表示義務がある」が 51.7%であった。

小児調査では、「食物アレルギーから死亡することがある」が 88.2%と最も高く、次いで「加工食品の食品表示においてアレルゲンの表示義務がある」が 68.6%であった。

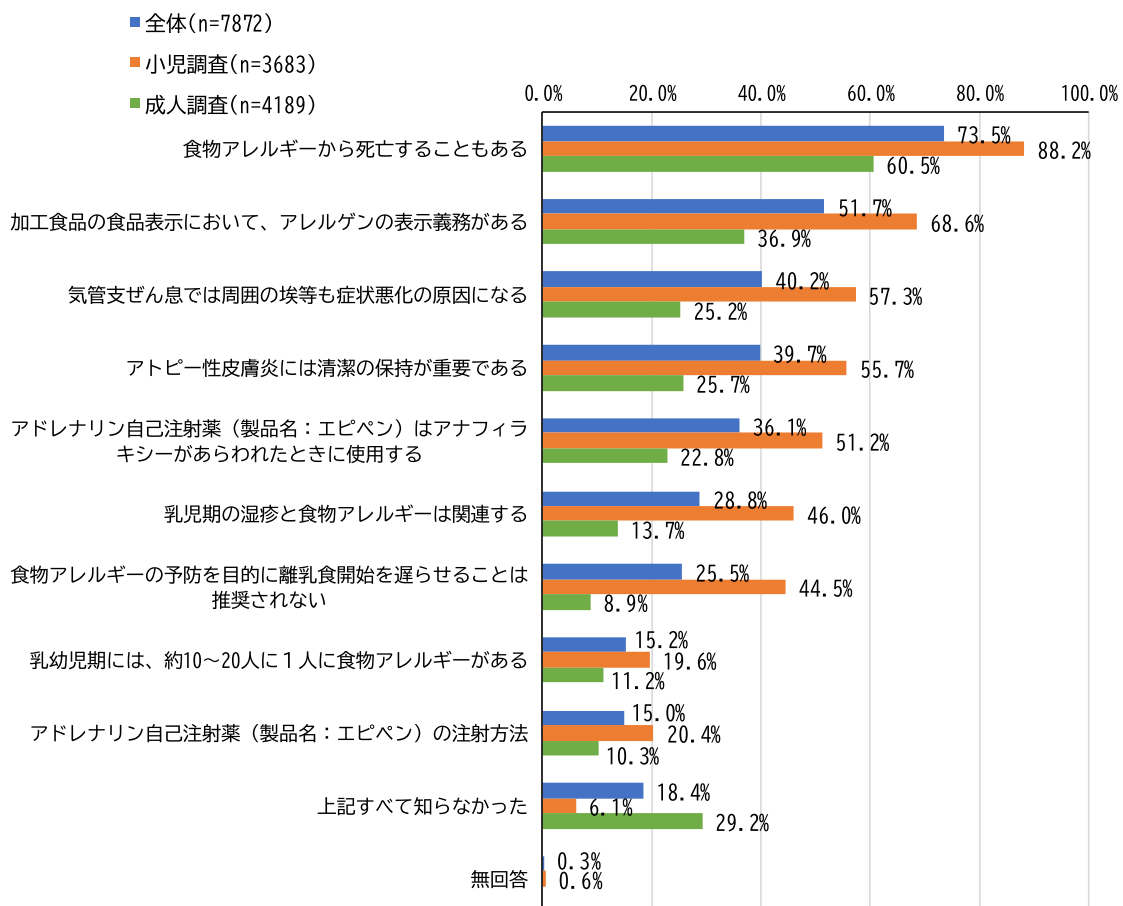
成人調査では、「食物アレルギーから死亡することがある」が 60.5%と最も高く、次いで「加工食品の食品表示においてアレルゲンの表示義務がある」が 36.9%であった。

また、成人調査は小児調査よりも「上記すべて知らなかった」の割合が高かった。

アレルギー罹患の有無でみると、小児調査では大きな違いが見られなかった一方、成人調査では『アレルギー疾患なし』は『アレルギー疾患あり』よりも「上記すべて知らなかった」の割合が著しく高かった。

また、成人調査では、食物アレルギー罹患の有無でみると、『食物アレルギー罹患あり』は『食物アレルギー罹患なし』よりも「食物アレルギーから死亡することがある」の割合が高かった。

【図 32】 アレルギー疾患に関して知っていること



【表 18】 年齢別・アレルギー疾患罹患状況別 アレルギー疾患に関して知っていること

		回答数	食物アレルギーから死亡することもある	加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	アドレナリン自己注射薬はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	乳幼児期には、約10~20人に1人に食物アレルギーがある	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)の注射方法	上記すべて知らなかった	無回答	
全体 (小児+成人)		7872	73.5	51.7	40.2	39.7	36.1	28.8	25.5	15.2	15.0	18.4	0.3	
年齢	小児調査	0~1歳児	1018	89.1	73.1	54.5	58.5	51.3	55.8	62.0	21.2	23.3	4.3	0.4
		3~4歳児	925	88.3	65.2	56.3	54.8	49.6	47.6	49.8	18.9	20.5	6.6	0.2
		小学校1年生	890	87.2	69.3	58.5	54.6	52.1	45.1	40.0	19.6	19.2	7.2	0.4
		中学校1年生	850	88.1	66.2	60.4	54.6	52.0	33.6	22.6	18.5	17.9	6.6	1.3
	成人調査	20代	580	62.2	38.3	22.6	23.6	27.6	12.1	11.0	12.8	15.2	25.5	0.0
		30代	1146	62.3	40.7	26.6	30.5	28.4	20.6	15.1	14.1	13.8	26.8	0.0
	40代	915	60.1	34.5	26.6	25.7	20.5	11.8	7.4	11.1	8.2	28.7	0.0	
	50代	1113	58.3	34.1	24.0	22.7	18.0	10.6	4.3	8.4	6.7	33.1	0.0	
	60代 (60~64歳)	435	60.0	36.8	25.3	23.2	18.4	9.9	4.1	9.2	8.0	31.5	0.0	
アレルギー疾患状況別 (Q3)	小児調査	気管支ぜん息	363	88.7	65.0	83.5	61.2	51.5	47.1	41.9	17.9	21.5	3.9	0.6
		アトピー性皮膚炎	374	88.0	65.8	62.6	72.7	52.1	51.6	44.7	22.2	21.4	4.5	1.1
		アレルギー性鼻炎	348	89.7	72.4	70.4	63.2	58.9	45.4	39.4	23.3	19.0	5.2	1.1
		アレルギー性結膜炎	91	84.6	72.5	70.3	65.9	60.4	42.9	37.4	24.2	19.8	5.5	3.3
		花粉症	1073	88.7	64.8	62.2	58.8	52.5	43.1	35.9	20.4	19.0	5.9	1.0
		食物アレルギー	451	90.5	66.1	59.2	59.4	56.8	55.2	47.7	22.4	25.9	5.1	1.1
		その他アレルギー	237	89.0	65.4	59.5	56.1	58.6	45.1	38.4	19.8	21.1	5.9	1.7
	成人調査	気管支ぜん息	440	70.0	44.3	53.0	35.2	28.9	16.8	13.4	15.7	14.1	17.5	0.0
		アトピー性皮膚炎	447	65.3	44.1	35.6	51.9	30.4	20.8	13.9	17.7	15.4	15.7	0.0
		アレルギー性鼻炎	593	71.5	45.7	40.6	39.6	33.7	18.2	12.6	14.8	14.5	18.0	0.0
		アレルギー性結膜炎	145	77.9	61.4	48.3	47.6	38.6	24.8	17.9	10.3	16.6	9.0	0.0
		花粉症	1805	68.9	43.5	31.3	30.4	27.8	15.9	10.7	12.3	12.7	20.7	0.0
		食物アレルギー	281	83.3	49.5	40.6	38.4	42.0	20.6	12.1	11.4	19.2	9.6	0.0
		その他アレルギー	141	85.1	57.4	48.2	40.4	41.8	20.6	14.9	12.1	15.6	7.8	0.0

【表 19】 いずれかのアレルギー疾患罹患状況別 アレルギー疾患に関して知っていること

Q24. アレルギー疾患について、知っていることをご回答ください。	Q3: いずれかのアレルギー疾患罹患状況別								
	全体			小児			成人		
	回答数	あり	なし	回答数	あり	なし	回答数	あり	なし
回答数	7872	4301	3571	3683	1835	1848	4189	2466	1723
乳幼児期には、約10~20人に1人に食物アレルギーがある	15.2	16.1	14.0	19.6	20.5	18.7	11.2	12.8	9.1
加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	51.7	52.0	51.4	68.6	65.4	71.8	36.9	42.0	29.5
食物アレルギーから死亡することもある	73.5	76.2	70.2	88.2	88.3	88.1	60.5	67.2	51.0
乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	28.8	28.6	29.1	46.0	45.8	46.3	13.7	15.8	10.7
食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	25.5	23.2	28.3	44.5	40.4	48.6	8.9	10.5	6.6
アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	36.1	38.1	33.6	51.2	52.6	49.8	22.8	27.3	16.3
アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)の注射方法	15.0	15.7	14.2	20.4	20.2	20.6	10.3	12.3	7.4
アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	39.7	43.0	35.9	55.7	58.7	52.8	25.7	31.2	17.8
気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	40.2	44.2	35.4	57.3	61.9	52.8	25.2	31.1	16.8
上記すべて知らなかった	18.4	14.5	23.1	6.1	5.7	6.5	29.2	21.0	41.0

【表 20】 食物アレルギー罹患状況別 アレルギー疾患に関して知っていること

Q24. アレルギー疾患について、知っていることをご回答ください。	Q3: 食物アレルギー罹患状況別								
	全体			小児			成人		
	回答数	あり	なし	回答数	あり	なし	回答数	あり	なし
回答数	7872	732	7140	3683	451	3232	4189	281	3908
乳幼児期には、約10~20人に1人に食物アレルギーがある	15.2	18.2	14.8	19.6	22.4	19.2	11.2	11.4	11.2
加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	51.7	59.7	50.9	68.6	66.1	69.0	36.9	49.5	36.0
食物アレルギーから死亡することもある	73.5	87.7	72.0	88.2	90.5	87.9	60.5	83.3	58.9
乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	28.8	41.9	27.5	46.0	55.2	44.7	13.7	20.6	13.2
食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	25.5	34.0	24.7	44.5	47.7	44.1	8.9	12.1	8.6
アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	36.1	51.1	34.5	51.2	56.8	50.5	22.8	42.0	21.4
アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)の注射方法	15.0	23.4	14.1	20.4	25.9	19.6	10.3	19.2	9.6
アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	39.7	51.4	38.6	55.7	59.4	55.2	25.7	38.4	24.8
気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	40.2	52.0	39.0	57.3	59.2	57.0	25.2	40.6	24.1
上記すべて知らなかった	18.4	6.8	19.6	6.1	5.1	6.3	29.2	9.6	30.6

## ② 横浜市のアレルギー対策に期待すること

【全員が回答】

問 25. 横浜市のアレルギー対策に期待することについて、ご回答ください。(当てはまるものすべて選択)

全体（小児調査+成人調査）では「適切な治療を受けることができる体制づくり」が 61.6%と最も高く、次いで「受診先医療機関に関する情報発信」が 36.7%であった。

小児調査では、「適切な治療を受けることができる体制づくり」が 77.0%と最も高く、次いで「受診先医療機関に関する情報発信」が 46.7%であった。

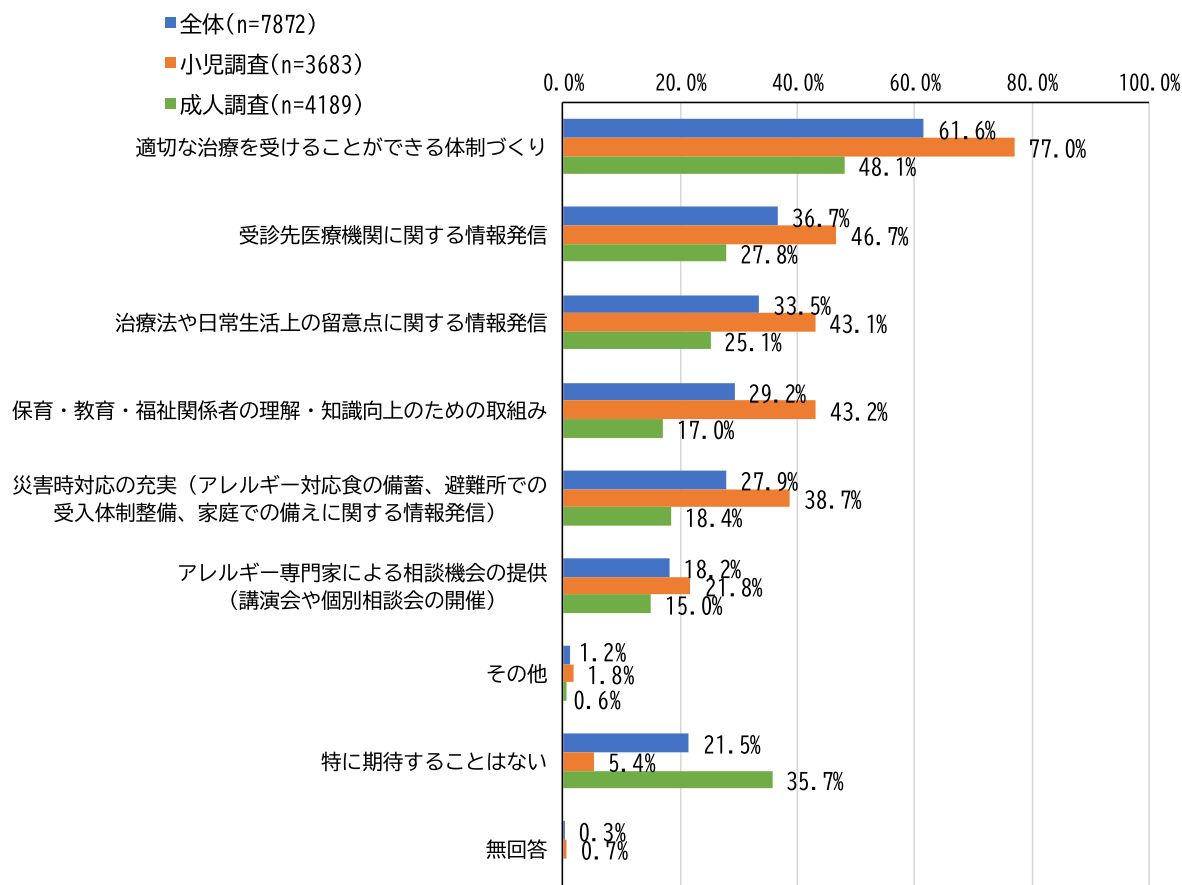
成人調査では、「適切な治療を受けることができる体制づくり」が 48.1%と最も高く、次いで「受診先医療機関に関する情報発信」が 27.8%であった。

小児調査において、年齢別にみると「0～1歳児」にて、「治療法や日常生活上の留意点に関する情報発信」の割合が他の年代より高かった。(表 21)

いずれかのアレルギー罹患状況別にみると、「その他」と「特に期待することはない」を除く全ての項目において、小児調査ではアレルギー罹患が「ある」場合よりも「ない」場合の方が、成人調査ではアレルギー罹患が「ない」場合よりも「ある」場合の方が、期待する割合が高かった。(表 22)

小児調査・成人調査とも、「問 24：アレルギー疾患に関して知っていること」の回答結果別で見ると、『上記すべて知らなかった』と回答した場合、他の回答状況よりも「特に期待することはない」の割合が高く、特に成人調査では 73.8%であった。(表 24)

【図 33】 横浜市のアレルギー対策に期待すること



【表 21】年齢別・アレルギー罹患状況別 横浜市のアレルギー対策に期待すること

		回答数	適切な治療を受けることができる体制づくり	受診先医療機関に関する情報発信	治療法や日常生活上の留意点に関する情報発信	保育・教育・福祉関係者の理解・知識向上のための取組み	災害時対応の充実(アレルギー対応食の備蓄、避難所での受入体制整備、家庭での備えに関する情報発信)	アレルギー専門家による相談機会の提供(講演会や個別相談会の開催)	その他	特に期待することはない	無回答	
全体 (小児+成人)		7872	61.6	36.7	33.5	29.2	27.9	18.2	1.2	21.5	0.3	
年齢	小児調査	0～1歳児	1018	82.1	51.3	51.9	50.2	45.6	26.9	1.0	4.1	0.6
		3～4歳児	925	78.2	48.3	43.6	45.3	37.8	21.7	1.7	4.6	0.5
		小学校1年生	890	73.9	43.7	40.4	42.7	36.7	18.3	2.6	6.2	0.7
		中学校1年生	850	72.9	42.7	34.7	32.9	33.5	19.4	2.0	6.9	1.2
	成人調査	20代	580	47.9	23.3	24.8	21.2	19.3	14.7	0.9	37.2	0.0
		30代	1146	47.3	27.1	25.4	21.7	20.2	16.0	0.5	35.9	0.0
		40代	915	50.9	28.9	26.2	16.9	18.0	14.3	1.1	33.4	0.0
		50代	1113	46.7	29.1	23.9	12.1	16.6	14.9	0.3	37.0	0.0
		60代 (60～64歳)	435	47.6	30.1	25.3	11.5	17.5	14.3	0.5	34.3	0.0
		アレルギー罹患状況別 (Q3)	小児調査	気管支ぜん息	363	76.9	47.1	37.7	39.1	40.8	19.3	4.1
アトピー性皮膚炎	374			76.5	43.0	35.3	43.0	37.2	25.4	3.5	4.3	0.5
アレルギー性鼻炎	348			74.7	43.4	40.5	37.4	32.8	20.4	2.6	6.0	1.4
アレルギー性結膜炎	91			72.5	52.7	40.7	39.6	34.1	35.2	3.3	6.6	3.3
花粉症	1073			73.9	45.5	35.4	35.4	33.6	18.2	2.8	7.0	0.7
食物アレルギー	451			72.7	45.0	38.1	42.4	37.7	23.3	2.9	4.9	1.3
その他アレルギー	237			68.8	48.9	39.2	39.7	43.0	21.1	2.5	6.8	3.0
成人調査	気管支ぜん息		440	53.4	35.5	30.9	17.5	22.5	19.1	0.5	28.4	0.0
	アトピー性皮膚炎		447	50.8	30.9	27.1	20.1	23.5	17.7	0.4	27.3	0.0
	アレルギー性鼻炎		593	53.0	33.4	29.5	18.2	22.8	19.2	1.2	24.5	0.0
	アレルギー性結膜炎		145	54.5	44.8	32.4	24.1	24.8	22.8	1.4	24.1	0.0
	花粉症		1805	51.9	33.6	27.5	17.8	21.9	17.3	1.1	28.9	0.0
	食物アレルギー		281	48.0	34.2	28.1	19.6	26.7	21.0	1.1	28.8	0.0
	その他アレルギー		141	57.4	42.6	36.2	19.9	30.5	18.4	0.0	27.0	0.0

【表 22】いずれかのアレルギー罹患状況別 横浜市のアレルギー対策に期待すること

Q25. 横浜市のアレルギー対策に期待することについて、ご回答ください。	Q3:いずれかのアレルギー罹患状況別								
	回答数	全体		小児			成人		
		あり	なし	回答数	あり	なし	回答数	あり	なし
回答数	7872	4301	3571	3683	1835	1848	4189	2466	1723
適切な治療を受けることができる体制づくり	61.6	61.5	61.7	77.0	74.6	79.4	48.1	51.8	42.7
受診先医療機関に関する情報発信	36.7	38.3	34.6	46.7	45.8	47.7	27.8	32.8	20.7
治療法や日常生活上の留意点に関する情報発信	33.5	31.9	35.5	43.1	37.7	48.4	25.1	27.5	21.6
アレルギー専門家による相談機会の提供(講演会や個別相談会の開催)	18.2	18.3	18.0	21.8	20.3	23.3	15.0	16.9	12.2
保育・教育・福祉関係者の理解・知識向上のための取組み	29.2	25.9	33.2	43.2	37.4	48.9	17.0	17.4	16.4
災害時対応の充実(アレルギー対応食の備蓄、避難所での受入体制整備、家庭での備えに関する情報発信)	27.9	27.1	28.8	38.7	35.0	42.4	18.4	21.3	14.2
その他	1.2	1.6	0.6	1.8	2.6	1.0	0.6	0.9	0.2
特に期待することはない	21.5	19.1	24.4	5.4	5.8	5.0	35.7	29.0	45.2

【表 23】食物アレルギー罹患状況別 横浜市のアレルギー対策に期待すること

Q25. 横浜市のアレルギー対策に期待することについて、ご回答ください。	Q3:食物アレルギー罹患状況別									
	回答数	全体			小児			成人		
		あり	なし	回答数	あり	なし	回答数	あり	なし	
回答数	7872	732	7140	3683	451	3232	4189	281	3908	
適切な治療を受けることができる体制づくり	61.6	63.3	61.4	77.0	72.7	77.6	48.1	48.0	48.1	
受診先医療機関に関する情報発信	36.7	40.8	36.2	46.7	45.0	47.0	27.8	34.2	27.4	
治療法や日常生活上の留意点に関する情報発信	33.5	34.3	33.4	43.1	38.1	43.8	25.1	28.1	24.9	
アレルギー専門家による相談機会の提供(講演会や個別相談会の開催)	18.2	22.4	17.7	21.8	23.3	21.6	15.0	21.0	14.5	
保育・教育・福祉関係者の理解・知識向上のための取組み	29.2	33.6	28.8	43.2	42.4	43.3	17.0	19.6	16.8	
災害時対応の充実(アレルギー対応食の備蓄、避難所での受入体制整備、家庭での備えに関する情報発信)	27.9	33.5	27.3	38.7	37.7	38.9	18.4	26.7	17.8	
その他	1.2	2.2	1.1	1.8	2.9	1.6	0.6	1.1	0.6	
特に期待することはない	21.5	14.1	22.3	5.4	4.9	5.5	35.7	28.8	36.2	

【表 24】 アレルギー疾患に関して知っていること別 横浜市のアレルギー対策に期待すること

		回答数	適切な治療を受けることができる体制づくり	受診先医療機関に関する情報発信	治療法や日常生活上の留意点に関する情報発信	アレルギー専門家による相談機会の提供(講演会や個別相談会の開催)	保育・教育・福祉関係者の理解・知識向上のための取組み	災害時対応の充実(アレルギー対応食の備蓄、避難所での受入体制整備、家庭での備えに関する情報発信)	その他	特に期待することはない
全体	全体	7872	61.6	36.7	33.5	18.2	29.2	27.9	1.2	21.5
	乳幼児期には、約10～20人に1人に食物アレルギーがある	1193	75.6	48.8	45.4	28.5	43.6	38.7	1.3	7.6
	加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	4071	72.4	47.5	44.3	23.1	40.5	38.2	1.5	8.9
	食物アレルギーから死亡することもある	5784	70.7	43.8	40.0	21.4	35.8	34.1	1.4	10.9
	乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	2270	75.5	51.4	48.3	27.1	48.0	42.4	1.7	5.8
	食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	2011	76.5	52.4	50.5	28.8	51.9	45.4	1.5	4.9
	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	2840	72.0	47.3	43.1	25.0	43.8	41.9	1.7	8.7
	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)の注射方法	1181	70.0	48.7	43.2	30.0	48.2	44.5	1.9	9.6
	アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	3129	74.5	49.7	45.2	25.3	42.7	40.9	1.4	7.9
	気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	3166	73.9	48.8	45.4	24.6	43.1	42.3	1.6	8.0
	上記すべて知らなかった	1448	28.2	12.9	10.7	5.9	7.5	8.3	0.6	65.5
小児調査	全体	3683	77.0	46.7	43.1	21.8	43.2	38.7	1.8	5.4
	乳幼児期には、約10～20人に1人に食物アレルギーがある	722	80.3	51.2	46.3	27.3	50.3	44.3	1.8	4.0
	加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	2527	78.5	50.3	46.9	23.7	47.2	42.9	1.8	3.6
	食物アレルギーから死亡することもある	3249	78.1	48.4	44.8	22.7	45.1	40.7	1.8	4.1
	乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	1695	78.8	52.9	49.4	26.3	50.7	45.3	2.0	3.2
	食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	1640	79.7	53.5	51.0	27.1	52.7	47.3	1.8	3.1
	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	1887	78.0	50.1	45.8	24.9	49.1	45.8	2.0	3.8
	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)の注射方法	750	77.2	52.9	45.6	29.6	54.3	49.7	2.3	3.5
	アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	2053	78.9	52.2	47.8	25.3	49.2	44.8	1.8	3.8
	気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	2110	78.4	51.1	47.7	24.7	48.7	45.5	1.9	3.8
	上記すべて知らなかった	225	69.8	34.2	29.8	16.9	29.8	25.3	2.7	20.4
成人調査	全体	4189	48.1	27.8	25.1	15.0	17.0	18.4	0.6	35.7
	乳幼児期には、約10～20人に1人に食物アレルギーがある	471	68.4	45.0	44.2	30.4	33.3	30.1	0.6	13.2
	加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	1544	62.4	42.9	40.0	22.3	29.5	30.6	1.1	17.6
	食物アレルギーから死亡することもある	2535	61.2	37.9	33.8	19.6	23.9	25.7	0.9	19.7
	乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	575	65.7	47.0	45.0	29.7	40.0	33.9	0.7	13.4
	食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	371	62.5	47.4	48.2	36.4	48.0	36.9	0.5	12.7
	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	953	60.2	41.8	37.7	25.2	33.4	34.2	1.2	18.5
	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)の注射方法	431	57.5	41.3	39.0	30.6	37.6	35.5	1.2	20.2
	アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	1076	66.3	45.1	40.2	25.4	30.1	33.6	0.7	15.7
	気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	1056	65.0	44.3	40.6	24.5	31.9	36.0	1.0	16.3
	上記すべて知らなかった	1223	20.6	9.0	7.2	3.8	3.4	5.2	0.2	73.8

【横浜市のアレルギー対策に期待すること その他の回答内容】

意見	件数		
	小児調査	成人調査	全体
医療費・治療費負担軽減策	8	9	17
市民向けアレルギー啓発・情報プラットフォーム整備	11	4	15
保育・教育施設、学校におけるアレルギー対応の強化	9	0	9
夜間休日を含む医療アクセス体制整備	7	0	7
医療・福祉・飲食従事者向け専門研修・知識標準化	5	2	7
花粉・受動喫煙など環境リスク低減対策	3	3	6
予防重視・根本治療アプローチ促進	3	3	6
外食産業のアレルゲン管理・表示徹底	2	1	3
子どものアレルギー検査普及・無償化施策	3	0	3
食品添加物・化学物質リスク表示規制強化	2	0	2
その他	2	0	2
特になし	7	3	10
(回答数)	57	26	86

※自由回答を分類するため、カテゴリー分けを実施。

※1つの意見が複数のカテゴリーに該当することがあり、各カテゴリーの意見の合計と自由意見の件数が一致しない場合がある。

【代表的な意見の紹介（上位3項目等）】

①医療費・治療費負担軽減策	
小児調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アレルギー治療薬について現在は無償化だが、高校生以降は自己負担がかかるので金銭的に続けていけるか不安</li> <li>● アレルギーミルクの助成金を出してほしい（毎月5万円が2歳まで続く）</li> <li>● 費用の軽減、医療費補助</li> </ul>
成人調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アレルギー検査の受診に向けてのハードルの高さを低くしてくれる取組</li> <li>● 花粉症の薬や注射などもっと安く提供してほしい</li> <li>● 治療費の補助</li> </ul>
②市民向けアレルギー啓発・情報プラットフォーム整備	
小児調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しい情報を素早く得られる、わかりやすいサイト</li> <li>● 関係者以外にもアレルギーの存在を知らせる、市民への啓発をしてほしい</li> <li>● 赤ちゃんのアレルギー予防策を両親・祖父母に周知する取組</li> <li>● 乳児健診等での情報発信</li> </ul>
成人調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市販薬の正しい服用方法や副作用に関する情報の発信</li> <li>● 市民の疾患理解の推進</li> <li>● 併発に関する情報</li> </ul>
③保育・教育施設、学校におけるアレルギー対応の強化	
小児調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校給食のアレルギー対応</li> <li>● 保育園での手洗い後のスキンケア対応</li> <li>● 小学校のアレルギーの場合、家で作って持っていく作業をなくしてほしい</li> <li>● 食物についての保育園への適切な指導と随時監査</li> </ul>
上位3項目以外の意見	
小児調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通院負担軽減のため、アレルギー症状でオンライン診療を受けやすくする制度</li> <li>● 休日や夜間に受診可能な医療機関</li> <li>● 飲食店従事者に対するアレルギー知識の向上</li> <li>● アレルギーが発症する雑草の駆除</li> <li>● アレルギー体質にならないための身体づくり</li> </ul>
成人調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仕事との両立支援</li> <li>● 花粉をつけない木の開発</li> </ul>

## ① こどもがアレルギーについて困っていることや感じていること

【問2で「小学校1年生」「中学校1年生」の場合、回答】・【問3で一つでも「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」と回答した場合、回答】

問 26- 1. <小学校1年生の場合>

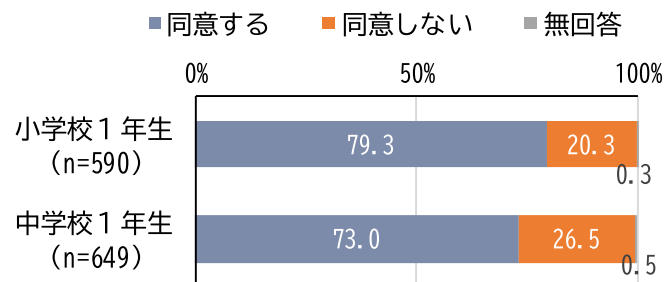
最後に、お子さまからの意見を伺う設問が1問あります。保護者の方が、設問文を読み上げ、代理で回答を入力いただくことに同意いただけますか。同意いただけない場合、アンケート回答は終了となります。ご協力ありがとうございました。

<中学校1年生の場合>

最後に、お子さまからの意見を伺う設問が1問あります。対象のお子さまが設問に回答いただくことに同意いただけますか。同意いただけない場合、アンケート回答は終了となります。ご協力ありがとうございました。

小学校1年生で回答に同意した割合は79.3%、中学校1年生で回答に同意した割合は73.0%であった。

【図 34】 回答の同意状況



【問 26-1で「同意する」と回答した場合、回答】

問 26-2. <小学校1年生の場合>

アレルギーについて、こまっていることはありますか。(最大 200 文字程度)

<中学校1年生の場合>

アレルギーについて、困っていることや感じていること、考えていることはありますか。(最大 200 文字程度)

<小学校1年生の意見>

アレルギーについて困っていることは、「鼻の症状で困っている」が 65 件で最も多く、次いで「目の症状で困っている」が 36 件であった。

<中学校1年生の意見>

アレルギーについて困っていることや感じていること、考えていることは、「花粉やハウスダスト等で鼻・目・喉の症状が強く、学業や睡眠・日常に支障が出ている」が 132 件で最も多く、次いで「将来への希望・要望（治る方法・予防・政策／社会的支援）を求めている」が 36 件であった。

【小学校1年生の意見】

意見	件数
鼻の症状で困っている	65
目の症状で困っている	36
花粉症が辛い	35
皮膚症状やかゆみ・蕁麻疹に悩んでいる	33
食べたいものが食べられない/食物アレルギー管理に不安がある	29
服薬・検査・通院など治療が負担になっている	22
咳・呼吸や喘息症状が辛い	21
学校・園の運用や理解に課題がある	10
勉強や運動、集中に影響が出ている	9
動物に触れることができない	7
アレルギー症状で睡眠不足になる	6
心理的な不安や負担、配慮不足を感じている	5
医療アクセスや専門治療に制約がある	4
その他	10
症状が安定しており特段の困りごとはない/特になし	128
(回答数)	353

【小学校1年生の代表的な意見（上位5項目等）】

①鼻の症状で困っている
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業中にくしゃみや鼻水がでてつらい</li> <li>● 鼻水が出るから鼻をかむと鼻血が出ちゃうことがある</li> <li>● 鼻水が止まらなかったり、詰まると、苦しくて寝にくい。学校でたくさん鼻をかむのが大変。</li> <li>● 鼻水がでるので、学校でもティッシュをよく使う。</li> <li>● 鼻水がつかった お薬ですぐ止まってよかった</li> </ul>
②目の症状で困っている
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目が痒いことがあるけど目薬すればおさまるから大丈夫です。</li> <li>● 目がかゆくて痛い時がある</li> <li>● 目がかゆくなってかいてしまうと、さらにかゆくなってしまいます。お医者さんからもらった薬で、少しずつ良くなっています。</li> <li>● 目が痒くなる時があること</li> </ul>
③花粉症がつらい
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 花粉症のため、教室に空気清浄機を設置してほしい。</li> <li>● 花粉アレルギーなので、なにもアレルギーがない子になりたいです。</li> <li>● 障害があって本人は話せませんが、杉花粉の時期に鼻水が出ます。</li> </ul>
④皮膚症状やかゆみ・蕁麻疹に悩んでいる
<ul style="list-style-type: none"> <li>● たまに出る蕁麻疹でかゆくなってしまうこと。</li> <li>● 外で遊ぶと顔がかゆい</li> </ul>
⑤食べたいものが食べられない/食物アレルギー管理に不安がある
<ul style="list-style-type: none"> <li>● どんなアレルギーがあるか分からないから、食べて、なったら怖い</li> <li>● 食べたいなと思ってても食べられない時</li> </ul>
上位5項目以外の意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薬ばかりでいやだ。</li> <li>● 咳がくるしい。吐きそうになることがある。</li> <li>● 小学校放課後のキッズの時に、過度に部屋をわけられてしまう。</li> <li>● 学校でかゆくなったりした時にどうすればいいか分からない。</li> <li>● 犬がいるお家に遊びにいけない。目がかゆくなるのが嫌。</li> <li>● 鼻水や鼻詰まりで夜寝られないことがある。</li> <li>● 食べ物のアレルギーのあるお友達がいるのに、それを理解していないでふざける子がいる。</li> <li>● 花粉症のため、教室に空気清浄機を設置して欲しい。減感作療法をやりたいが在庫がないとのことで、在庫状況の確認や開始時期など問い合わせをしなければならない。</li> <li>● 紫外線アレルギーのため、夏場にラッシュガード着用するのが暑い。</li> </ul>

【中学校 1 年生の意見】

意見	件数
花粉やハウスダスト等で鼻・目・喉の症状が強く、学業や睡眠・日常に支障が出ている	132
将来への希望・要望（治る方法・予防・政策／社会的支援）を求めている	36
今は困りごとが少ない・軽症・寛解しており、特段の問題は感じていない	34
通院・薬・検査・費用など治療や制度面の負担や不満が大きい	33
皮膚のかゆみや見た目の悩みがあり、生活や学業に影響している	27
心理的負担（恥ずかしさ・不安・からかい・トラウマ）が生活の質を下げている	26
食物アレルギーや食品表示・給食対応に不安があり、誤食や孤立への心配がある	23
投薬の継続が面倒であること	21
ペットやほこり・気圧・気温など環境要因で症状が悪化し、活動に制限が出ている	19
学校生活・行事・部活での配慮不足やルールがストレスになっている	15
食物アレルギーにより、食事の制限があること	9
ぜん息や呼吸苦・発作があり、運動や授業への参加に支障が出ている	8
その他	19
特になし	86
（回答数）	377

【中学校 1 年生の代表的な意見（上位 5 項目等）】

①花粉やハウスダスト等で鼻・目・喉の症状が強く、学業や睡眠・日常に支障が出ている
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 花粉の時期に目が痒い、むずむずする。集中できない。</li> <li>● 花粉やハウスダストで鼻水が止まらなかったり、喉がイガイガして眠れないことがあってしんどいときがあります。</li> <li>● 校内のハウスダストがひどい時があり鼻炎がひどくなることがあります。</li> <li>● 毎年花粉の時期になると目がすごくかゆく赤くなってしまい、目薬をしてもかゆみがなかなか治らないので、すごくよく効く目薬が早く開発されないかと思っています。</li> <li>● ハウスダストが気になる。</li> </ul>
②将来への希望・要望（治る方法・予防・政策／社会的支援）を求めている
<ul style="list-style-type: none"> <li>● アレルギーが発症しないような予防医学が進み、皆がその情報を把握できている社会になったら、よいと考えています。</li> <li>● 医療が発達して花粉症などのアレルギーがなくなってほしい。</li> <li>● 一度飲めば完治する薬があったらいいと思う。</li> <li>● 花粉症の症状がひどいので早く花粉のでない杉を全国に広めて欲しい。</li> </ul>
③今は困りごとが少ない・軽症・寛解しており、特段の問題は感じていない
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日薬を飲む治療をしているので、今はない。鼻水がつらかった。</li> <li>● 薬で治る程度なので、特に困っていない。</li> <li>● 舌下免疫療法で花粉症の症状が無くなったので治療をしてよかった。</li> </ul>
④通院・薬・検査・費用など治療や制度面の負担や不満が大きい
<ul style="list-style-type: none"> <li>● アレルギーが出ると、病院行くから自分の予定をキャンセルされる事が困る。</li> <li>● 学校や塾で、診療時間内になかなか病院に行けない。</li> </ul>
⑤皮膚のかゆみや見た目の悩みがあり、生活や学業に影響している
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 皮膚にかゆみがあると、授業に集中できなくて困ります。</li> <li>● かゆくなったときに眠れないのがつらい。</li> </ul>
上位 5 項目以外の意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 友人にからかわれて嫌だった。</li> <li>● 毎回確認しているけれど確認することが大変です。アレルギー該当食材がないのに、アレルギー除去食を提供されることはつらかったです。</li> <li>● 薬を飲まなきゃいけないのが大変。言われないと飲み忘れてしまうことがある。</li> <li>● 猫が好きなのに触れられない。</li> <li>● 宿泊の時などたくさん配慮しなければいけないことが多いから嫌だ。</li> <li>● 好きなものが食べられないこと。</li> <li>● 喘息で体育の授業を休まないといけない時に先生に言わないといけないのがつらい。</li> <li>● 朝起きると鼻血がよく出ています。</li> </ul>

### III 參考資料



### Ⅲ. 参考資料

#### 1. 市民意識調査（小児）調査票

##### アレルギー疾患に係る市民意識調査(小児向け)

封筒の宛名に記載されているお子さまについて、ご回答ください。

Q1. お子さまの性別について、ご回答ください。（一つを選択）【必須回答】

1. 男性	3. その他・答えたくない
2. 女性	

Q2. お子さまの年齢についてご回答ください。（一つを選択）【必須回答】

1. 0～1歳児	3. 小学校1年生
2. 3～4歳児	4. 中学校1年生

##### アレルギー疾患の罹患状況

Q3. 以下のアレルギー疾患のうち、「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」ものをお選びください。（当てはまるものすべて選択）【必須回答】

1. 気管支ぜん息
2. アトピー性皮膚炎
3. アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）
4. アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）
5. 花粉症
6. 食物アレルギー
7. その他アレルギー（                      ）
8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない

【Q3で「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」と回答したアレルギー疾患のみ回答】

Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。（一つを選択）【必須回答】

	診断されたことがある	診断されていないが、症状があると思う
気管支ぜん息	1	2
アトピー性皮膚炎	1	2
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2
花粉症	1	2
食物アレルギー	1	2
その他アレルギー（                      ）	1	2

【Q3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

Q5. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。

食物アレルギーの原因食物についてご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

1. 鶏卵	7. 果実類（食品名：            ）
2. 牛乳	8. 甲殻類（食品名：            ）
3. 木の実類（食品名：            ）	9. 魚類（食品名：            ）
4. 小麦	10. 大豆
5. 落花生（ピーナッツ）	11. そば
6. 魚卵（食品名：            ）	12. その他（                    ）

【Q4：食物アレルギーが「1. 診断されたことがある」場合のみ回答】

Q6. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」方に伺います。

アドレナリン自己注射薬（エピペン®）※の処方状況について、ご回答ください。

（一つを選択）

1. 現在、アドレナリン自己注射薬（エピペン®）※を処方されている
2. 過去にアドレナリン自己注射薬（エピペン®）※を処方されていたことがある
3. アドレナリン自己注射薬（エピペン®）※を処方されたことはない

※エピペン®：アレルギー原因物質に触れたり摂取した後、短時間に全身に強いアレルギー症状があらわれた場合に使用する自己注射型の補助治療剤

【Q3であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

Q7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。（一つを選択）

	生後6か月までの間	2歳になるまでの間	4歳になるまでの間	小学校に入学するまでの間	小学校低学年（1～3年生）	小学校高学年（4～6年生）	覚えていない・わからない
気管支ぜん息	1	2	3	4	5	6	7
アトピー性皮膚炎	1	2	3	4	5	6	7
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5	6	7
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5	6	7
花粉症	1	2	3	4	5	6	7
食物アレルギー	1	2	3	4	5	6	7
その他アレルギー	1	2	3	4	5	6	7

【Q3 であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

Q8. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。（一つを選択）

	症状はなく安定している	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	日々の症状により日常生活に時々影響がある	症状が安定せず、日常生活に影響がある
気管支ぜん息	1	2	3	4
アトピー性皮膚炎	1	2	3	4
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2	3	4
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2	3	4
花粉症	1	2	3	4
食物アレルギー	1	2	3	4
その他アレルギー	1	2	3	4

【Q3 であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

Q9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。（一つを選択）

	専門医療機関に受診している	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	定期的専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	地域のかかりつけ医に受診している	受診はしていない
気管支ぜん息	1	2	3	4	5
アトピー性皮膚炎	1	2	3	4	5
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5
花粉症	1	2	3	4	5
食物アレルギー	1	2	3	4	5
その他アレルギー	1	2	3	4	5

アレルギー疾患の治療について

【Q3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】  
**Q10.** これまでに、家庭で実施する治療やケア（くすり、スキンケア、食事等に関する指導）について教えてもらったことがありますか。（当てはまるものすべて選択）

1. 医療機関で教えてもらったことがある
2. 区役所・市役所等で教えてもらったことがある
3. 教えてもらったことはないが、本人又は家族が勉強している
4. 教えてもらったことがない

【Q3で回答したアレルギー疾患のみ回答】

【Q10. で「医療機関で教えてもらったことがある」「区役所・市役所等で教えてもらったことがある」と回答した場合、回答】

**Q11.** 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。

各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

	医療機関	区役所・市役所等	この指導は受けていない
吸入薬指導(気管支ぜん息)	1	2	3
スキンケア指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3
外用薬塗布指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3
除去食・代替食指導(食物アレルギー)	1	2	3
ダニやほこりの除去等環境維持の指導	1	2	3
その他 ( )	1	2	3

【Q11. で「医療機関」と回答した指導のみ回答】

**Q12.** 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。

指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

	医師	看護師	薬剤師	栄養士	その他	わからない・覚えていない
吸入薬指導(気管支ぜん息)	1	2	3	-	5	6
スキンケア指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3	-	5	6
外用薬塗布指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3	-	5	6
除去食・代替食指導(食物アレルギー)	1	2	-	4	5	6
ダニやほこりの除去等環境維持の指導	1	2	3	4	5	6
その他 ( )	1	2	3	4	5	6

【Q3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

Q13. アレルギーの受診先について、重要視することをご回答ください。（およそ3つ選択）

1. 専門性が高い医療を提供している	8. 建物がきれい・設備が整っている
2. 診療実績が豊富	9. ホームページが充実している
3. 医師への信頼感がある	10. オンライン診療ができる
4. 医療スタッフが親切	11. 他の疾患も診療できる
5. 交通の便が良い	12. その他（                      ）
6. 自宅から近い	13. 特に重要視することはない
7. 通勤先・通学先から近い	

アレルギーに関する情報、日常生活について

【全員が回答】

Q14. アレルギーについて、どのような情報を知りたいかご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

1. 病気に関する情報	8. 発症予防に関する情報
2. 検査に関する情報	9. 重症化予防に関する情報
3. 治療に関する情報	10. 災害時の備えに関する情報
4. 日常生活での留意点	11. 学校・保育所等における取組
5. 診療可能な医療機関	12. 高齢者・障害者施設等における取組
6. 患者向け講演会・相談会の情報	13. その他（                      ）
7. 患者会の情報	14. 特に知りたい情報はない

【Q14で「特に知りたい情報はない」以外を回答している場合、回答】

Q15. アレルギーに関する情報をいつ知りたいかご回答ください。（一つを選択）

1. 自分またはパートナーが妊娠する前	5. 子が3歳になるまでの間
2. 自分またはパートナーが妊娠中	6. 子が小学校に入学するまでの間
3. 子が生後4か月になるまでの間	7. 子が発症する前
4. 子が1歳6か月になるまでの間	8. 子が発症してから速やかに

【Q3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

Q16. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。

家庭における食事で除去または代替対応を実施していますか。

1. 実施している	2. 実施していない
-----------	------------

【Q3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

Q17. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。

日頃、外食・テイクアウト・惣菜の購入時にどのようにアレルゲン表示を確認していますか。  
(当てはまるものすべて選択)

1. WEBにより事前に確認	4. その他 ( )
2. メニューや食品表示により確認	5. 特に確認していない
3. 店員に確認	

【Q3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

Q18. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。

日頃、食物アレルギーの情報を入手しにくいと感じる状況や場面はどのようなときですか。  
(当てはまるものすべて選択)

1. レストラン等での外食	6. 習い事・学童保育での食事
2. レストラン等でのテイクアウト	7. 高齢者・障害者施設等での食事
3. スーパー・コンビニの惣菜	8. その他 ( )
4. ホテル・旅館での食事	9. 特にない
5. 保育所・幼稚園・学校での給食	

【Q3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

Q19. アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとについて、ご回答ください。(当てはまるものすべて選択)

1. 症状・病態が悪化すること
2. 症状・病態が悪化したときの対応が心配
3. 家庭で実施する治療やケアの正しい実施方法がわからない
4. 医療機関に関する情報がわからない
5. 受診の負担がある(こどもを連れていくこと、学校を休むこと、遠方等)
6. 保育所・幼稚園・学校等での普段の対応が心配
7. 保育所・幼稚園・学校等での行事への対応が心配
8. 習い事・学童保育での対応が心配
9. 外食・テイクアウト・惣菜の購入時のアレルゲン表示が不十分
10. 災害時の対応が心配(避難所での生活、受診できるか、備蓄が十分か等)
11. 現在通っている診療科から成人向け医療機関への移行がうまくできるか心配
12. 正しい情報をどこで得ればよいかわからない
13. その他 ( )
14. 特にない







お子さま自身のアレルギー疾患に対する考え

【Q2で「小学校1年生」の場合、回答】

【Q3で一つでも「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」と回答した場合、回答】

Q26-1. 最後に、お子さまからの意見を伺う設問が1問あります。保護者の方が、設問文を読み上げ、代理で回答を入力いただくことに同意いただけますか。

同意いただけない場合、アンケート回答は終了となります。ご協力ありがとうございました。

1. 同意する

2. 同意しない

【問26-1で「同意する」と回答した場合、回答】

Q26-2. アレルギーについて、こまっていることはありますか。(最大200文字程度)

--

【Q2で「中学校1年生」の場合、回答】

【Q3で一つでも「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」と回答した場合、回答】

Q27-1. 最後に、お子さまからの意見を伺う設問が1問あります。対象のお子さまが設問に回答いただくことに同意いただけますか。

同意いただけない場合、アンケート回答は終了となります。ご協力ありがとうございました。

1. 同意する

2. 同意しない

【Q27-1で「同意する」と回答した場合、回答】

Q27-2. アレルギーについて、困っていることや感じていること、考えていることはありますか。(最大200文字程度)

--

アンケートは全て終了です。最後までご協力くださりありがとうございました。

## 2. 市民意識調査（成人）調査票

### アレルギー疾患に係る市民意識調査(成人向け)

#### 基本属性

問1. あなたの性別について、ご回答ください。（一つを選択）【必須回答】

1. 男性	3. その他・答えたくない
2. 女性	

問2. 年齢についてご回答ください。（数値回答）【必須回答】

	歳
--	---

#### アレルギー疾患の罹患状況

問3. 以下のアレルギー疾患のうち、「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」ものをお選びください。（当てはまるものすべて選択）【必須回答】

1. 気管支ぜん息 2. アトピー性皮膚炎 3. アレルギー性鼻炎（花粉症を除く） 4. アレルギー性結膜炎（花粉症を除く） 5. 花粉症 6. 食物アレルギー 7. その他アレルギー（                      ） 8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない
--

【問3で「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」と回答したアレルギー疾患のみ回答】

問4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。（一つを選択）【必須回答】

	診断されたことがある	診断されていないが、症状があると思う
気管支ぜん息	1	2
アトピー性皮膚炎	1	2
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2
花粉症	1	2
食物アレルギー	1	2
その他アレルギー（                      ）	1	2

【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

問5. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。

食物アレルギーの原因食物についてご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

1. 鶏卵	7. 果実類（食品名： ）
2. 牛乳	8. 甲殻類（食品名： ）
3. 木の実類（食品名： ）	9. 魚類（食品名： ）
4. 小麦	10. 大豆
5. 落花生（ピーナッツ）	11. そば
6. 魚卵（食品名： ）	12. その他（ ）

【問4：食物アレルギーが「1. 診断されたことがある」場合のみ回答】

問6. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」方にお伺います。

アドレナリン自己注射薬（エピペン®）※の処方状況について、ご回答ください。（一つを選択）

1. 現在、アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を処方されている
2. 過去にアドレナリン自己注射薬（エピペン®）を処方されていたことがある
3. アドレナリン自己注射薬（エピペン®）を処方されたことはない

※エピペン®：アレルギー原因物質に触れたり摂取した後、短時間に全身に強いアレルギー症状があらわれた場合に使用する自己注射型の補助治療剤

【問3であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

【問2年齢40歳未満の場合「6. 40代以上」非表示（可能であれば）】

問7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。（一つを選択）

	未就学児の頃	小学生の頃	中学生の頃	中学校卒業後～19歳	20代～30代	40代以上	わからない・覚えていない
気管支ぜん息	1	2	3	4	5	6	7
アトピー性皮膚炎	1	2	3	4	5	6	7
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5	6	7
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5	6	7
花粉症	1	2	3	4	5	6	7
食物アレルギー	1	2	3	4	5	6	7
その他アレルギー	1	2	3	4	5	6	7

【問3 であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

問8. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。（一つを選択）

	症状はなく安定している	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	日々の症状により日常生活に時々影響がある	症状が安定せず、日常生活に影響がある
気管支ぜん息	1	2	3	4
アトピー性皮膚炎	1	2	3	4
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2	3	4
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2	3	4
花粉症	1	2	3	4
食物アレルギー	1	2	3	4
その他アレルギー	1	2	3	4

【問3 であてはまると回答したアレルギー疾患のみ回答】

問9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。（一つを選択）

	専門医療機関に受診している	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	定期的専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	地域のかかりつけ医に受診している	受診はしていない
気管支ぜん息	1	2	3	4	5
アトピー性皮膚炎	1	2	3	4	5
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	1	2	3	4	5
花粉症	1	2	3	4	5
食物アレルギー	1	2	3	4	5
その他アレルギー	1	2	3	4	5

アレルギー疾患の治療について

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問 10. これまでに、家庭で実施する治療やケア（くすり、スキンケア、食事等に関する指導）について教えてもらったことがありますか。（当てはまるものすべて選択）

1. 医療機関で教えてもらったことがある
2. 区役所・市役所等で教えてもらったことがある
3. 教えてもらったことはないが、本人又は家族が勉強している
4. 教えてもらったことがない

【問3で回答したアレルギー疾患のみ回答】

【問 10. で「医療機関で教えてもらったことがある」「区役所・市役所等で教えてもらったことがある」と回答した場合、回答】

問 11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。

各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

	医療機関	区役所・市役所等	この指導は受けていない
吸入薬指導(気管支ぜん息)	1	2	3
スキンケア指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3
外用薬塗布指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3
除去食・代替食指導(食物アレルギー)	1	2	3
ダニやほこりの除去等環境維持の指導	1	2	3
その他 ( )	1	2	3

【問 11. で「医療機関」と回答した指導のみ回答】

問 12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。

指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

	医師	看護師	薬剤師	栄養士	その他	わからない・覚えていない
吸入薬指導(気管支ぜん息)	1	2	3	-	5	6
スキンケア指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3	-	5	6
外用薬塗布指導(アトピー性皮膚炎)	1	2	3	-	5	6
除去食・代替食指導(食物アレルギー)	1	2	-	4	5	6
ダニやほこりの除去等環境維持の指導	1	2	3	4	5	6
その他 ( )	1	2	3	4	5	6

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問 13. アレルギーの受診先について、重要視することをご回答ください。（3つ選択）

1. 専門性が高い医療を提供している	8. 建物がきれい・設備が整っている
2. 診療実績が豊富	9. ホームページが充実している
3. 医師への信頼感がある	10. オンライン診療ができる
4. 医療スタッフが親切	11. 他の疾患も診療できる
5. 交通の便が良い	12. その他（ ）
6. 自宅から近い	13. 特に重要視することはない
7. 通勤先・通学先から近い	

アレルギーに関する情報、日常生活について

【全員が回答】

問 14. アレルギーについて、どのような情報を知りたいかご回答ください。（当てはまるものすべて選択）

1. 病気に関する情報	8. 発症予防に関する情報
2. 検査に関する情報	9. 重症化予防に関する情報
3. 治療に関する情報	10. 災害時の備えに関する情報
4. 日常生活での留意点	11. 学校・保育所等における取組
5. 診療可能な医療機関	12. 高齢者・障害者施設等における取組
6. 患者向け講演会・相談会の情報	13. その他（ ）
7. 患者会の情報	14. 特に知りたい情報はない

【問 14 で「特に知りたい情報はない」以外を回答している場合、回答】

問 15. アレルギーに関する情報をいつ知りたいかご回答ください。（一つを選択）

1. 自分が発症する前	2. 自分が発症してから速やかに
-------------	------------------

【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

問 16. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。

家庭における食事で除去または代替対応を実施していますか。

1. 実施している	2. 実施していない
-----------	------------

【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

問 17. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。

日頃、外食・テイクアウト・惣菜の購入時にどのようにアレルギー表示を確認していますか。（当てはまるものすべて選択）

1. WEBにより事前に確認	4. その他（ ）
2. メニューや食品表示により確認	5. 特に確認していない
3. 店員に確認	

【問3で「食物アレルギー」を回答した場合、回答】

問18. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。

日頃、食物アレルギーの情報を入手しにくいと感じる状況や場面はどのようなときですか。  
(当てはまるものすべて選択)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. レストラン等での外食     | 6. 習い事・学童保育での食事   |
| 2. レストラン等でのテイクアウト | 7. 高齢者・障害者施設等での食事 |
| 3. スーパー・コンビニの惣菜   | 8. その他 ( )        |
| 4. ホテル・旅館での食事     | 9. 特にない           |
| 5. 保育所・幼稚園・学校での給食 |                   |

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問19. アレルギー疾患に関する心配や困りごとについて、ご回答ください。(当てはまるものすべて選択)

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 症状・病態が悪化すること                       |
| 2. 症状・病態が悪化したときの対応が心配                 |
| 3. 家庭で実施する治療やケアの正しい実施方法がわからない         |
| 4. 医療機関に関する情報がわからない                   |
| 5. 受診の負担がある(仕事・育児・介護との両立、遠方等)         |
| 6. 治療と仕事との両立が心配                       |
| 7. 結婚・子育てに影響しないか心配                    |
| 8. 要介護になった時の対応が心配                     |
| 9. 外食・テイクアウト・惣菜の購入時のアレルゲン表示が不十分       |
| 10. 災害時の対応が心配(避難所での生活、受診できるか、備蓄が十分か等) |
| 11. 正しい情報をどこで得ればよいかわからない              |
| 12. その他 ( )                           |
| 13. 特にない                              |

【問19で「特にない」以外を回答している場合、回答】

問20. アレルギー疾患に関する心配や困りごとについて、相談先の希望はありますか。(当てはまるものすべて選択)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. かかりつけ医                  |
| 2. かかりつけ医療機関の医療職(看護師・栄養士等) |
| 3. アレルギーの専門医               |
| 4. 区役所・市役所等の職員             |
| 5. 保育所・幼稚園・学校の先生           |
| 6. 高齢者・障害者施設等の職員           |
| 7. その他 ( )                 |
| 8. 特に相談先に希望はない             |

【問20で「特に相談先に希望はない」以外を回答している場合、回答】

問21. アレルギー疾患に関する心配や困りごとについて、どのように相談したいかご回答ください。  
(当てはまるものすべて選択)

1. 受診や訪問のついでに対面で相談したい
2. 個別に時間をとって対面で相談したい
3. ビデオ通話で相談したい
4. 音声通話で相談したい
5. チャットやメールで相談したい
6. 相談会・講演会等に参加したうえで相談したい
7. その他 ( )
8. 特に相談方法に希望はない

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問22. アレルギー疾患に関する情報収集はどのように行っていますか。(当てはまるものすべて選択)

- |                                     |                     |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 通院先の医師                           | 8. 動画配信・SNS         |
| 2. 通院先の医療職(看護師・栄養士等)                | 9. 友人・知人からの情報       |
| 3. 医療機関のホームページ                      | 10. 新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、本 |
| 4. 関係学会のホームページ                      | 11. 講演会等            |
| 5. 行政機関のホームページ<br>(厚生労働省、市役所、区役所など) | 12. その他 ( )         |
| 6. その他のホームページ                       | 13. 特になし            |
| 7. 自治体が配布するチラシ・リーフレット               |                     |

【問3「8. アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない」以外を回答した場合、回答】

問23. ご家庭における災害発生時の備えについて、ご回答ください。(当てはまるものすべて選択)

1. 一般的な備蓄(水、食物、常備薬等)
2. 必要な薬の備蓄(処方薬)
3. 食物アレルギー対応食品の備蓄
4. スキンケア用品
5. お薬手帳のコピー
6. アレルギーを知らせるもの(表示カード、ビブスなど)
7. マスク
8. その他 ( )
9. 特に備え・備蓄をしていない



### 3. 市民意識調査（小児調査）単純集計

Q1. お子さまの性別について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	男性	1870	50.8	50.8
2	女性	1797	48.8	48.8
3	その他・答えたくない	16	0.4	0.4
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	3683	100	3683

Q2. お子さまの年齢についてご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0～1歳児	1018	27.6	27.6
2	3～4歳児	925	25.1	25.1
3	小学校1年生	890	24.2	24.2
4	中学校1年生	850	23.1	23.1
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	3683	100	3683

Q3. 以下のアレルギー疾患のうち、「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」ものをお選びください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	気管支ぜん息	363	9.9	9.9
2	アトピー性皮膚炎	374	10.2	10.2
3	アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	348	9.4	9.4
4	アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	91	2.5	2.5
5	花粉症	1073	29.1	29.1
6	食物アレルギー	451	12.2	12.2
7	その他アレルギー	237	6.4	6.4
8	アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない	1848	50.2	50.2
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	3683	100	3683

気管支ぜん息/Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	診断されたことがある	302	83.2	83.2
2	診断されていないが、症状があると思う	61	16.8	16.8
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	363	100	363

アトピー性皮膚炎/Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	診断されたことがある	244	65.2	65.2
2	診断されていないが、症状があると思う	130	34.8	34.8
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	374	100	374

アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）/Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	診断されたことがある	235	67.5	67.5
2	診断されていないが、症状があると思う	113	32.5	32.5
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	348	100	348

アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）/Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	診断されたことがある	68	74.7	74.7
2	診断されていないが、症状があると思う	23	25.3	25.3
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	91	100	91

1/12

(徐不) … 「不明」を除く

花粉症/Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。 (単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	診断されたことがある	680	63.4	63.4
2	診断されていないが、症状があると思う	393	36.6	36.6
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	1073	100	1073

食物アレルギー/Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。 (単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	診断されたことがある	332	73.6	73.6
2	診断されていないが、症状があると思う	119	26.4	26.4
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	451	100	451

その他アレルギー/Q4. アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。 (単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	診断されたことがある	174	73.4	73.4
2	診断されていないが、症状があると思う	63	26.6	26.6
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	237	100	237

Q5. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。食物アレルギーの原因食物についてご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	鶏卵	192	57.8	57.8
2	牛乳	57	17.2	17.2
3	木の実類	48	14.5	14.5
4	小麦	32	9.6	9.6
5	落花生 (ピーナッツ)	40	12.0	12.0
6	魚卵	26	7.8	7.8
7	果実類	35	10.5	10.5
8	甲殻類	21	6.3	6.3
9	魚類	10	3.0	3.0
10	大豆	12	3.6	3.6
11	そば	20	6.0	6.0
12	その他	40	12.0	12.0
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	332	100	332

Q6. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」方にお伺います。アドレナリン自己注射薬 (エピペン) ※の処方状況について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	現在、アドレナリン自己注射薬 (製品名: エピペン) を処方されている	23	6.9	7.0
2	過去にアドレナリン自己注射薬 (製品名: エピペン) を処方されていたことがある	4	1.2	1.2
3	アドレナリン自己注射薬 (製品名: エピペン) を処方されたことはない	300	90.4	91.7
	不明	5	1.5	
	N (%ベース)	332	100	327

気管支ぜん息/Q7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。 (単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生後6か月までの間	26	7.2	7.2
2	2歳になるまでの間	134	36.9	37.0
3	4歳になるまでの間	111	30.6	30.7
4	小学校に入学するまでの間	60	16.5	16.6
5	小学校低学年 (1~3年生)	14	3.9	3.9
6	小学校高学年 (4~6年生)	9	2.5	2.5
7	覚えていない・わからない	8	2.2	2.2
	不明	1	0.3	
	N (%ベース)	363	100	362

アトピー性皮膚炎/Q7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生後6か月までの間	124	33.2	33.2
2	2歳になるまでの間	133	35.6	35.6
3	4歳になるまでの間	51	13.6	13.6
4	小学校に入学するまでの間	26	7.0	7.0
5	小学校低学年(1~3年生)	17	4.5	4.5
6	小学校高学年(4~6年生)	13	3.5	3.5
7	覚えていない・わからない	10	2.7	2.7
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	374	100	374

アレルギー性鼻炎(花粉症を除く)/Q7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生後6か月までの間	13	3.7	3.7
2	2歳になるまでの間	67	19.3	19.3
3	4歳になるまでの間	95	27.3	27.4
4	小学校に入学するまでの間	74	21.3	21.3
5	小学校低学年(1~3年生)	48	13.8	13.8
6	小学校高学年(4~6年生)	36	10.3	10.4
7	覚えていない・わからない	14	4.0	4.0
	不明	1	0.3	
	N (%ベース)	348	100	347

アレルギー性結膜炎(花粉症を除く)/Q7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生後6か月までの間	1	1.1	1.1
2	2歳になるまでの間	17	18.7	18.9
3	4歳になるまでの間	16	17.6	17.8
4	小学校に入学するまでの間	17	18.7	18.9
5	小学校低学年(1~3年生)	16	17.6	17.8
6	小学校高学年(4~6年生)	15	16.5	16.7
7	覚えていない・わからない	8	8.8	8.9
	不明	1	1.1	
	N (%ベース)	91	100	90

花粉症/Q7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生後6か月までの間	14	1.3	1.3
2	2歳になるまでの間	171	15.9	16.0
3	4歳になるまでの間	304	28.3	28.4
4	小学校に入学するまでの間	273	25.4	25.5
5	小学校低学年(1~3年生)	138	12.9	12.9
6	小学校高学年(4~6年生)	137	12.8	12.8
7	覚えていない・わからない	34	3.2	3.2
	不明	2	0.2	
	N (%ベース)	1073	100	1071

食物アレルギー／Ｑ7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生後6か月までの間	91	20.2	20.2
2	2歳になるまでの間	216	47.9	48.0
3	4歳になるまでの間	53	11.8	11.8
4	小学校に入学するまでの間	45	10.0	10.0
5	小学校低学年（1～3年生）	21	4.7	4.7
6	小学校高学年（4～6年生）	19	4.2	4.2
7	覚えていない・わからない	5	1.1	1.1
	不明	1	0.2	
	N（%ベース）	451	100	450

その他アレルギー／Ｑ7. アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生後6か月までの間	22	9.3	9.3
2	2歳になるまでの間	36	15.2	15.3
3	4歳になるまでの間	64	27.0	27.1
4	小学校に入学するまでの間	50	21.1	21.2
5	小学校低学年（1～3年生）	27	11.4	11.4
6	小学校高学年（4～6年生）	22	9.3	9.3
7	覚えていない・わからない	15	6.3	6.4
	不明	1	0.4	
	N（%ベース）	237	100	236

気管支ぜん息／Ｑ8. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状はなく安定している	152	41.9	42.0
2	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	160	44.1	44.2
3	日々の症状により日常生活に時々影響がある	50	13.8	13.8
4	症状が安定せず、日常生活に影響がある	0	0.0	0.0
	不明	1	0.3	
	N（%ベース）	363	100	362

アトピー性皮膚炎／Ｑ8. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状はなく安定している	50	13.4	13.4
2	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	255	68.2	68.5
3	日々の症状により日常生活に時々影響がある	59	15.8	15.9
4	症状が安定せず、日常生活に影響がある	8	2.1	2.2
	不明	2	0.5	
	N（%ベース）	374	100	372

アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）／Ｑ8. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状はなく安定している	22	6.3	6.4
2	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	209	60.1	60.6
3	日々の症状により日常生活に時々影響がある	105	30.2	30.4
4	症状が安定せず、日常生活に影響がある	9	2.6	2.6
	不明	3	0.9	
	N（%ベース）	348	100	345

アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）／Ｑ８．過去１年間（令和６年５月～令和７年５月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状はなく安定している	19	20.9	21.1
2	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	54	59.3	60.0
3	日々の症状により日常生活に時々影響がある	16	17.6	17.8
4	症状が安定せず、日常生活に影響がある	1	1.1	1.1
	不明	1	1.1	
	N（%ベース）	91	100	90

花粉症／Ｑ８．過去１年間（令和６年５月～令和７年５月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状はなく安定している	47	4.4	4.4
2	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	629	58.6	58.7
3	日々の症状により日常生活に時々影響がある	365	34.0	34.1
4	症状が安定せず、日常生活に影響がある	30	2.8	2.8
	不明	2	0.2	
	N（%ベース）	1073	100	1071

食物アレルギー／Ｑ８．過去１年間（令和６年５月～令和７年５月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状はなく安定している	234	51.9	52.2
2	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	175	38.8	39.1
3	日々の症状により日常生活に時々影響がある	31	6.9	6.9
4	症状が安定せず、日常生活に影響がある	8	1.8	1.8
	不明	3	0.7	
	N（%ベース）	451	100	448

その他アレルギー／Ｑ８．過去１年間（令和６年５月～令和７年５月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状はなく安定している	68	28.7	28.8
2	若干の症状はあるが日常生活を送るうえで問題はない	134	56.5	56.8
3	日々の症状により日常生活に時々影響がある	30	12.7	12.7
4	症状が安定せず、日常生活に影響がある	4	1.7	1.7
	不明	1	0.4	
	N（%ベース）	237	100	236

気管支ぜん息／Ｑ９．過去１年間（令和６年５月～令和７年５月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門医療機関に受診している	48	13.2	13.3
2	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	32	8.8	8.8
3	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	10	2.8	2.8
4	地域のかかりつけ医に受診している	207	57.0	57.2
5	受診はしていない	65	17.9	18.0
	不明	1	0.3	
	N（%ベース）	363	100	362

アトピー性皮膚炎／Ｑ９．過去１年間（令和６年５月～令和７年５月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門医療機関に受診している	67	17.9	18.1
2	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	19	5.1	5.1
3	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	14	3.7	3.8
4	地域のかかりつけ医に受診している	215	57.5	58.0
5	受診はしていない	56	15.0	15.1
	不明	3	0.8	
	N（%ベース）	374	100	371

5/12

（徐不）…「不明」を除く

アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）／Ｑ9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門医療機関に受診している	41	11.8	11.8
2	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	11	3.2	3.2
3	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	11	3.2	3.2
4	地域のかかりつけ医に受診している	225	64.7	65.0
5	受診はしていない	58	16.7	16.8
	不明	2	0.6	
	N（%ベース）	348	100	346

アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）／Ｑ9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門医療機関に受診している	12	13.2	13.5
2	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	3	3.3	3.4
3	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	2	2.2	2.2
4	地域のかかりつけ医に受診している	61	67.0	68.5
5	受診はしていない	11	12.1	12.4
	不明	2	2.2	
	N（%ベース）	91	100	89

花粉症／Ｑ9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門医療機関に受診している	108	10.1	10.1
2	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	28	2.6	2.6
3	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	28	2.6	2.6
4	地域のかかりつけ医に受診している	663	61.8	62.0
5	受診はしていない	243	22.6	22.7
	不明	3	0.3	
	N（%ベース）	1073	100	1070

食物アレルギー／Ｑ9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門医療機関に受診している	83	18.4	18.4
2	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	32	7.1	7.1
3	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	6	1.3	1.3
4	地域のかかりつけ医に受診している	142	31.5	31.6
5	受診はしていない	187	41.5	41.6
	不明	1	0.2	
	N（%ベース）	451	100	450

その他アレルギー／Ｑ9. 過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門医療機関に受診している	26	11.0	11.1
2	過去には専門医療機関を受診したが、地域のかかりつけ医に受診している	12	5.1	5.1
3	定期的に専門医療機関を受診しつつ、地域のかかりつけ医に受診している	5	2.1	2.1
4	地域のかかりつけ医に受診している	106	44.7	45.3
5	受診はしていない	85	35.9	36.3
	不明	3	1.3	
	N（%ベース）	237	100	234

Ｑ10. これまでに、家庭で実施する治療やケア（くすり、スキンケア、食事等に関する指導）について教えてもらったことがありますか。

（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関で教えてもらったことがある	1135	61.9	62.1
2	区役所・市役所等で教えてもらったことがある	50	2.7	2.7
3	教えてもらったことはないが、本人又は家族が勉強している	268	14.6	14.7
4	教えてもらったことがない	474	25.8	25.9
	不明	6	0.3	
	N（%ベース）	1835	100	1829

6/12

（徐不）…「不明」を除く

吸入薬指導（気管支ぜん息）／Q11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関	219	79.6	80.5
2	区役所・市役所等	0	0.0	0.0
3	この指導は受けていない	53	19.3	19.5
	不明	3	1.1	
	N (%ペ-ス)	275	100	272

スキンケア指導（アトピー性皮膚炎）／Q11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関	284	91.6	92.2
2	区役所・市役所等	7	2.3	2.3
3	この指導は受けていない	24	7.7	7.8
	不明	2	0.6	
	N (%ペ-ス)	310	100	308

外用薬塗布指導（アトピー性皮膚炎）／Q11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関	302	97.4	98.1
2	区役所・市役所等	0	0.0	0.0
3	この指導は受けていない	6	1.9	1.9
	不明	2	0.6	
	N (%ペ-ス)	310	100	308

除去食・代替食指導（食物アレルギー）／Q11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関	251	73.4	74.3
2	区役所・市役所等	7	2.0	2.1
3	この指導は受けていない	85	24.9	25.1
	不明	4	1.2	
	N (%ペ-ス)	342	100	338

ダニやほこりの除去等環境維持の指導／Q11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関	362	31.6	32.0
2	区役所・市役所等	17	1.5	1.5
3	この指導は受けていない	757	66.2	67.0
	不明	14	1.2	
	N (%ペ-ス)	1144	100	1130

その他／Q11. 家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医療機関	131	11.5	14.2
2	区役所・市役所等	10	0.9	1.1
3	この指導は受けていない	783	68.4	85.0
	不明	223	19.5	
	N (%ペ-ス)	1144	100	921

吸入薬指導（気管支ぜん息）／Q12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医師	172	78.5	78.9
2	看護師	93	42.5	42.7
3	薬剤師	64	29.2	29.4
4	—	0	0.0	0.0
5	その他	0	0.0	0.0
6	わからない・覚えていない	6	2.7	2.8
	不明	1	0.5	
	N (%ベース)	219	100	218

スキンケア指導（アトピー性皮膚炎）／Q12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医師	264	93.0	93.3
2	看護師	78	27.5	27.6
3	薬剤師	56	19.7	19.8
4	—	0	0.0	0.0
5	その他	3	1.1	1.1
6	わからない・覚えていない	3	1.1	1.1
	不明	1	0.4	
	N (%ベース)	284	100	283

外用薬塗布指導（アトピー性皮膚炎）／Q12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医師	282	93.4	93.4
2	看護師	85	28.1	28.1
3	薬剤師	98	32.5	32.5
4	—	0	0.0	0.0
5	その他	1	0.3	0.3
6	わからない・覚えていない	2	0.7	0.7
	不明	0	0.0	
	N (%ベース)	302	100	302

除去食・代替食指導（食物アレルギー）／Q12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医師	240	95.6	96.4
2	看護師	29	11.6	11.6
3	—	0	0.0	0.0
4	栄養士	24	9.6	9.6
5	その他	5	2.0	2.0
6	わからない・覚えていない	4	1.6	1.6
	不明	2	0.8	
	N (%ベース)	251	100	249

ダニやほこりの除去等環境維持の指導/Q12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医師	317	87.6	87.8
2	看護師	66	18.2	18.3
3	薬剤師	18	5.0	5.0
4	栄養士	0	0.0	0.0
5	その他	5	1.4	1.4
6	わからない・覚えていない	15	4.1	4.2
	不明	1	0.3	
	N (%ベース)	362	100	361

その他/Q12. 家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	医師	106	80.9	93.8
2	看護師	12	9.2	10.6
3	薬剤師	14	10.7	12.4
4	栄養士	0	0.0	0.0
5	その他	1	0.8	0.9
6	わからない・覚えていない	3	2.3	2.7
	不明	18	13.7	
	N (%ベース)	131	100	113

Q13. アレルギーの受診先について、重要視することをご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	専門性が高い医療を提供している	785	42.8	43.0
2	診療実績が豊富	468	25.5	25.6
3	医師への信頼感がある	1322	72.0	72.4
4	医療スタッフが親切	554	30.2	30.3
5	交通の便が良い	490	26.7	26.8
6	自宅から近い	1333	72.6	73.0
7	通勤先・通学先から近い	49	2.7	2.7
8	建物がきれい・設備が整っている	133	7.2	7.3
9	ホームページが充実している	42	2.3	2.3
10	オンライン診療ができる	30	1.6	1.6
11	他の疾患も診療できる	248	13.5	13.6
12	その他	48	2.6	2.6
13	特に重要視することはない	11	0.6	0.6
	不明	8	0.4	
	N (%ベース)	1835	100	1827

Q14. アレルギーについて、どのような情報を知りたいかご回答ください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	病気に関する情報	1679	45.6	45.7
2	検査に関する情報	1768	48.0	48.1
3	治療に関する情報	2234	60.7	60.8
4	日常生活での留意点	2264	61.5	61.6
5	診療可能な医療機関	1351	36.7	36.8
6	患者向け講演会・相談会の情報	119	3.2	3.2
7	患者会の情報	51	1.4	1.4
8	発症予防に関する情報	1171	31.8	31.9
9	重症化予防に関する情報	856	23.2	23.3
10	災害時の備えに関する情報	572	15.5	15.6
11	学校・保育所等における取組	851	23.1	23.2
12	高齢者・障害者施設等における取組	43	1.2	1.2
13	その他	17	0.5	0.5
14	特に知りたい情報はない	384	10.4	10.4
	不明	8	0.2	
	N (%ベース)	3683	100	3675

9/12

(徐不) … 「不明」を除く

Q15. アレルギーに関する情報をいつ知りたいかご回答ください。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	自分またはパートナーが妊娠する前	173	5.3	5.3
2	自分またはパートナーが妊娠中	621	18.9	19.0
3	子が生後4か月になるまでの間	579	17.6	17.7
4	子が1歳6か月になるまでの間	219	6.7	6.7
5	子が3歳になるまでの間	165	5.0	5.0
6	子が小学校に入学するまでの間	151	4.6	4.6
7	子が発症する前	650	19.8	19.9
8	子が発症してから速やかに	712	21.6	21.8
	不明	21	0.6	
	N (%ベース)	3291	100	3270

Q16. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。家庭における食事で除去または代替対応を実施していますか。

(単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	実施している	289	64.1	64.5
2	実施していない	159	35.3	35.5
	不明	3	0.7	
	N (%ベース)	451	100	448

Q17. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。日頃、外食・テイクアウト・惣菜の購入時にどのようにアレルギー表示を確認していますか。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	WEBにより事前に確認	95	21.1	21.3
2	メニューや食品表示により確認	297	65.9	66.6
3	店員に確認	115	25.5	25.8
4	その他	12	2.7	2.7
5	特に確認していない	130	28.8	29.1
	不明	5	1.1	
	N (%ベース)	451	100	446

Q18. 食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。日頃、食物アレルギーの情報を入手しにくいと感じる状況や場面はどのようなときですか。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	レストラン等での外食	175	38.8	39.1
2	レストラン等でのテイクアウト	131	29.0	29.2
3	スーパー・コンビニの惣菜	108	23.9	24.1
4	ホテル・旅館での食事	136	30.2	30.4
5	保育所・幼稚園・学校での給食	30	6.7	6.7
6	習い事・学童保育での食事	33	7.3	7.4
7	高齢者・障害者施設等での食事	1	0.2	0.2
8	その他	14	3.1	3.1
9	特にない	185	41.0	41.3
	不明	3	0.7	
	N (%ベース)	451	100	448

Q19. アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとについて、ご回答ください。(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	症状・病態が悪化すること	1204	65.6	66.1
2	症状・病態が悪化したときの対応が心配	933	50.8	51.2
3	家庭で実施する治療やケアの正しい実施方法がわからない	524	28.6	28.8
4	医療機関に関する情報がわからない	172	9.4	9.4
5	受診の負担がある(こどもを連れていくこと、学校を休むこと、遠方等)	629	34.3	34.5
6	保育所・幼稚園・学校等での普段の対応が心配	294	16.0	16.1
7	保育所・幼稚園・学校等での行事への対応が心配	142	7.7	7.8
8	習い事・学童保育での対応が心配	94	5.1	5.2
9	外食・テイクアウト・惣菜の購入時のアレルギー表示が不十分	143	7.8	7.8
10	災害時の対応が心配(避難所での生活、受診できるか、備蓄が十分か等)	285	15.5	15.6
11	現在通っている診療科から成人向け医療機関への移行がうまくできるか心配	88	4.8	4.8
12	正しい情報をどこで得ればよいかわからない	168	9.2	9.2
13	その他	31	1.7	1.7
14	特になし	185	10.1	10.2
	不明	13	0.7	
	N (%ベース)	1835	100	1822

Q20. アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとについて、相談先の希望はありますか。(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	かかりつけ医	1333	81.4	82.0
2	かかりつけ医療機関の医療職(看護師・栄養士等)	264	16.1	16.2
3	アレルギーの専門医	554	33.8	34.1
4	区役所・市役所等の職員	58	3.5	3.6
5	保育所・幼稚園・学校の先生	148	9.0	9.1
6	高齢者・障害者施設等の職員	3	0.2	0.2
7	その他	8	0.5	0.5
8	特に相談先に希望はない	156	9.5	9.6
	不明	12	0.7	
	N (%ベース)	1637	100	1625

Q21. アレルギー疾患に関する心配ごとや困りごとについて、どのように相談したいかご回答ください。(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	受診や訪問のついでに対面で相談したい	1108	75.4	75.8
2	個別に時間をとって対面で相談したい	214	14.6	14.6
3	ビデオ通話で相談したい	138	9.4	9.4
4	音声通話で相談したい	96	6.5	6.6
5	チャットやメールで相談したい	255	17.4	17.5
6	相談会・講演会等に参加したうえで相談したい	33	2.2	2.3
7	その他	4	0.3	0.3
8	特に相談方法に希望はない	204	13.9	14.0
	不明	8	0.5	
	N (%ベース)	1469	100	1461

Q22. アレルギー疾患に関する情報収集はどのように行っていますか。(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	通院先の医師	1226	66.8	67.4
2	通院先の医療職(看護師・栄養士等)	165	9.0	9.1
3	医療機関のホームページ	497	27.1	27.3
4	関係学会のホームページ	98	5.3	5.4
5	行政機関のホームページ(厚生労働省、市役所、区役所等)	94	5.1	5.2
6	その他のホームページ	465	25.3	25.6
7	自治体が配布するチラシ・リーフレット	77	4.2	4.2
8	動画配信・SNS	311	16.9	17.1
9	友人・知人からの情報	332	18.1	18.3
10	新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、本	210	11.4	11.5
11	講演会等	17	0.9	0.9
12	その他	28	1.5	1.5
13	特になし	218	11.9	12.0
	不明	16	0.9	
	N (%ベース)	1835	100	1819

11/12

(徐不) … 「不明」を除く

Q23. ご家庭における災害発生時の備えについて、ご回答ください。 (複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	一般的な備蓄(水、食物、常備薬等)	1556	84.8	85.2
2	必要な薬の備蓄(処方薬等)	587	32.0	32.1
3	食物アレルギー対応食品の備蓄	90	4.9	4.9
4	スキンケア用品	289	15.7	15.8
5	お薬手帳のコピー	74	4.0	4.1
6	アレルギーを知らせるもの(表示カード、ピブス等)	25	1.4	1.4
7	マスク	828	45.1	45.3
8	その他	36	2.0	2.0
9	特に備え・備蓄をしていない	204	11.1	11.2
	不明	8	0.4	
	N (%ベース)	1835	100	1827

Q24. アレルギー疾患について、知っていることをご回答ください。 (複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	乳幼児期には、約10~20人に1人に食物アレルギーがある	722	19.6	19.7
2	加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	2527	68.6	69.0
3	食物アレルギーから死亡することもある	3249	88.2	88.7
4	乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	1695	46.0	46.3
5	食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	1640	44.5	44.8
6	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	1887	51.2	51.5
7	アドレナリン自己注射薬(製品名:エピペン)の注射方法	750	20.4	20.5
8	アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	2053	55.7	56.1
9	気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	2110	57.3	57.6
10	上記すべて知らなかった	225	6.1	6.1
	不明	21	0.6	
	N (%ベース)	3683	100	3662

Q25. 横浜市のアレルギー対策に期待することについて、ご回答ください。 (複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	適切な治療を受けることができる体制づくり	2837	77.0	77.6
2	受診先医療機関に関する情報発信	1721	46.7	47.1
3	治療法や日常生活上の留意点に関する情報発信	1586	43.1	43.4
4	アレルギー専門家による相談機会の提供(講演会や個別相談会の開催)	803	21.8	22.0
5	保育・教育・福祉関係者の理解・知識向上のための取組み	1590	43.2	43.5
6	災害時対応の充実(アレルギー対応食の備蓄、避難所での受入体制整備、家庭での備えに関する情報発信)	1426	38.7	39.0
7	その他	66	1.8	1.8
8	特に期待することはない	199	5.4	5.4
	不明	27	0.7	
	N (%ベース)	3683	100	3656

Q26-1. 最後に、お子さまからの意見を伺う設問が1問あります。保護者の方が、設問文を読み上げ、代理で回答を入力いただくことに同意いただけますか。同意いただけない場合、アンケート回答は終了となります。ご協力ありがとうございました。 (単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	同意する	468	79.3	79.6
2	同意しない	120	20.3	20.4
	不明	2	0.3	
	N (%ベース)	590	100	588

Q27-1. 最後に、お子さまからの意見を伺う設問が1問あります。対象のお子さまが設問に回答いただくことに同意いただけますか。同意いただけない場合、アンケート回答は終了となります。ご協力ありがとうございました。 (単一回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	同意する	474	73.0	73.4
2	同意しない	172	26.5	26.6
	不明	3	0.5	
	N (%ベース)	649	100	646

12/12

(徐不) … 「不明」を除く

## 4. 市民意識調査（成人調査）単純集計

### ■単純集計表

問1.あなたの性別について、ご回答ください。

（単一回答）

	件数	%
全体	4189	100.0
男性	2218	52.9
女性	1920	45.8
その他・答えたくない	51	1.2

問2.あなたの年齢をお答えください。（半角数字でご記入ください）

	件数	平均値	最小値	最大値
__歳	4189	43.96	20.00	64.00

■アレルギー疾患の罹患状況についてお伺いします。

問3.以下のアレルギー疾患のうち、「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」ものをお選びください。

（いくつでも）

（複数回答）	件数	%
全体	4189	100.0
気管支ぜん息	440	10.5
アトピー性皮膚炎	447	10.7
アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	593	14.2
アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	145	3.5
花粉症	1805	43.1
食物アレルギー	281	6.7
その他アレルギー：	141	3.4
アレルギー疾患と診断されていないし、症状があるとも思わない	1723	41.1

問4.アレルギー疾患の診断状況について、ご回答ください。

（単一回答）

	件数 — %	診断されたこ とがある	診断されてい ないが、症状 があると思う
1.気管支ぜん息	440	408	32
	100.0	92.7	7.3
2.アトピー性皮膚炎	447	399	48
	100.0	89.3	10.7
3.アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	593	474	119
	100.0	79.9	20.1
4.アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	145	126	19
	100.0	86.9	13.1
5.花粉症	1805	1280	525
	100.0	70.9	29.1
6.食物アレルギー	281	180	101
	100.0	64.1	35.9
7.その他アレルギー：（自由回答）	141	89	52
	100.0	63.1	36.9

■単純集計表

問5.食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。食物アレルギーの原因食物についてご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	281	100.0
鶏卵	41	14.6
牛乳	24	8.5
木の実類	8	2.8
小麦	23	8.2
落花生(ピーナッツ)	28	10.0
魚卵	16	5.7
果実類	76	27.0
甲殻類	69	24.6
魚類	27	9.6
大豆	14	5.0
そば	34	12.1
その他	69	24.6

問6.食物アレルギーであると「診断されたことがある」方にお伺います。アドレナリン自己注射薬(エピペン)※の処方状況について、ご回答ください。

※アドレナリン自己注射薬(エピペン)：アレルギー原因物質に触れたり摂取した後、短時間に全身に強いアレルギー症状があらわれた場合に使用する自己注射型の補助治療剤

(単一回答)	件数	%
全体	180	100.0
現在、アドレナリン自己注射薬(エピペン)を処方されている	8	4.4
過去にアドレナリン自己注射薬(エピペン)を処方されていたことがある	9	5.0
アドレナリン自己注射薬(エピペン)を処方されたことはない	163	90.6

問7.アレルギー疾患の症状が出た時期について、ご回答ください。

(単一回答)

	件数 — %	未就学児の 頃	小学生の頃	中学生の頃	中学校卒業 後～19歳	20代～30 代	40代以上	覚えていな い・わからな い
1.気管支ぜん息	440 100.0	130 29.5	94 21.4	17 3.9	18 4.1	111 25.2	59 13.4	11 2.5
2.アトピー性皮膚炎	447 100.0	199 44.5	113 25.3	23 5.1	23 5.1	58 13.0	16 3.6	15 3.4
3.アレルギー性鼻炎(花 粉症を除く)	593 100.0	76 12.8	232 39.1	46 7.8	53 8.9	107 18.0	36 6.1	43 7.3
4.アレルギー性結膜炎 (花粉症を除く)	145 100.0	8 5.5	45 31.0	20 13.8	13 9.0	27 18.6	13 9.0	19 13.1
5.花粉症	1805 100.0	79 4.4	269 14.9	179 9.9	216 12.0	737 40.8	217 12.0	108 6.0
6.食物アレルギー	281 100.0	46 16.4	62 22.1	28 10.0	29 10.3	80 28.5	20 7.1	16 5.7
7.その他アレルギー：(自 由回答)	141 100.0	8 5.7	15 10.6	14 9.9	22 15.6	52 36.9	22 15.6	8 5.7

■単純集計表

問8.過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の状態について、ご回答ください。

（単一回答）

	件数 — %	症状はなく 安定している	若干の症状 はあるが日 常生活を送 るうえで問題 はない	日々の症状 により日常生 活に時々影 響がある	症状が安定 せず、日常 生活に影響 がある
1.気管支ぜん息	440 100.0	271 61.6	127 28.9	37 8.4	5 1.1
2.アトピー性皮膚炎	447 100.0	125 28.0	218 48.8	80 17.9	24 5.4
3.アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	593 100.0	92 15.5	330 55.6	145 24.5	26 4.4
4.アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	145 100.0	56 38.6	52 35.9	29 20.0	8 5.5
5.花粉症	1805 100.0	113 6.3	851 47.1	686 38.0	155 8.6
6.食物アレルギー	281 100.0	100 35.6	132 47.0	39 13.9	10 3.6
7.その他アレルギー：（自由回答）	141 100.0	38 27.0	69 48.9	28 19.9	6 4.3

問9.過去1年間（令和6年5月～令和7年5月）におけるアレルギー疾患の受診先について、ご回答ください。

（単一回答）

	件数 — %	専門医療機 関に受診し ている	過去には専 門医療機関 を受診した が、地域のか かりつけ医に 受診している	定期的に専 門医療機関 を受診しつ つ、地域のか かりつけ医に 受診している	地域のかかり つけ医に受 診している	受診はしてい ない
1.気管支ぜん息	440 100.0	63 14.3	43 9.8	12 2.7	72 16.4	250 56.8
2.アトピー性皮膚炎	447 100.0	77 17.2	29 6.5	22 4.9	104 23.3	215 48.1
3.アレルギー性鼻炎（花粉症を除く）	593 100.0	70 11.8	34 5.7	26 4.4	104 17.5	359 60.5
4.アレルギー性結膜炎（花粉症を除く）	145 100.0	21 14.5	11 7.6	7 4.8	29 20.0	77 53.1
5.花粉症	1805 100.0	234 13.0	87 4.8	60 3.3	492 27.3	932 51.6
6.食物アレルギー	281 100.0	21 7.5	8 2.8	8 2.8	25 8.9	219 77.9
7.その他アレルギー：（自由回答）	141 100.0	12 8.5	5 3.5	4 2.8	24 17.0	96 68.1

■単純集計表

■アレルギー疾患の治療についてお伺いします。

問10.これまでに、家庭で実施する治療やケア（くすり、スキンケア、食事に関する指導）について教えてもらったことがありますか。（いくつでも）

(複数回答)	件数	%
全体	2466	100.0
医療機関で教えてもらったことがある	863	35.0
区役所・市役所等で教えてもらったことがある	51	2.1
教えてもらったことはないが、本人又は家族が勉強している	331	13.4
教えてもらったことがない	1249	50.6

問11.家庭で実施する治療やケアについて教えてもらったことがある方に伺います。各項目について、誰から教えてもらったかご回答ください。（いくつでも）

(複数回答)	件数 — %	医療機関	区役所・市役所等	この指導は受けていない
1.吸入薬指導（気管支ぜん息）	211 100.0	187 88.6	7 3.3	21 10.0
2.スキンケア指導（アトピー性皮膚炎）	236 100.0	186 78.8	10 4.2	42 17.8
3.外用薬塗布指導（アトピー性皮膚炎）	236 100.0	203 86.0	12 5.1	23 9.7
4.除去食・代替食指導（食物アレルギー）	126 100.0	63 50.0	5 4.0	60 47.6
5.ダニやほこりの除去等環境維持の指導	886 100.0	331 37.4	42 4.7	528 59.6
6.その他：※項目「6. その他」はその他に教えてもらったことがあればご記入ください。	149 100.0	69 46.3	4 2.7	79 53.0

問12.家庭で実施する治療やケアについて、医療機関で教えてもらったことがある方に伺います。指導を行ったのはどなたでしたか。職種をご回答ください。

(複数回答)	件数 — %	医師	看護師	薬剤師	栄養士	その他	わからない・覚えていない
1.吸入薬指導（気管支ぜん息）	187 100.0	150 80.2	40 21.4	53 28.3	0 0.0	1 0.5	7 3.7
2.スキンケア指導（アトピー性皮膚炎）	186 100.0	165 88.7	43 23.1	27 14.5	0 0.0	1 0.5	6 3.2
3.外用薬塗布指導（アトピー性皮膚炎）	203 100.0	181 89.2	49 24.1	52 25.6	0 0.0	0 0.0	5 2.5
4.除去食・代替食指導（食物アレルギー）	63 100.0	54 85.7	9 14.3	0 0.0	7 11.1	0 0.0	7 11.1
5.ダニやほこりの除去等環境維持の指導	331 100.0	264 79.8	60 18.1	26 7.9	6 1.8	3 0.9	36 10.9
6.その他：（自由回答）	69 100.0	58 84.1	5 7.2	13 18.8	2 2.9	2 2.9	4 5.8

■単純集計表

問13.アレルギーの受診先について、重要視することをご回答ください。(3つまで)

(複数回答)	件数	%
全体	2466	100.0
専門性が高い医療を提供している	836	33.9
診療実績が豊富	441	17.9
医師への信頼感がある	1149	46.6
医療スタッフが親切	456	18.5
交通の便が良い	554	22.5
自宅から近い	1349	54.7
通勤先・通学先から近い	171	6.9
建物がきれい・設備が整っている	147	6.0
ホームページが充実している	55	2.2
オンライン診療ができる	52	2.1
他の疾患も診療できる	107	4.3
その他：	30	1.2
特に重要視することはない	272	11.0

■アレルギーに関する情報、日常生活についてお伺いします。

問14.アレルギーについて、どのような情報を知りたいかご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	4189	100.0
病気に関する情報	1359	32.4
検査に関する情報	914	21.8
治療に関する情報	1577	37.6
日常生活での留意点	1407	33.6
診療可能な医療機関	578	13.8
患者向け講演会・相談会の情報	75	1.8
患者会の情報	57	1.4
発症予防に関する情報	751	17.9
重症化予防に関する情報	605	14.4
災害時の備えに関する情報	246	5.9
学校・保育所等における取組	125	3.0
高齢者・障害者施設等における取組	93	2.2
その他：	11	0.3
特に知りたい情報はない	1533	36.6

問15.アレルギーに関する情報をいつ知りたいかご回答ください。

(単一回答)	件数	%
全体	2656	100.0
自分が発症する前	1338	50.4
自分が発症してから速やかに	1318	49.6

■単純集計表

問16.食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが、症状があると思う」方に伺います。家庭における食事で除去または代替対応を実施していますか。

(単一回答)

	件数	%
全体	281	100.0
実施している	151	53.7
実施していない	130	46.3

問17.食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。日頃、外食・テイクアウト・惣菜の購入時にどのようにアレルギー表示を確認していますか。(いくつでも)

(複数回答)

	件数	%
全体	281	100.0
WEBにより事前に確認	55	19.6
メニューや食品表示により確認	156	55.5
店員に確認	59	21.0
その他：	7	2.5
特に確認していない	100	35.6

問18.食物アレルギーであると「診断されたことがある」または「診断されていないが症状があると思う」方に伺います。日頃、食物アレルギーの情報入手しにくいと感じる状況や場面はどのようなときですか。(いくつでも)

(複数回答)

	件数	%
全体	281	100.0
レストラン等での外食	111	39.5
レストラン等でのテイクアウト	70	24.9
スーパー・コンビニの惣菜	61	21.7
ホテル・旅館での食事	93	33.1
保育所・幼稚園・学校での給食	16	5.7
習い事・学童保育での食事	11	3.9
高齢者・障害者施設等での食事	6	2.1
その他：	4	1.4
特にない	120	42.7

■単純集計表

問19.アレルギー疾患に関する心配や困りごとについて、ご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	2466	100.0
症状・病態が悪化すること	1302	52.8
症状・病態が悪化したときの対応が心配	934	37.9
家庭で実施する治療やケアの正しい実施方法がわからない	497	20.2
医療機関に関する情報がわからない	265	10.7
受診の負担がある(仕事・育児・介護との両立、遠方等)	451	18.3
治療と仕事との両立が心配	300	12.2
結婚・子育てに影響しないか心配	118	4.8
要介護になった時の対応が心配	108	4.4
外食・テイクアウト・惣菜の購入時のアレルギー表示が不十分	130	5.3
災害時の対応が心配(避難所での生活、受診できるか、備蓄が十分か等)	212	8.6
正しい情報をどこで得ればよいかわからない	232	9.4
その他:	18	0.7
特にない	572	23.2

問20.アレルギー疾患に関する心配や困りごとについて、相談先の希望はありますか。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	1894	100.0
かかりつけ医	1080	57.0
かかりつけ医療機関の医療職(看護師・栄養士等)	227	12.0
アレルギーの専門医	532	28.1
区役所・市役所等の職員	58	3.1
保育所・幼稚園・学校の先生	29	1.5
高齢者・障害者施設等の職員	19	1.0
その他:	6	0.3
特に相談先に希望はない	509	26.9

問21.アレルギー疾患に関する心配や困りごとについて、どのように相談したいかご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	1385	100.0
受診や訪問のついでに対面で相談したい	917	66.2
個別に時間をとって対面で相談したい	251	18.1
ビデオ通話で相談したい	147	10.6
音声通話で相談したい	105	7.6
チャットやメールで相談したい	269	19.4
相談会・講演会等に参加したうえで相談したい	30	2.2
その他:	0	0.0
特に相談方法に希望はない	180	13.0

■単純集計表

問22.アレルギー疾患に関する情報収集はどのように行っていますか。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	2466	100.0
通院先の医師	855	34.7
通院先の医療職(看護師・栄養士等)	149	6.0
医療機関のホームページ	541	21.9
関係学会のホームページ	113	4.6
行政機関のホームページ(厚生労働省、市役所、区役所など)	115	4.7
その他のホームページ	482	19.5
自治体が配布するチラシ・リーフレット	57	2.3
動画配信・SNS	319	12.9
友人・知人からの情報	256	10.4
新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、本	269	10.9
講演会等	15	0.6
その他:	16	0.6
特になし	818	33.2

問23.ご家庭における災害発生時の備えについて、ご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	2466	100.0
一般的な備蓄(水、食物、常備薬等)	1646	66.7
必要な薬の備蓄(処方薬)	705	28.6
食物アレルギー対応食品の備蓄	141	5.7
スキンケア用品	287	11.6
お薬手帳のコピー	140	5.7
アレルギーを知らせるもの(表示カード、ピブスなど)	52	2.1
マスク	732	29.7
その他:	8	0.3
特に備え・備蓄をしていない	592	24.0

問24.アレルギー疾患について、知っていることをご回答ください。(いくつでも)

※エピペン:アレルギー原因物質に触れたり摂取した後、短時間に全身に強いアレルギー症状があらわれた場合に使用する自己注射型の補助治療剤

(複数回答)	件数	%
全体	4189	100.0
乳幼児期には、約10~20人に1人に食物アレルギーがある	471	11.2
加工食品の食品表示において、アレルゲンの表示義務がある	1544	36.9
食物アレルギーから死亡することもある	2535	60.5
乳児期の湿疹と食物アレルギーは関連する	575	13.7
食物アレルギーの予防を目的に離乳食開始を遅らせることは推奨されない	371	8.9
アドレナリン自己注射薬(エピペン)※はアナフィラキシーがあらわれたときに使用する	953	22.8
アドレナリン自己注射薬(エピペン)※の注射方法	431	10.3
アトピー性皮膚炎には清潔の保持が重要である	1076	25.7
気管支ぜん息では周囲の埃等も症状悪化の原因になる	1056	25.2
1~9まですべて知らなかった	1223	29.2

■単純集計表

問25.横浜市のアレルギー対策に期待することについて、ご回答ください。(いくつでも)

(複数回答)	件数	%
全体	4189	100.0
適切な治療を受けることができる体制づくり	2013	48.1
受診先医療機関に関する情報発信	1165	27.8
治療法や日常生活上の留意点に関する情報発信	1051	25.1
アレルギー専門家による相談機会の提供(講演会や個別相談会の開催)	627	15.0
保育・教育・福祉関係者の理解・知識向上のための取組み	712	17.0
災害時対応の充実(アレルギー対応食の備蓄、避難所での受入体制整備、家庭での備えに関する情報発信)	769	18.4
その他:	26	0.6
特に期待することはない	1494	35.7